

アンケート調査結果報告書

令和3年11月

越前市

目次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
3. 集計表記について.....	1
II 調査結果概要.....	2
1. 地球環境に関すること.....	2
2. 生活環境に関すること.....	2
3. 自然環境に関すること.....	3
4. ごみの減量化やリサイクルに関すること.....	3
5. 環境共育に関すること.....	3
III 調査結果(市民).....	4
1. あなたご自身のことについて.....	4
2. あなたの環境に対するお考えや意識について.....	5
3. 地球温暖化対策について.....	11
4. 自然環境や生物多様性の保全について.....	21
5. ごみの減量化やリサイクルの取組について.....	26
6. 環境教育や学習について.....	31
7. 市全体の環境について.....	32
8. その他.....	34
IV 調査結果(事業者).....	36
1. 貴事業所のことについて.....	36
2. 地球温暖化対策について.....	37
3. 自然環境や生物多様性の保全について.....	45
4. ごみの減量化やリサイクルの取組について.....	48
5. 越前市全体の環境について.....	51
6. その他.....	54
V 調査結果(高校生).....	55
1. あなたの環境に対するお考えや意識について.....	55
2. 地球温暖化対策について.....	59
3. 自然環境や生物多様性の保全について.....	61
4. ごみの減量化やリサイクルの取組について.....	64
5. 環境教育や学習について.....	66
6. 市全体の環境について.....	66

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民・事業者・高校生を対象に、環境に関する意識調査を実施し、地域で解決を目指すための課題を洗い出すとともに、今後の環境施策推進の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査の概要

市民の調査概要は、以下のとおりです。

項目		市民		事業者		高校生
調査対象		市内に住む18歳以上の市民		市内の事業者		武生高校・武生東高校の生徒
調査時期		令和3年7月5日～令和3年7月16日				
配布数		1,000通		200通		60通
回収数	紙	331通	405通	11通	75通	—
	Web	74通		64通		60通
回答率		40.5%		37.5%		100%
		合計 42.9%				

3. 集計表記について

・図表に示されている割合は、小数第2位を四捨五入して表記しているため、割合の合計が100%にならないことがあります。

II 調査結果概要

1. 地球環境に関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<p><地球温暖化に関連する用語></p> <ul style="list-style-type: none">・「カーボンニュートラル・脱炭素」や「ZEB」といった近年頻繁に使われるようになった用語について言葉は知っているものの、内容まで理解している人は少ない状況であり、用語の解説が必要です。(p5、51)・「カーボンニュートラル・脱炭素」については 10～30 代の若い世代で認知度が低いことから、若者を対象とした情報発信が必要です。(p7)
<p><地球温暖化に関連する行動></p> <ul style="list-style-type: none">・「公共交通機関の利用」に関連する行動では、他の行動と比べて「実施する予定はない」の割合が半数以上を占めており、公共交通機関の利用を促すとともに自動車の利用を前提とした対策が必要です。(p12、39)
<p><再生可能エネルギー・省エネルギーに関連する設備></p> <ul style="list-style-type: none">・導入予定はないものの低公害車(電気自動車・燃料電池自動車)への関心が高い状況にあり、導入を促す対策が必要です。(p15、42)・再生可能エネルギー・省エネルギーの導入や対策を進める上で、設備の導入費用や情報不足が問題となっているとともに、重要な市の取組みとしても挙げられていることから、経済的支援や再生可能エネルギー・省エネルギーに関する情報提供が必要です。(p18、20、42、44)
<p><削減可能なエネルギー割合></p> <ul style="list-style-type: none">・どのエネルギーも「1割未満」「1～2割」の削減が高い割合を占めており、大幅なエネルギー使用量の削減が難しい状況であることから、使用しているエネルギーの転換や環境に配慮した電気の購入を促す対策が必要です。(p19、44)
<p><地球環境でイメージする言葉></p> <ul style="list-style-type: none">・地球環境でイメージする言葉として「エコ」「地球」「脱炭素」などが多く挙げられています。(p31)
<p><自由意見></p> <ul style="list-style-type: none">・どういった取組みをすればどれだけCO2排出削減につながるか数値で示してはどうか。(p34)・ゼロカーボンシティを行うことを幅広くPRしていくことが大事。(p34)

2. 生活環境に関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<p><生活環境でイメージする言葉></p> <ul style="list-style-type: none">・生活環境でイメージする言葉として「安心安全」「不法投棄」などが多く挙げられています。(p31)
<p><市に重点的に進めてほしい施策></p> <ul style="list-style-type: none">・市に重点的に進めてほしい施策について、「生活環境を守る」と「豊かな自然環境の保全」が高い割合を占めており、公害の発生防止などの取組みを継続して行うことが必要です。(p33)

3. 自然環境に関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<p><自然環境に関連する用語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ビオトープ」について、高校生や 10～30 代の若い世代で認知度が低いことから、若者を対象とした対策が必要です。(p8、56)
<p><自然環境に関連する行動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリが舞う里づくりにつながる行動「くごはん塾」への参加」と「コウノトリ呼び戻す農法米や、農法米を使用して醸造したお酒「かたかた」の購入」では、他の行動と比べて「実施している」の割合が低く、「実施する予定はない」の割合が高くなっており、ごはん塾への参加やコウノトリ呼び戻す農法米の購入がコウノトリが舞う里づくりにつながることを発信していくことが必要です。(p22、45)
<p><自然環境でイメージする言葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境でイメージする言葉として「コウノトリ」「豊かな自然」「共生」などが多く挙げられています。(p32)
<p><市に重点的に進めてほしい施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市に重点的に進めてほしい施策について、「生活環境を守る」と「豊かな自然環境の保全」が高い割合を占めており、自然環境の保全につながる取組みを継続して行うことが必要です。(p33)

4. ごみの減量化やリサイクルに関すること

アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<p><ごみの減量化やリサイクルに関連する行動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化やリサイクルに関連する行動「使わないものはフリーマーケット(フリマアプリ含む)やリサイクルショップに出している」では、他の行動と比べて「実施している」の割合が低く、「実施する予定はない」の割合が高くなっており、資源のリユースに関する取組みの強化が必要です。(p27) ・「雑がみの回収に協力している」については 10～30 代の若い世代で「実施している」の割合が低いことから、若者を対象とした対策が必要です。(p29) ・事業者のごみの減量化やリサイクルに関連する行動「環境マネジメントシステムの導入・運用」については、他の行動と比べて「実施する予定はない」の割合が高くなっており、環境マネジメントシステムの効果や必要性について発信していくことが必要です。(p50)
<p><おいしいえちぜん食ベきり運動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すでに運動に参加・協力している」と回答した市民は 2.7%と少なく、取組みが浸透していないことから、より普及啓発を進めることが必要です。(p30)
<p><ごみの減量化やリサイクルでイメージする言葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化やリサイクルでイメージする言葉として「分別」「食品ロス」「リサイクル」などが多く挙げられています。(p32)

5. 環境共育に関すること

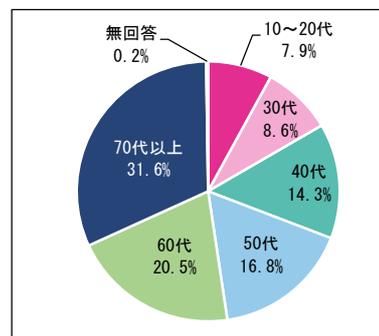
アンケートから見えた現状・課題 ※文章中の()は、関連するページを示す
<p><環境共育で重要だと思う取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境共育で重要だと思う取組みとして大半の市民が「学校の授業などで環境に関する学習を進めること」を挙げており、学校での環境学習を継続して行うことが必要です。(p31)
<p><環境保全活動の連携状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動の連携状況について「機会があれば活動したい」が高い割合を占めており、環境保全活動団体や自治体、地域との連携機会を増やすことが必要です。(p52)

Ⅲ 調査結果(市民)

1. あなたご自身のことについて

1)あなたは、どの年齢層に該当しますか。(1つに○)

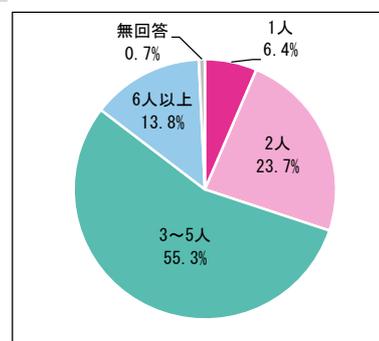
選択肢	回答者数	割合(%)
① 10～20代	32	7.9%
② 30代	35	8.6%
③ 40代	58	14.3%
④ 50代	68	16.8%
⑤ 60代	83	20.5%
⑥ 70代以上	128	31.6%
無回答	1	0.2%
合計	405	100.0%



■「⑥70代」が31.6%と最も高く、次いで「⑤60代」が20.5%となっています。

2)あなたご自身を含めて、同居するご家族は何人ですか。(1つに○)

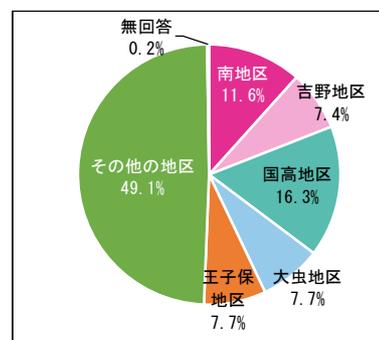
選択肢	回答者数	割合(%)
① 1人	26	6.4%
② 2人	96	23.7%
③ 3～5人	224	55.3%
④ 6人以上	56	13.8%
無回答	3	0.7%
合計	405	100.0%



■「③3～5人」が55.3%と約半数を占めています。

3)あなたは、どの地域にお住まいですか。(1つに○)

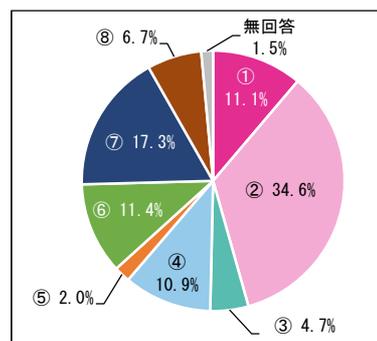
選択肢	回答者数	割合(%)
① 東地区	20	4.9%
② 西地区	29	7.2%
③ 南地区	47	11.6%
④ 神山地区	21	5.2%
⑤ 吉野地区	30	7.4%
⑥ 国高地区	66	16.3%
⑦ 大虫地区	31	7.7%
⑧ 坂地区	0	0.0%
⑨ 王子保地区	31	7.7%
⑩ 北新庄地区	11	2.7%
⑪ 北日野地区	26	6.4%
⑫ 味真野地区	28	6.9%
⑬ 白山地区	11	2.7%
⑭ 粟田部地区	14	3.5%
⑮ 岡本地区	10	2.5%
⑯ 南中山地区	18	4.4%
⑰ 服間地区	11	2.7%
無回答	1	0.2%
合計	405	100.0%



■「⑥国高地区」が16.3%と最も高く、次いで「③南地区」が11.6%となっています。

4)あなたは、主にどのような職業に携わっていますか。(1つに○)

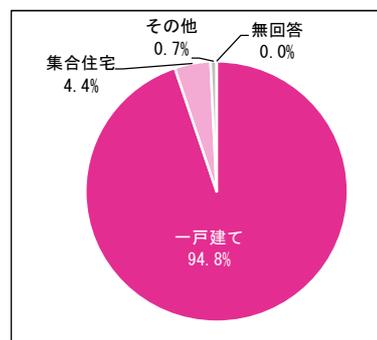
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 自営業及びその家族従事者	45	11.1%
② 会社員・団体職員など	140	34.6%
③ 公務員、教員など	19	4.7%
④ パート・アルバイト	44	10.9%
⑤ 学生	8	2.0%
⑥ 家事専業	46	11.4%
⑦ 無職(休職中を含む)	70	17.3%
⑧ その他	27	6.7%
無回答	6	1.5%
合計	405	100.0%



■「②会社員・団体職員など」が 34.6%と最も高く、次いで「⑦無職(休職中を含む)」が 17.3%となっています。

5)お住まいの住宅はどのような形態ですか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 一戸建て	384	94.8%
② 集合住宅	18	4.4%
③ その他	3	0.7%
無回答	0	0.0%
合計	405	100.0%



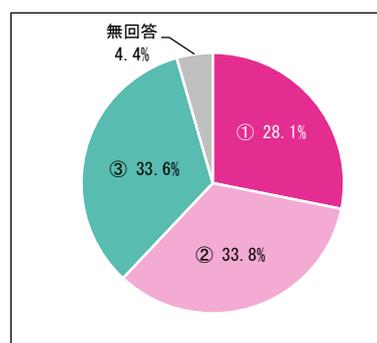
■「①一戸建て」が 94.8%と大半を占めています。

2. あなたの環境に対するお考えや意識について

1)次の環境に関する言葉について、どの程度知っていますか。あてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) SDGs(エスディーゼーズ)

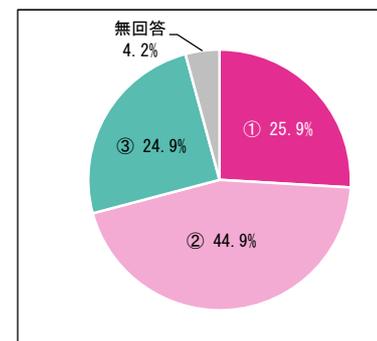
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	114	28.1%
② 言葉だけ知っている	137	33.8%
③ 聞いたことがない	136	33.6%
無回答	18	4.4%
合計	405	100.0%



■「②言葉だけ知っている」が 33.8%と最も高く、次いで「③聞いたことがない」が 33.6%となっています。

(2) カーボンニュートラル・脱炭素

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	105	25.9%
② 言葉だけ知っている	182	44.9%
③ 聞いたことがない	101	24.9%
無回答	17	4.2%
合計	405	100.0%

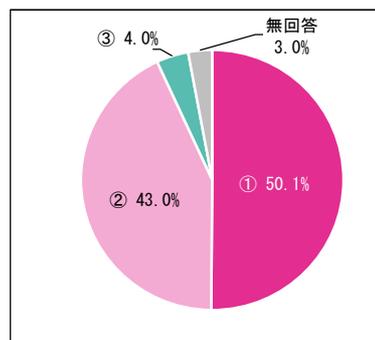


■「②言葉だけ知っている」が 44.9%と最も高く、次いで「①内容まで知っている」が 25.9%となっています。

(3) 再生可能エネルギー

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	203	50.1%
② 言葉だけ知っている	174	43.0%
③ 聞いたことがない	16	4.0%
無回答	12	3.0%
合計	405	100.0%

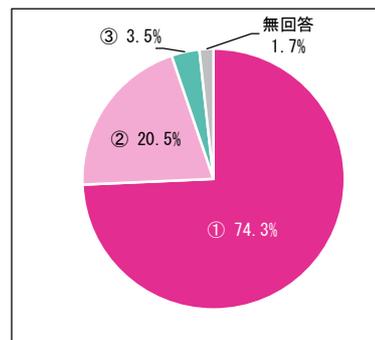
■「①内容まで知っている」が 50.1%と約半数を占めています。



(4) 食品ロス

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	301	74.3%
② 言葉だけ知っている	83	20.5%
③ 聞いたことがない	14	3.5%
無回答	7	1.7%
合計	405	100.0%

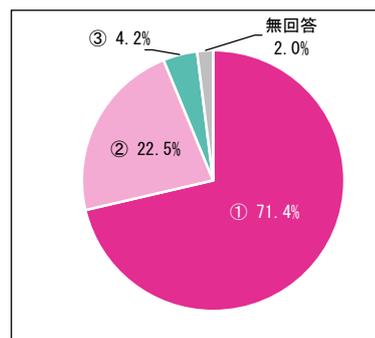
■「①内容まで知っている」が 74.3%と半数以上を占めています。



(5) 海洋プラスチック汚染

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	289	71.4%
② 言葉だけ知っている	91	22.5%
③ 聞いたことがない	17	4.2%
無回答	8	2.0%
合計	405	100.0%

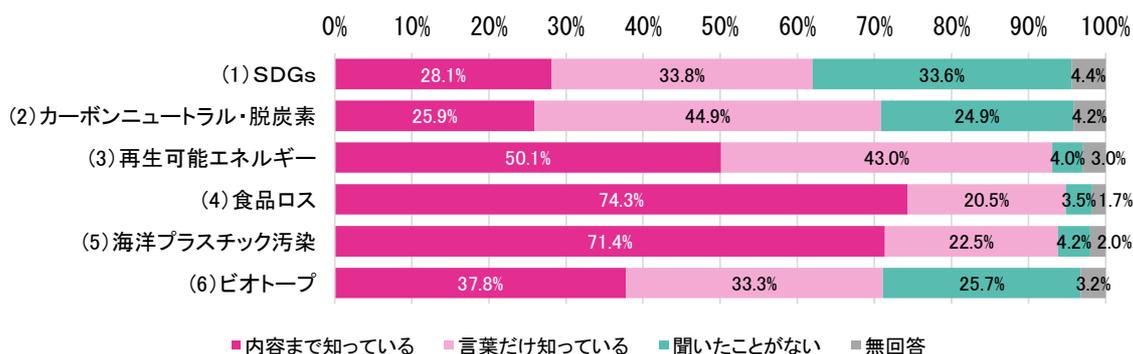
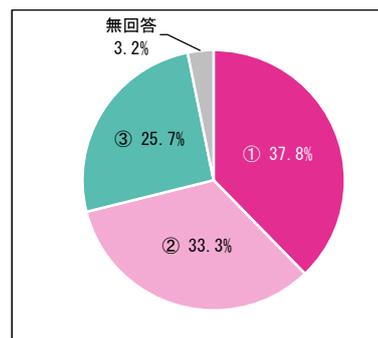
■「①内容まで知っている」が 71.4%と半数以上を占めています。



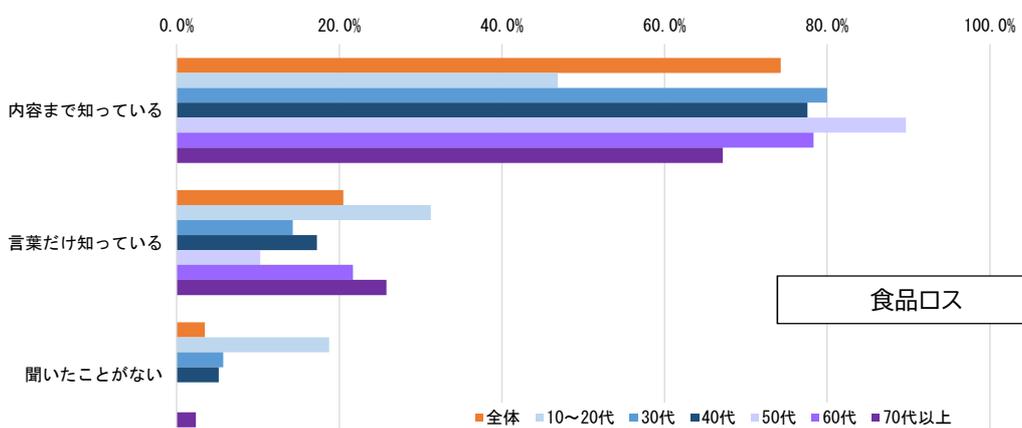
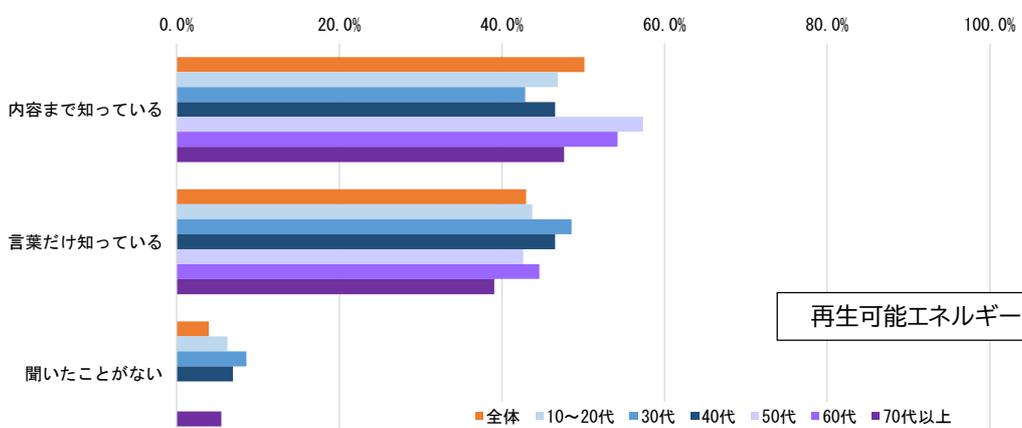
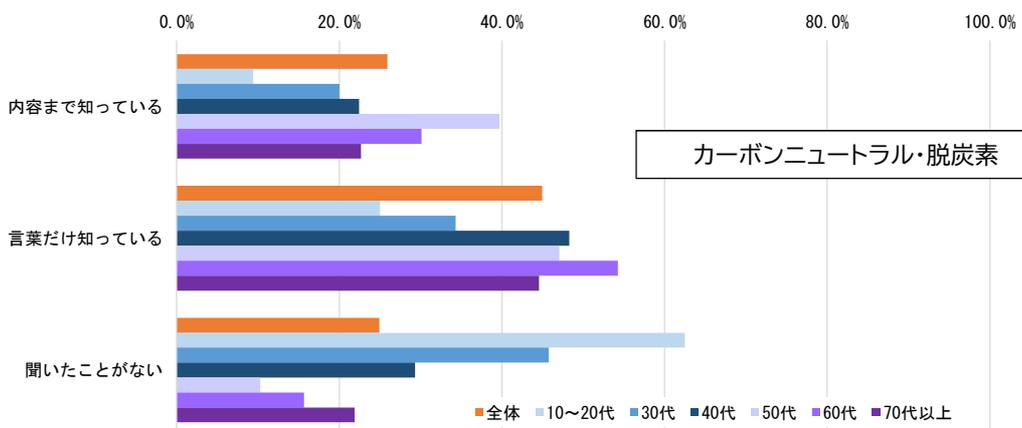
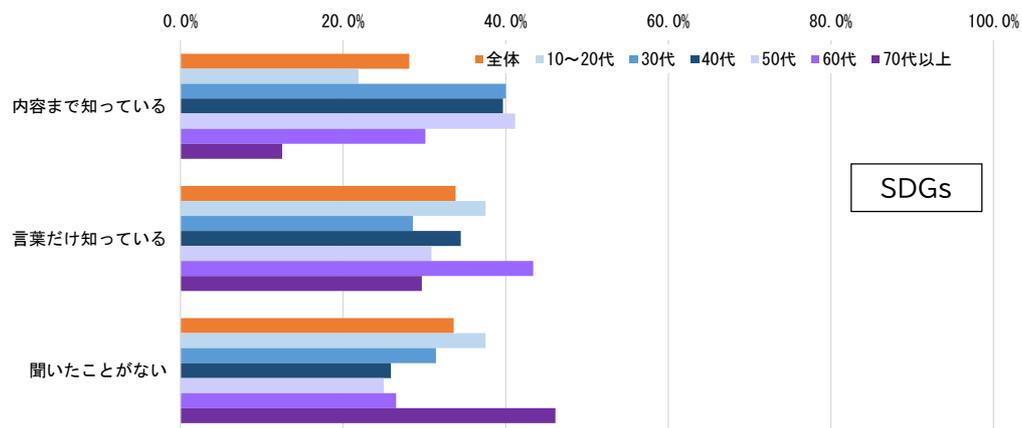
(6) ビオトープ

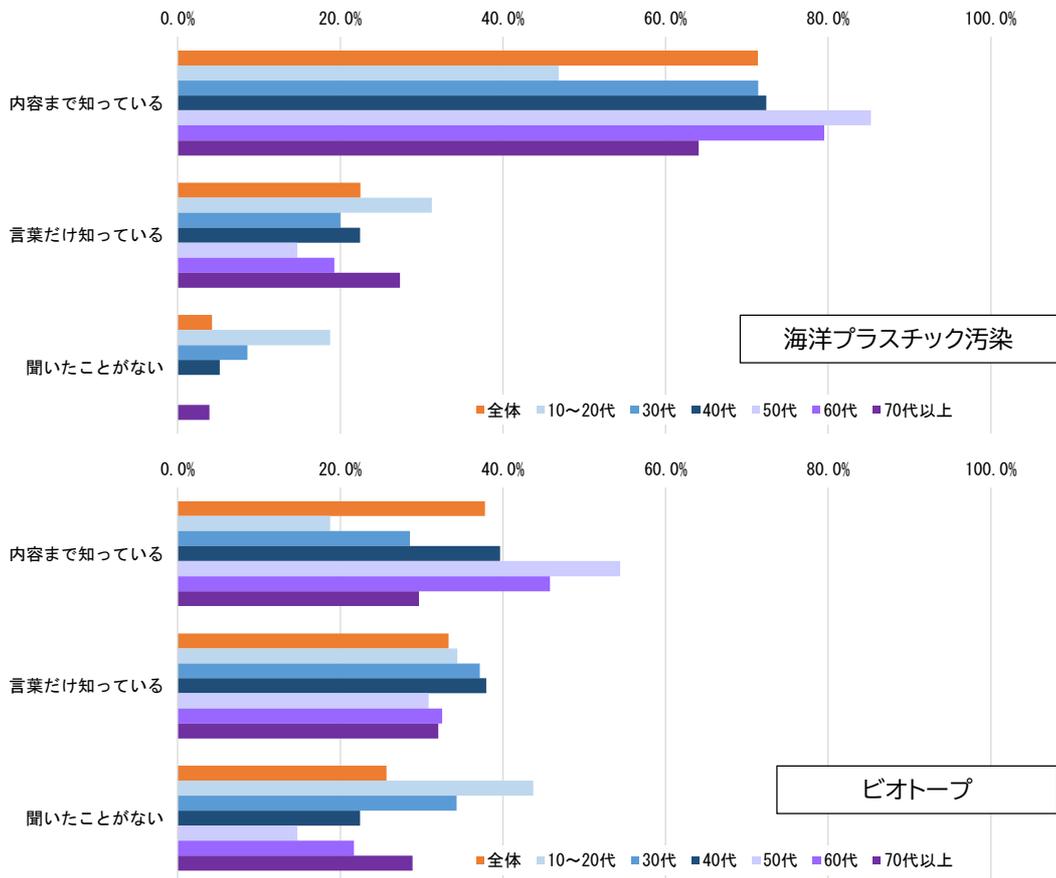
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	153	37.8%
② 言葉だけ知っている	135	33.3%
③ 聞いたことがない	104	25.7%
無回答	13	3.2%
合計	405	100.0%

■「①内容まで知っている」が 37.8%と最も高く、次いで「②言葉だけ知っている」が 33.3%となっています。



【(参考)クロス集計】



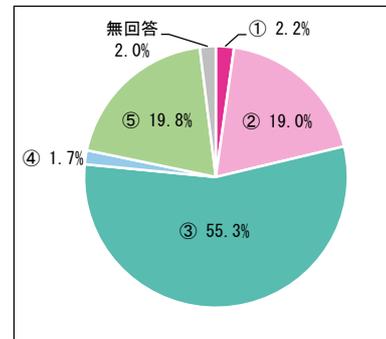


2)市は、市環境基本計画に基づき環境保全に関する取組を進めてきましたが、この5年間で市の環境や取組はどのようになったと思いますか。例として記載した内容を参考に、最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

【地球環境】

①地球温暖化を防止する取組

選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	9	2.2%
② 少し良くなった	77	19.0%
③ あまり変わらない	224	55.3%
④ 以前より悪くなった	7	1.7%
⑤ わからない	80	19.8%
無回答	8	2.0%
合計	405	100.0%

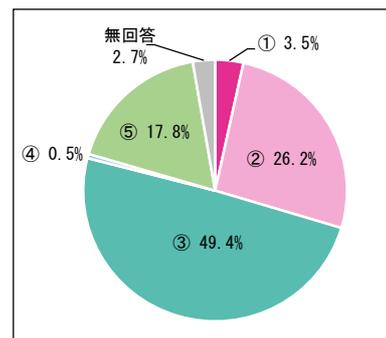


■「③あまり変わらない」が55.3%と約半数を占めています。

【生活環境】

②公害の発生防止に関する取組

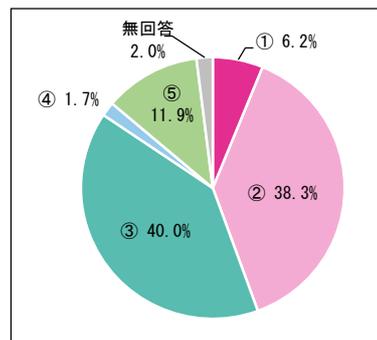
選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	14	3.5%
② 少し良くなった	106	26.2%
③ あまり変わらない	200	49.4%
④ 以前より悪くなった	2	0.5%
⑤ わからない	72	17.8%
無回答	11	2.7%
合計	405	100.0%



■「③あまり変わらない」が49.4%と最も高く、次いで「②少し良くなった」が26.2%となっています。

③美化に関する取組

選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	25	6.2%
② 少し良くなった	155	38.3%
③ あまり変わらない	162	40.0%
④ 以前より悪くなった	7	1.7%
⑤ わからない	48	11.9%
無回答	8	2.0%
合計	405	100.0%

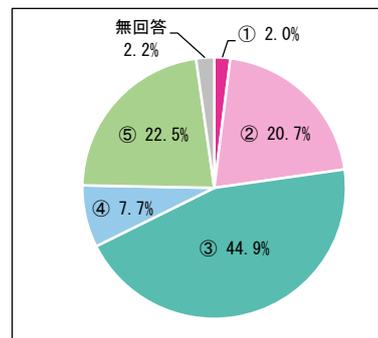


■「③あまり変わらない」が40.0%と最も高く、次いで「②少し良くなった」が38.3%となっています。

【自然環境】

④山や農地などの保全に関する取組

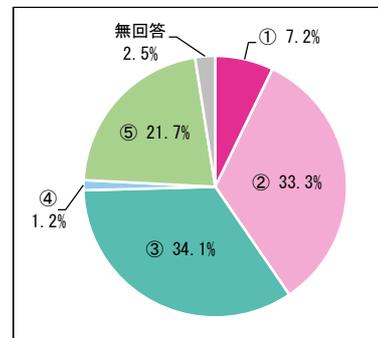
選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	8	2.0%
② 少し良くなった	84	20.7%
③ あまり変わらない	182	44.9%
④ 以前より悪くなった	31	7.7%
⑤ わからない	91	22.5%
無回答	9	2.2%
合計	405	100.0%



■「③あまり変わらない」が44.9%と最も高く、次いで「⑤わからない」が22.5%となっています。

⑤環境に配慮した農業に関する取組

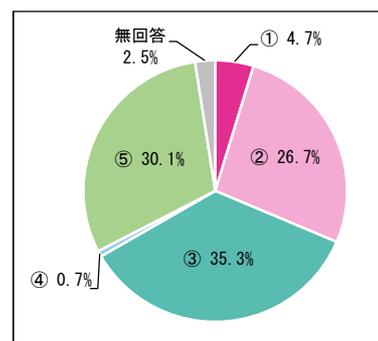
選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	29	7.2%
② 少し良くなった	135	33.3%
③ あまり変わらない	138	34.1%
④ 以前より悪くなった	5	1.2%
⑤ わからない	88	21.7%
無回答	10	2.5%
合計	405	100.0%



■「③あまり変わらない」が34.1%と最も高く、次いで「②少し良くなった」が33.3%となっています。

⑥学びあいと交流

選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	19	4.7%
② 少し良くなった	108	26.7%
③ あまり変わらない	143	35.3%
④ 以前より悪くなった	3	0.7%
⑤ わからない	122	30.1%
無回答	10	2.5%
合計	405	100.0%

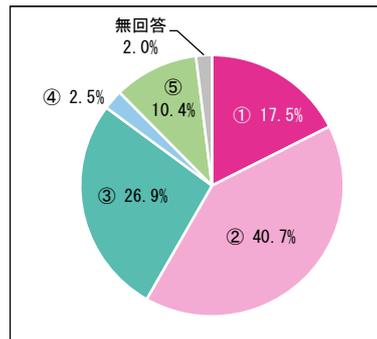


■「③あまり変わらない」が35.3%と最も高く、次いで「⑤わからない」が30.1%となっています。

【資源循環】

⑦ごみに関する取組

選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	71	17.5%
② 少し良くなった	165	40.7%
③ あまり変わらない	109	26.9%
④ 以前より悪くなった	10	2.5%
⑤ わからない	42	10.4%
無回答	8	2.0%
合計	405	100.0%

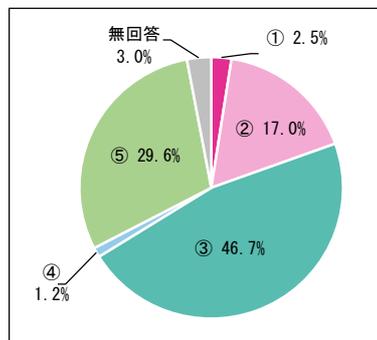


■「②少し良くなった」が40.7%と最も高く、次いで「③あまり変わらない」が26.9%となっています。

【環境共育】

⑧環境活動の育成・支援

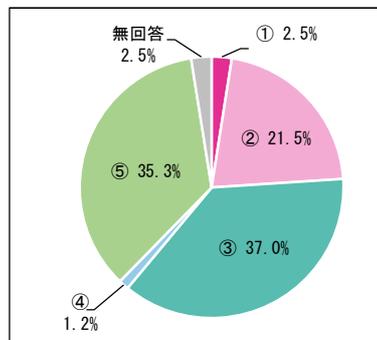
選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	10	2.5%
② 少し良くなった	69	17.0%
③ あまり変わらない	189	46.7%
④ 以前より悪くなった	5	1.2%
⑤ わからない	120	29.6%
無回答	12	3.0%
合計	405	100.0%



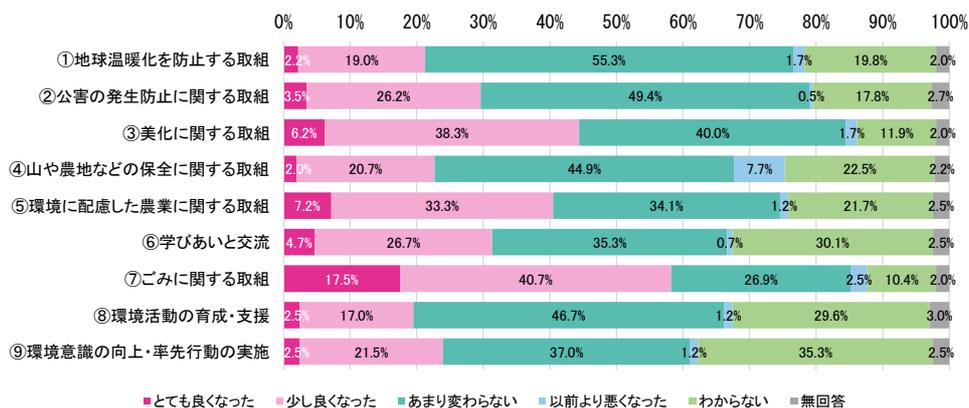
■「③あまり変わらない」が46.7%と最も高く、次いで「⑤わからない」が29.6%となっています。

⑨環境意識の向上・率先行動の実施

選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	10	2.5%
② 少し良くなった	87	21.5%
③ あまり変わらない	150	37.0%
④ 以前より悪くなった	5	1.2%
⑤ わからない	143	35.3%
無回答	10	2.5%
合計	405	100.0%



■「③あまり変わらない」が37.0%と最も高く、次いで「⑤わからない」が35.3%となっています。



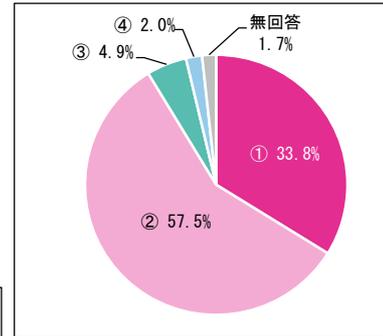
3. 地球温暖化対策について

1) 次の行動について、最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 不必要な照明はこまめに消す、使用していない電気製品の主電源を切るなど節電を心がけている

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	137	33.8%
② ある程度実施している	233	57.5%
③ 今後実施したい	20	4.9%
④ 実施する予定はない	8	2.0%
無回答	7	1.7%
合計	405	100.0%

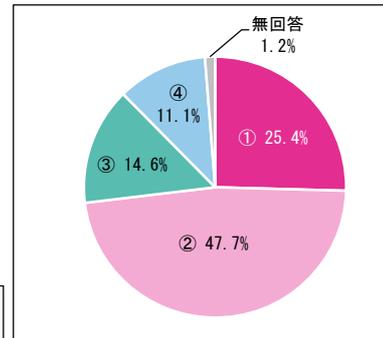
■「②ある程度実施している」が 57.5%と約半数を占めています。



(2) 冷暖房は環境省が推奨する室温の目安(夏期 28℃、冬期 20℃)で使用している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	103	25.4%
② ある程度実施している	193	47.7%
③ 今後実施したい	59	14.6%
④ 実施する予定はない	45	11.1%
無回答	5	1.2%
合計	405	100.0%

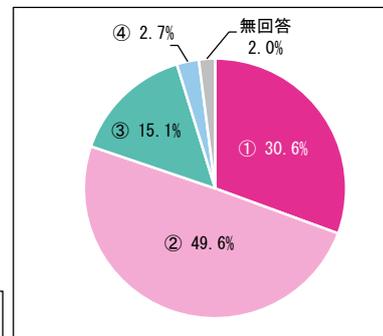
■「②ある程度実施している」が 47.7%と最も高く、次いで「①実施している」が 25.4%となっています。



(3) 冷蔵庫に物を詰めすぎたり、むやみに開けたりしない

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	124	30.6%
② ある程度実施している	201	49.6%
③ 今後実施したい	61	15.1%
④ 実施する予定はない	11	2.7%
無回答	8	2.0%
合計	405	100.0%

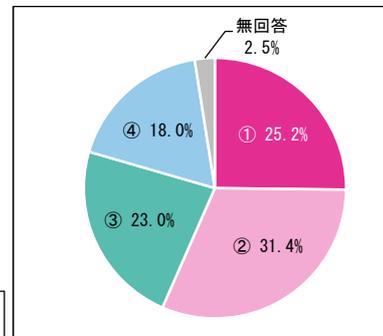
■「②ある程度実施している」が 49.6%と最も高く、次いで「①実施している」が 30.6%となっています。



(4) ガーデニングやグリーンカーテン等により、家の敷地周りの緑化を行っている

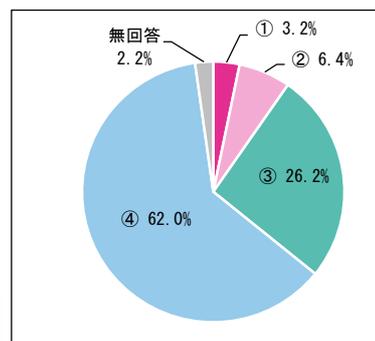
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	102	25.2%
② ある程度実施している	127	31.4%
③ 今後実施したい	93	23.0%
④ 実施する予定はない	73	18.0%
無回答	10	2.5%
合計	405	100.0%

■「②ある程度実施している」が 31.4%と最も高く、次いで「①実施している」が 25.2%となっています。

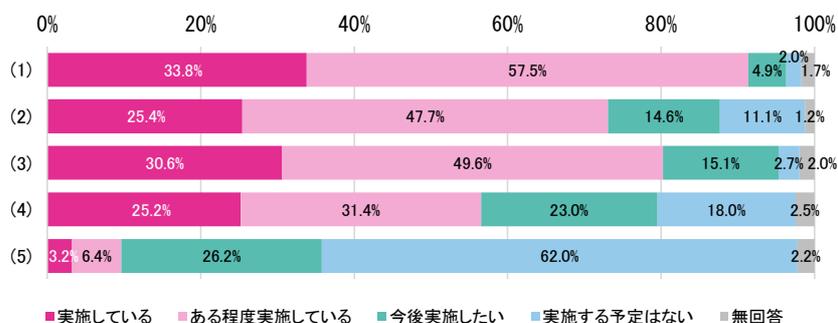


(5) 自家用車よりバスや電車を利用している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	13	3.2%
② ある程度実施している	26	6.4%
③ 今後実施したい	106	26.2%
④ 実施する予定はない	251	62.0%
無回答	9	2.2%
合計	405	100.0%



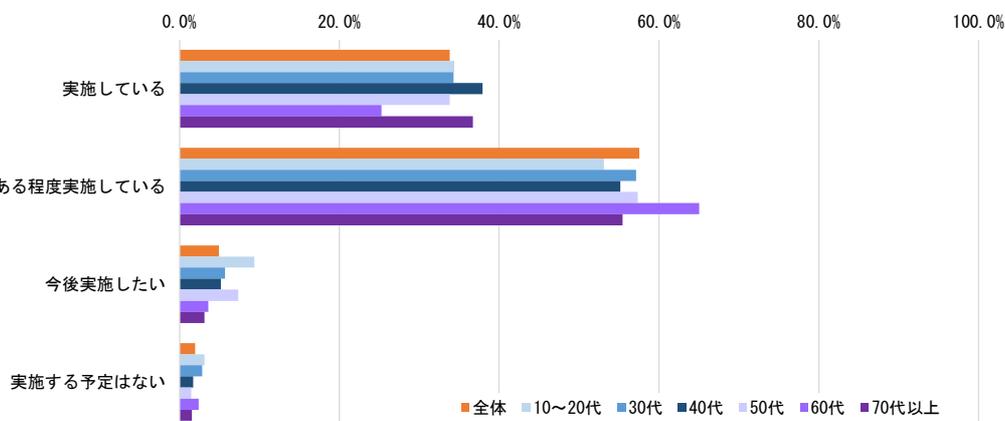
■「④実施する予定はない」が62.0%と半数以上を占めています。



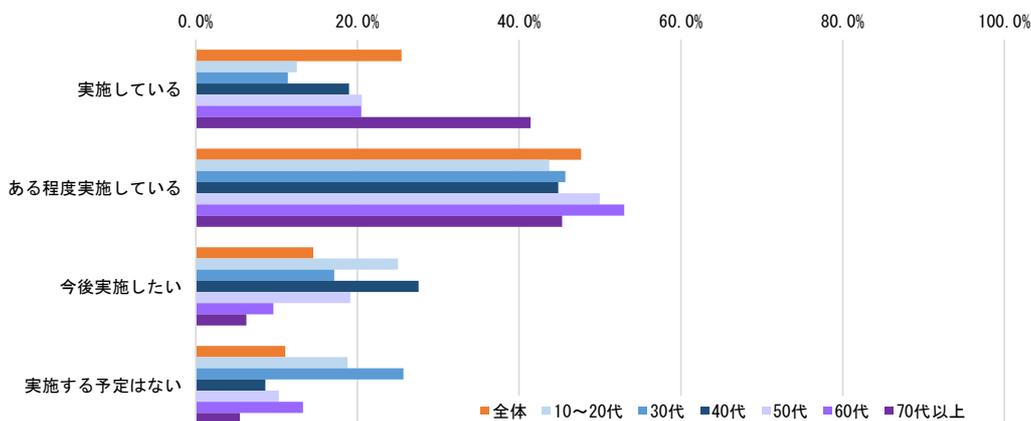
- (1) unnecessary lighting is turned off as soon as possible, or the main power of electrical products not in use is cut off to save energy.
- (2) Heating/cooling is used at the recommended room temperature (summer 28°C, winter 20°C) recommended by the Ministry of Environment.
- (3) Refrigerator doors are not opened too often or left open.
- (4) Gardening or green curtains, etc., are used to green the area around the house.
- (5) Using buses or trains instead of private cars.

【(参考)クロス集計】

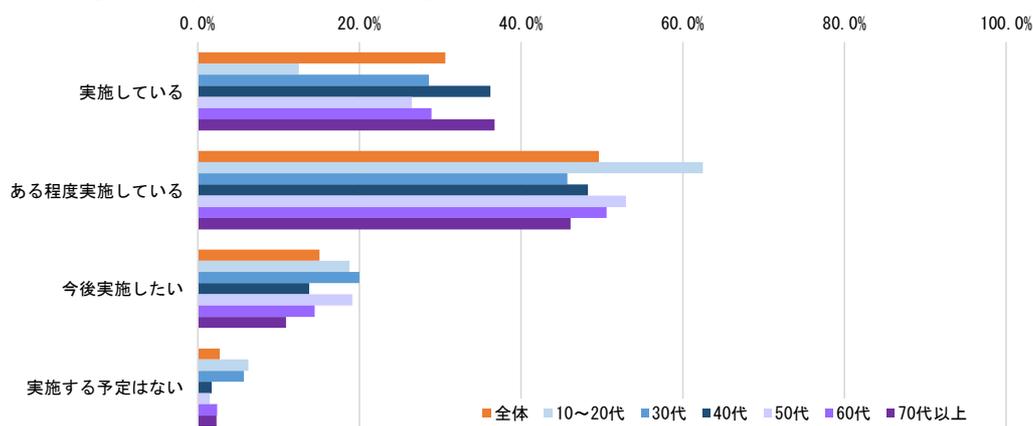
(1) unnecessary lighting is turned off as soon as possible, or energy is saved.



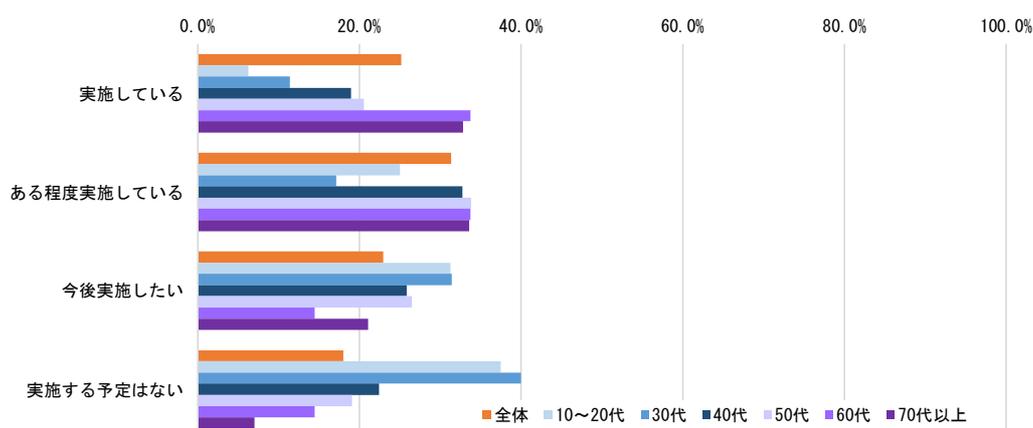
(2) Heating/cooling is used at the recommended room temperature.



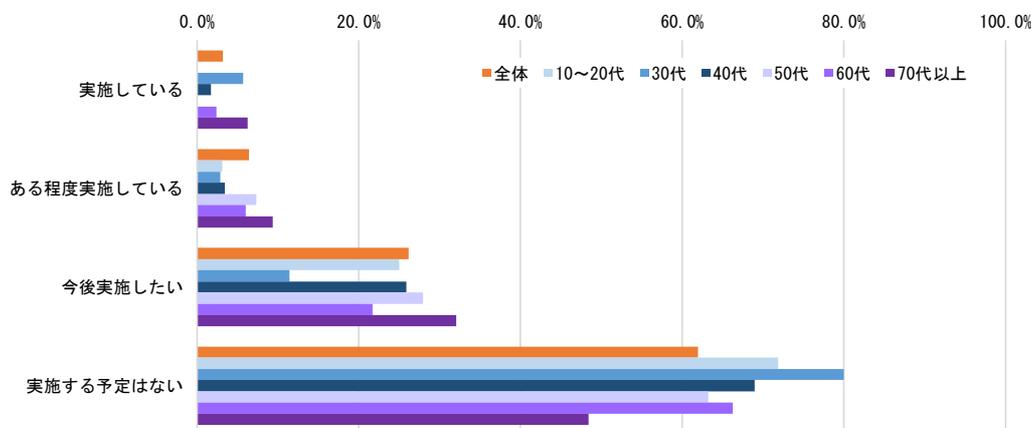
(3)冷蔵庫に物を詰めすぎたり、むやみに開けたりしない



(4)ガーデニングやグリーンカーテン等により、家の敷地周りの緑化を行っている



(5)自家用車よりバスや電車を利用している

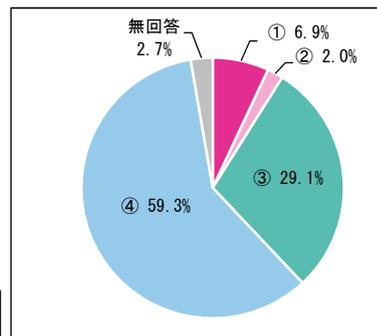


2)環境に配慮した設備の導入について、最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 太陽光発電システム(ソーラーパネル)

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	28	6.9%
② 今後導入する予定である	8	2.0%
③ 予定はないが導入してみたい	118	29.1%
④ 導入するつもりはない	240	59.3%
無回答	11	2.7%
合計	405	100.0%

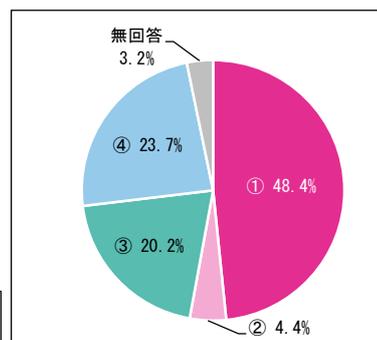
■「④導入するつもりはない」が 59.3%と約半数を占めています。



(2) ヒートポンプ給湯器(エコキュート等)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	196	48.4%
② 今後導入する予定である	18	4.4%
③ 予定はないが導入してみたい	82	20.2%
④ 導入するつもりはない	96	23.7%
無回答	13	3.2%
合計	405	100.0%

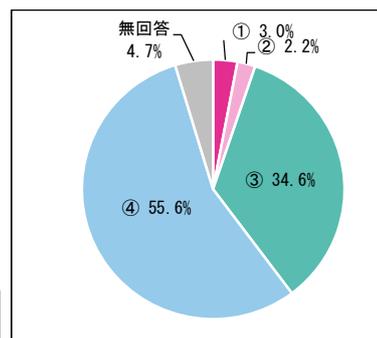
■「①すでに導入している」が 48.4%と最も高く、次いで「④導入するつもりはない」が 23.7%となっています。



(3) 蓄電池

選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	12	3.0%
② 今後導入する予定である	9	2.2%
③ 予定はないが導入してみたい	140	34.6%
④ 導入するつもりはない	225	55.6%
無回答	19	4.7%
合計	405	100.0%

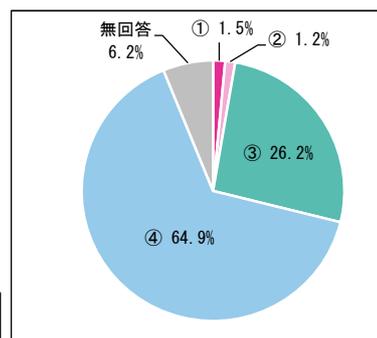
■「④導入するつもりはない」が 55.6%と約半数を占めています。



(4) 燃料電池(エネファーム等)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	6	1.5%
② 今後導入する予定である	5	1.2%
③ 予定はないが導入してみたい	106	26.2%
④ 導入するつもりはない	263	64.9%
無回答	25	6.2%
合計	405	100.0%

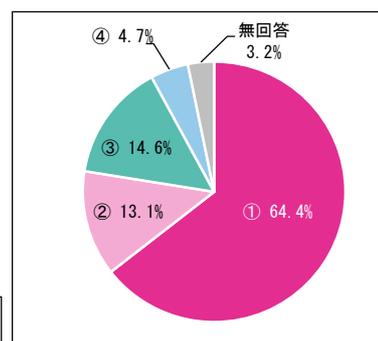
■「④導入するつもりはない」が 64.9%と半数以上を占めています。



(5) LED照明

選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	261	64.4%
② 今後導入する予定である	53	13.1%
③ 予定はないが導入してみたい	59	14.6%
④ 導入するつもりはない	19	4.7%
無回答	13	3.2%
合計	405	100.0%

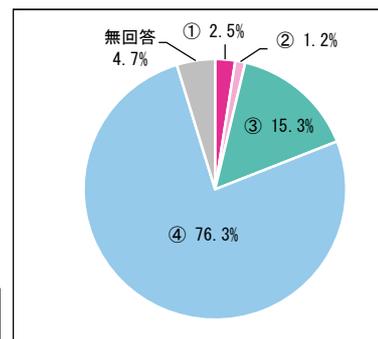
■「①すでに導入している」が 64.4%と半数以上を占めています。



(6) 薪ストーブ・ペレットストーブ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	10	2.5%
② 今後導入する予定である	5	1.2%
③ 予定はないが導入してみたい	62	15.3%
④ 導入するつもりはない	309	76.3%
無回答	19	4.7%
合計	405	100.0%

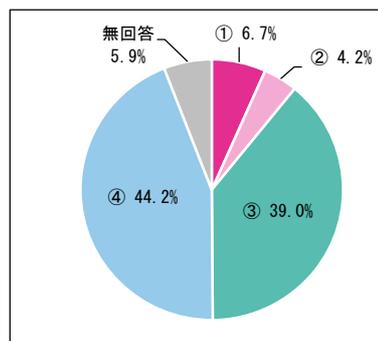
■「④導入するつもりはない」が 76.3%と半数以上を占めています。



(7) 消費エネルギー表示機器(省エネナビ、HEMS 等)

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	27	6.7%
② 今後導入する予定である	17	4.2%
③ 予定はないが導入してみたい	158	39.0%
④ 導入するつもりはない	179	44.2%
無回答	24	5.9%
合計	405	100.0%

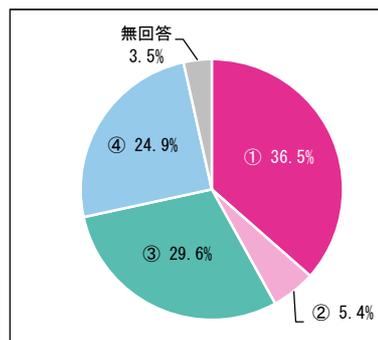
■「④導入するつもりはない」が 44.2%と最も高く、次いで「③予定はないが導入してみたい」が 39.0%となっています。



(8) 断熱材・ペアガラス

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	148	36.5%
② 今後導入する予定である	22	5.4%
③ 予定はないが導入してみたい	120	29.6%
④ 導入するつもりはない	101	24.9%
無回答	14	3.5%
合計	405	100.0%

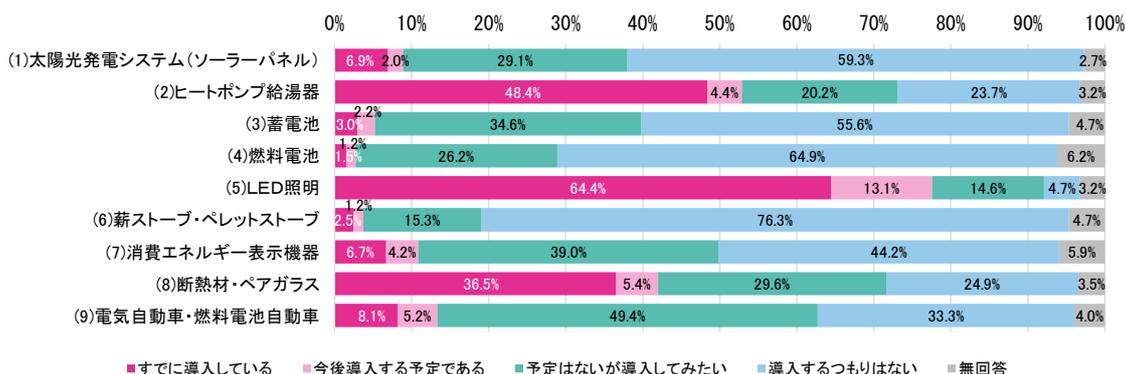
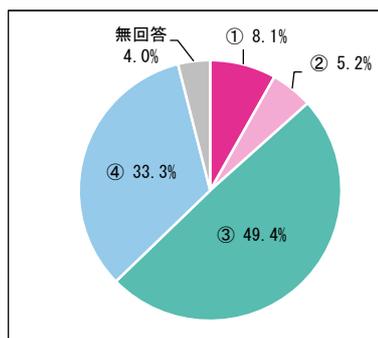
■「①すでに導入している」が 36.5%と最も高く、次いで「③予定はないが導入してみたい」が 29.6%となっています。



(9) 電気自動車・燃料電池自動車

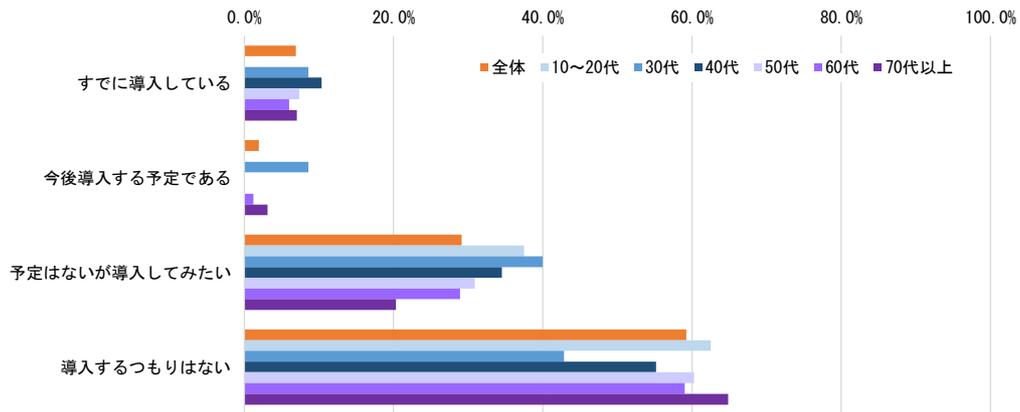
選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	33	8.1%
② 今後導入する予定である	21	5.2%
③ 予定はないが導入してみたい	200	49.4%
④ 導入するつもりはない	135	33.3%
無回答	16	4.0%
合計	405	100.0%

■「③予定はないが導入してみたい」が 49.4%と最も高く、次いで「④導入するつもりはない」が 33.3%となっています。

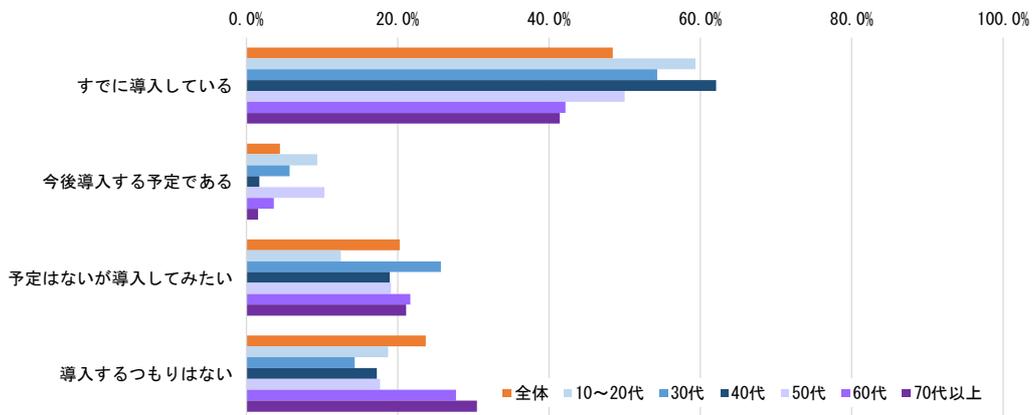


【(参考)クロス集計】

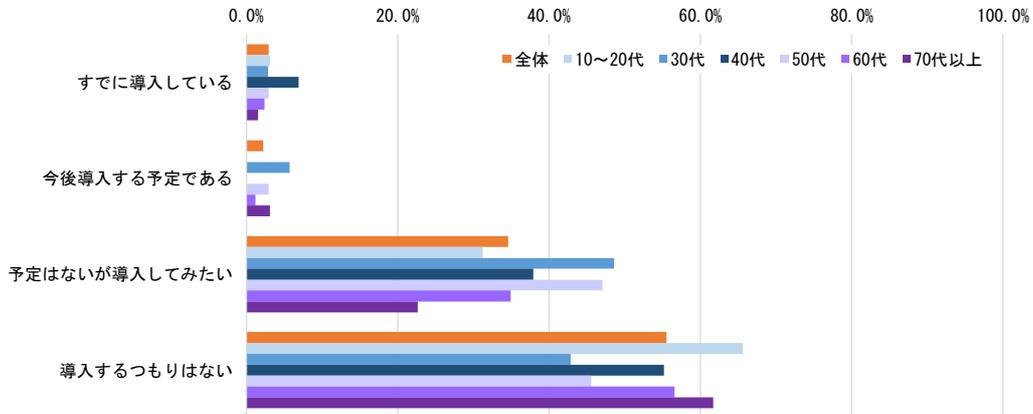
(1)太陽光発電システム(ソーラーパネル)



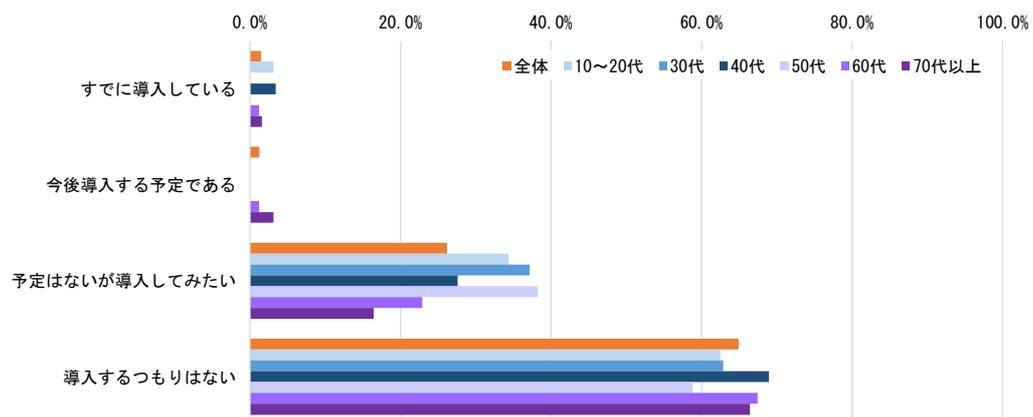
(2)ヒートポンプ給湯器(エコキュート等)



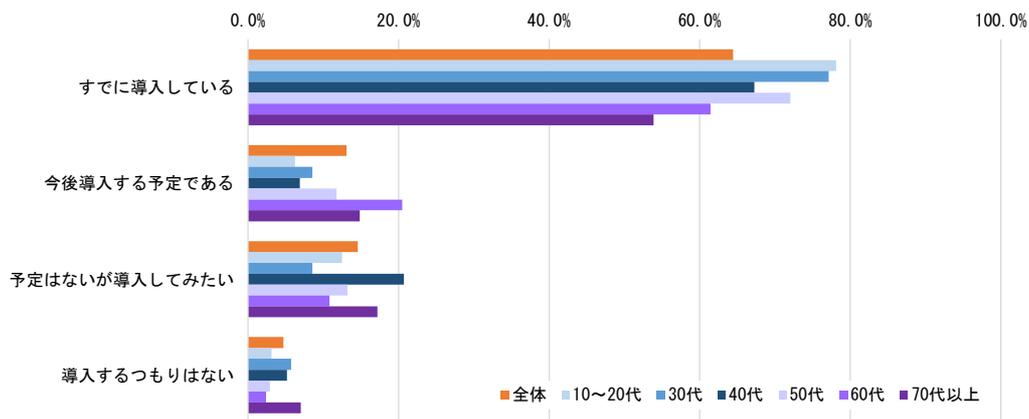
(3)蓄電池



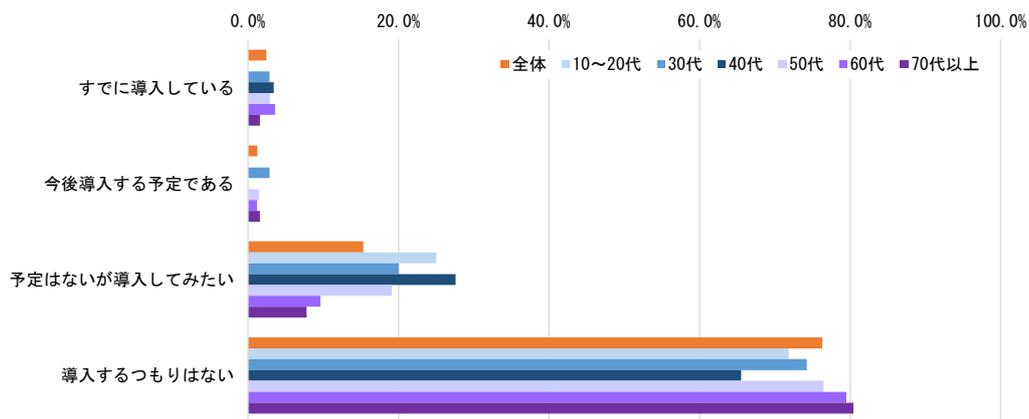
(4)燃料電池(エネファーム等)



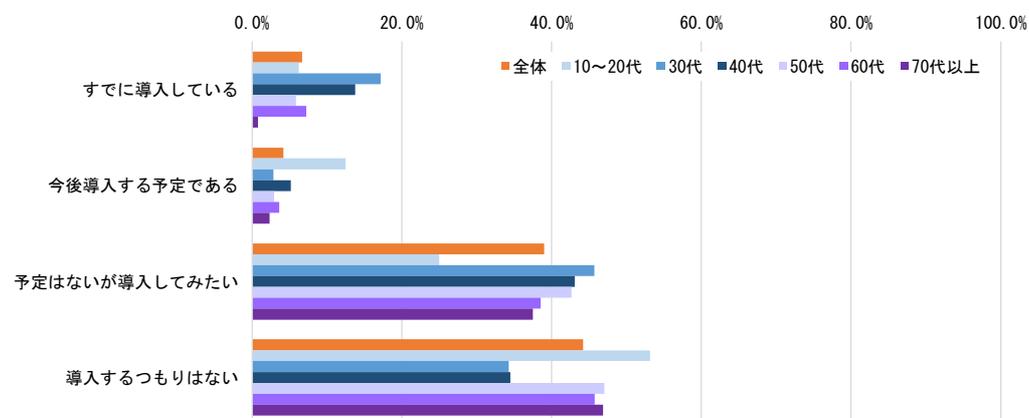
(5)LED照明



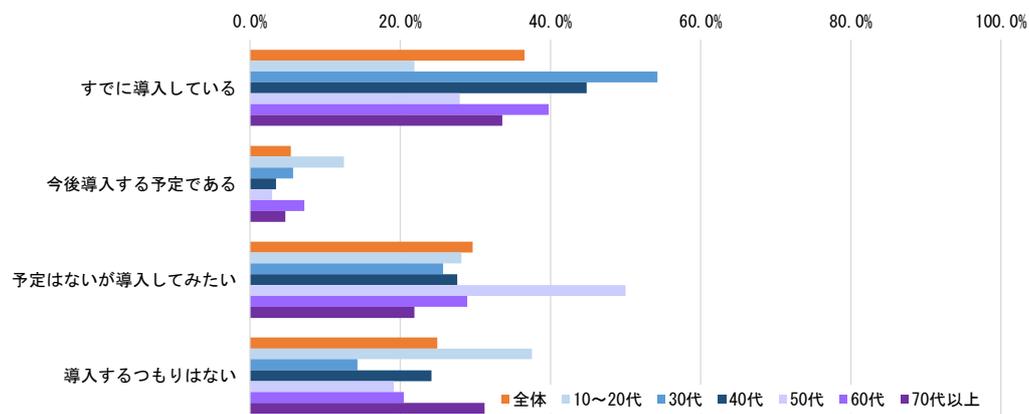
(6)薪ストーブ・ペレットストーブ



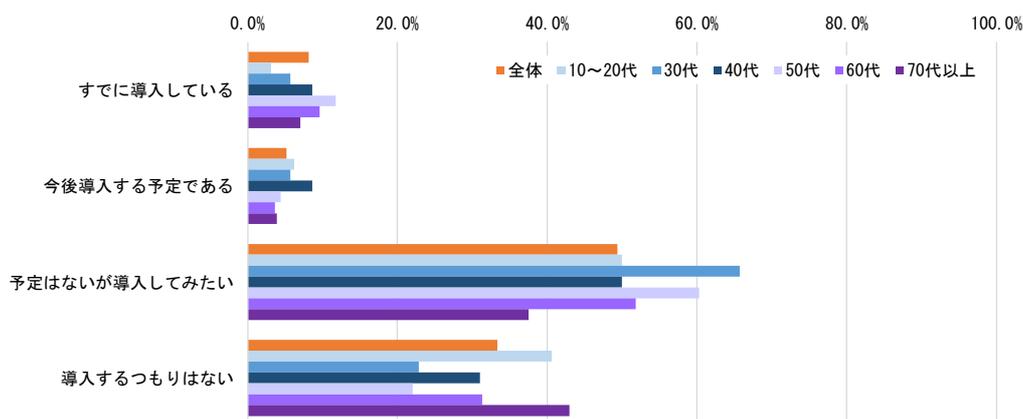
(7)消費エネルギー表示機器(省エネナビ、HEMS 等)



(8)断熱材・ペアガラス

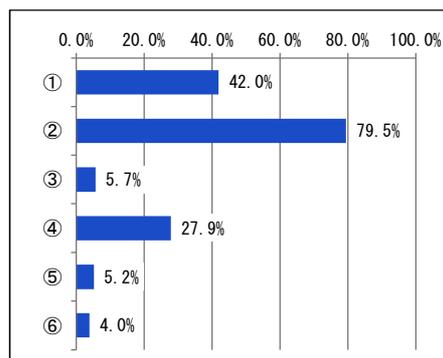


(9)電気自動車・燃料電池自動車



3)環境に配慮した設備を導入する上で、障害となっているものを選んでください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 情報や知識が足りない	170	42.0%
② お金に余裕がない	322	79.5%
③ 家族の理解が得られない	23	5.7%
④ 大きな効果が見込めない	113	27.9%
⑤ 賃貸・集合住宅で導入が難しい	21	5.2%
⑥ その他	16	4.0%
無回答	1765	-
合計	2430	-

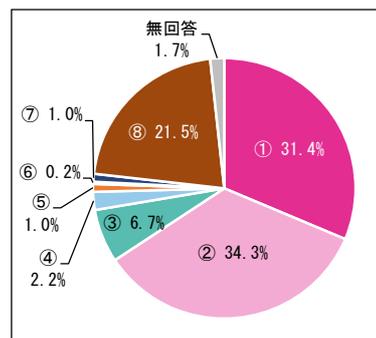


■「②お金に余裕がない」が79.5%と最も高く、次いで「①情報や知識が足りない」が42.0%となっています。

4)あなたのご家庭では、地球温暖化を意識し省エネルギーに取り組むことで、今後5年間で電気、ガスなどの使用量をどの程度削減できると思いますか。(それぞれ1つに○)

【電気】

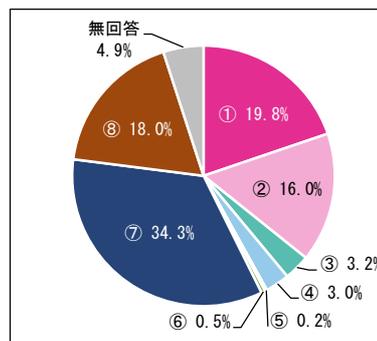
選択肢	回答者数	割合(%)
① 1割未満	127	31.4%
② 1~2割	139	34.3%
③ 3~4割	27	6.7%
④ 5~6割	9	2.2%
⑤ 7~8割	4	1.0%
⑥ 9~10割	1	0.2%
⑦ 使用していない	4	1.0%
⑧ 分からない	87	21.5%
無回答	7	1.7%
合計	405	100.0%



■「②1~2割」が34.3%と最も高く、次いで「①1割未満」が31.4%となっています。

【ガス】

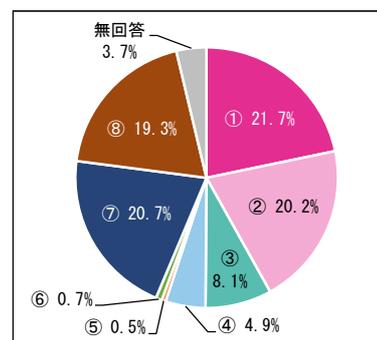
選択肢	回答者数	割合(%)
① 1割未満	80	19.8%
② 1～2割	65	16.0%
③ 3～4割	13	3.2%
④ 5～6割	12	3.0%
⑤ 7～8割	1	0.2%
⑥ 9～10割	2	0.5%
⑦ 使用していない	139	34.3%
⑧ 分からない	73	18.0%
無回答	20	4.9%
合計	405	100.0%



■「⑦使用していない」が34.3%と最も高く、次いで「①1割未満」が19.8%となっています。

【灯油】

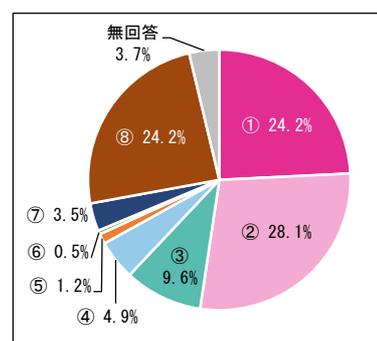
選択肢	回答者数	割合(%)
① 1割未満	88	21.7%
② 1～2割	82	20.2%
③ 3～4割	33	8.1%
④ 5～6割	20	4.9%
⑤ 7～8割	2	0.5%
⑥ 9～10割	3	0.7%
⑦ 使用していない	84	20.7%
⑧ 分からない	78	19.3%
無回答	15	3.7%
合計	405	100.0%



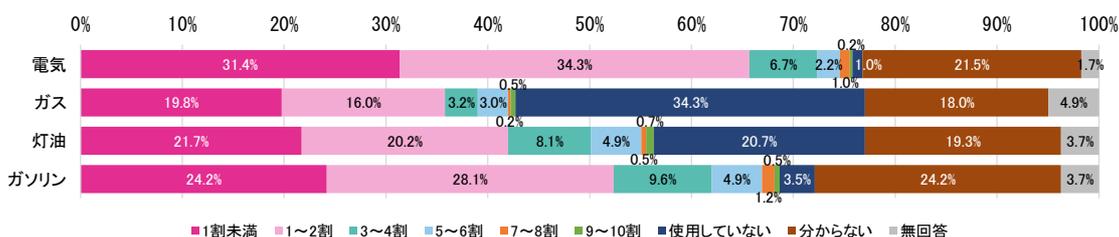
■「①1割未満」が21.7%と最も高く、次いで「⑦使用していない」が20.7%となっています。

【ガソリン】

選択肢	回答者数	割合(%)
① 1割未満	98	24.2%
② 1～2割	114	28.1%
③ 3～4割	39	9.6%
④ 5～6割	20	4.9%
⑤ 7～8割	5	1.2%
⑥ 9～10割	2	0.5%
⑦ 使用していない	14	3.5%
⑧ 分からない	98	24.2%
無回答	15	3.7%
合計	405	100.0%



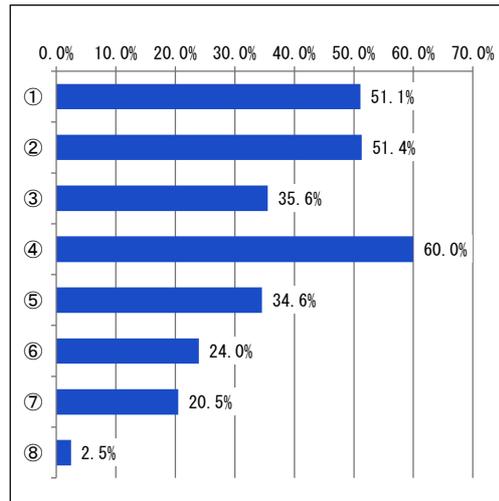
■「②1～2割」が28.1%と最も高く、次いで「①1割未満」と「⑧わからない」が24.2%となっています。



5)省エネルギー・脱炭素化を進める上で、重要だと思う市の取組はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

○

選択肢	回答者数	割合(%)
① 公共施設への積極的な省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入	207	51.1%
② 工場や事業所への省エネルギー・脱炭素化に向けた取組の強化	208	51.4%
③ 生活スタイルを省エネルギー化に向けた取組の強化	144	35.6%
④ 省エネルギー設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成の充実	243	60.0%
⑤ 省エネルギー家電製品や設備、エコ行動などに関する情報の発信	140	34.6%
⑥ 地球温暖化に関する講座やPRの充実	97	24.0%
⑦ イベントなどで地球温暖化やエネルギーについて学ぶ機会の充実	83	20.5%
⑧ その他	10	2.5%
無回答	2108	
合計	3240	-

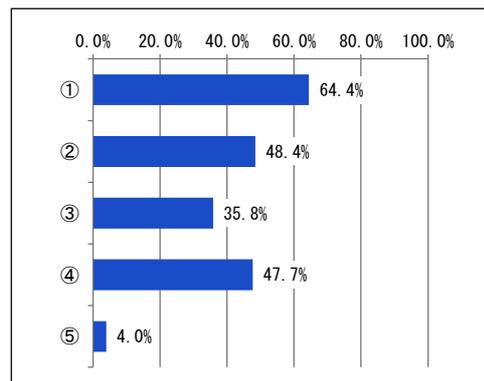


■「④省エネルギー設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成の充実」が60.0%と最も高く、次いで「②工場や事業所への省エネルギー・脱炭素化に向けた取組の強化」が51.4%となっています。

6)令和2年7月に熊本県を中心に発生した令和2年7月豪雨など、近年、気候変動の影響によって集中豪雨や猛暑など自然災害の頻度が増えています。これらの災害についてどの程度備えていますか。(あてはまるもの全てに○)

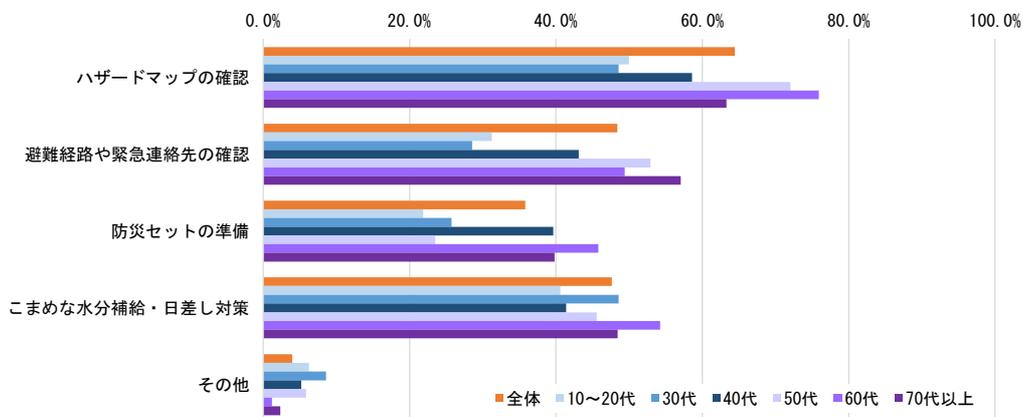
○

選択肢	回答者数	割合(%)
① ハザードマップの確認	261	64.4%
② 避難経路や緊急連絡先の確認	196	48.4%
③ 防災セットの準備	145	35.8%
④ こまめな水分補給・日差し対策	193	47.7%
⑤ その他	16	4.0%
無回答	1214	
合計	2025	-



■「①ハザードマップの確認」が64.4%と最も高く、次いで「②避難経路や緊急連絡先の確認」が48.4%となっています。

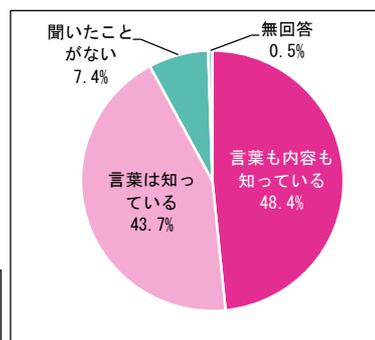
【(参考)クロス集計】



4. 自然環境や生物多様性の保全について

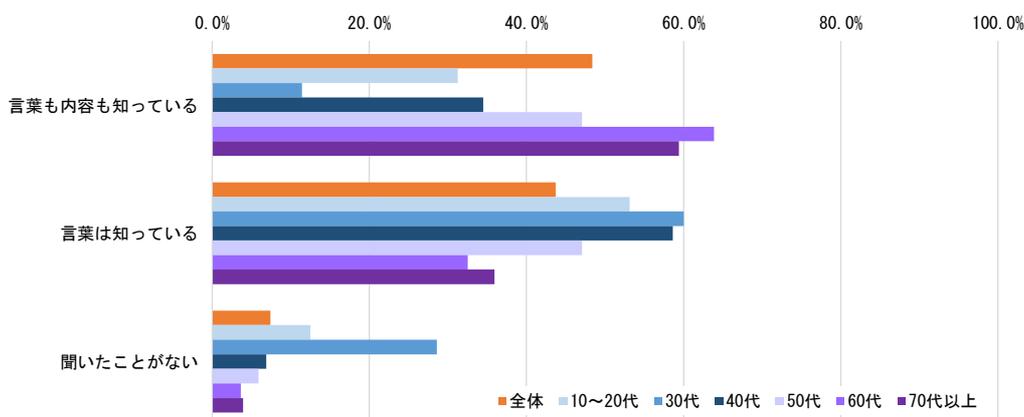
1)市は、生きものとの共生を目指し、「コウノトリが舞う里づくり」を進めています。この取組について、どの程度知っていますか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 言葉も内容も知っている	196	48.4%
② 言葉は知っている	177	43.7%
③ 聞いたことがない	30	7.4%
無回答	2	0.5%
合計	405	100.0%



■「言葉も内容も知っている」が48.4%と最も高く、次いで「言葉は知っている」が43.7%となっています。

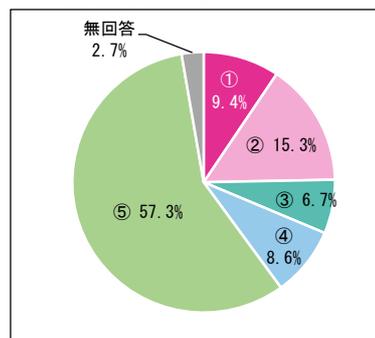
【(参考)クロス集計】



2)次の行動について、どの程度実施していますか。最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 生き物や環境に配慮した農業を行っている(農薬や化学肥料の使用量の削減など)

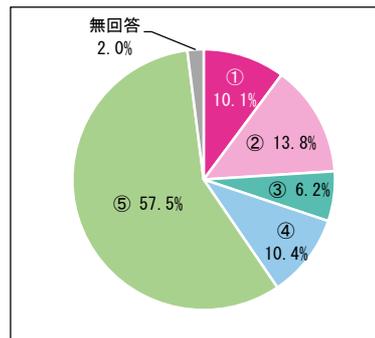
選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	38	9.4%
② ある程度実施している	62	15.3%
③ 今後実施したい	27	6.7%
④ 実施する予定はない	35	8.6%
⑤ 該当しない	232	57.3%
無回答	11	2.7%
合計	405	100.0%



■「⑤該当しない」が57.3%と約半数を占めています。

(2) 省農薬栽培(農薬使用1回のみ)や無農薬・無化学肥料栽培を行っている

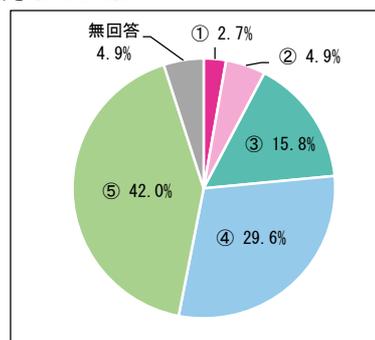
選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	41	10.1%
② ある程度実施している	56	13.8%
③ 今後実施したい	25	6.2%
④ 実施する予定はない	42	10.4%
⑤ 該当しない	233	57.5%
無回答	8	2.0%
合計	405	100.0%



■「⑤該当しない」が57.5%と約半数を占めています。

(3) 貴重な生物の保全・保護活動やビオトープの整備などに参加・協力している

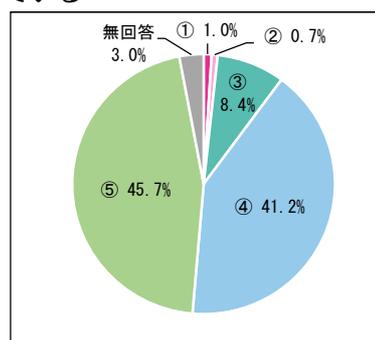
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	11	2.7%
② ある程度実施している	20	4.9%
③ 今後実施したい	64	15.8%
④ 実施する予定はない	120	29.6%
⑤ 該当しない	170	42.0%
無回答	20	4.9%
合計	405	100.0%



■「⑤該当しない」が42.0%と最も高く、次いで「④実施する予定はない」が29.6%となっています。

(4) コウノトリが舞う里づくり推進事業公開講座「ごはん塾」に参加している

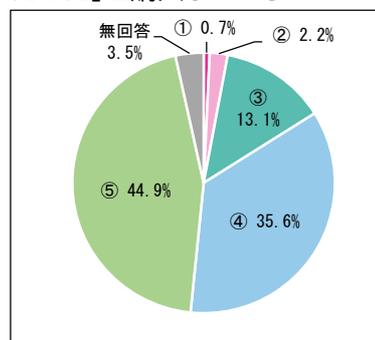
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	4	1.0%
② ある程度実施している	3	0.7%
③ 今後実施したい	34	8.4%
④ 実施する予定はない	167	41.2%
⑤ 該当しない	185	45.7%
無回答	12	3.0%
合計	405	100.0%



■「⑤該当しない」が45.7%と最も高く、次いで「④実施する予定はない」が41.2%となっています。

(5) コウノトリ呼び戻す農法米や、農法米を使用して醸造したお酒「かたかた」を購入している

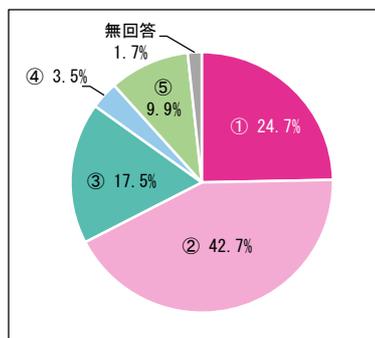
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	3	0.7%
② ある程度実施している	9	2.2%
③ 今後実施したい	53	13.1%
④ 実施する予定はない	144	35.6%
⑤ 該当しない	182	44.9%
無回答	14	3.5%
合計	405	100.0%



■「⑤該当しない」が44.9%と最も高く、次いで「④実施する予定はない」が35.6%となっています。

(6) 地元で採れた食材を購入している

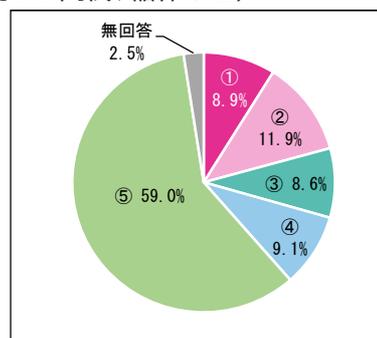
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	100	24.7%
② ある程度実施している	173	42.7%
③ 今後実施したい	71	17.5%
④ 実施する予定はない	14	3.5%
⑤ 該当しない	40	9.9%
無回答	7	1.7%
合計	405	100.0%



■「②ある程度実施している」が42.7%と最も高く、次いで「①実施している」が24.7%となっています。

(7) 保有する山や竹林、農地を適切に維持管理している(山の下草刈りや間伐、稲作など)

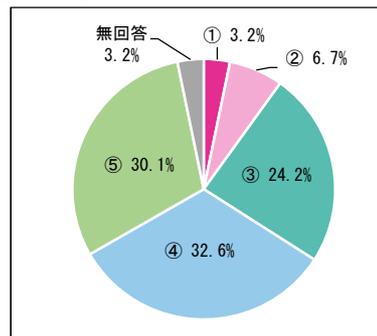
選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	36	8.9%
② ある程度実施している	48	11.9%
③ 今後実施したい	35	8.6%
④ 実施する予定はない	37	9.1%
⑤ 該当しない	239	59.0%
無回答	10	2.5%
合計	405	100.0%



■「⑤該当しない」が59.0%と約半数を占めています。

(8) 自然観察会への参加など、自然に親しむ機会をできるだけ増やしている

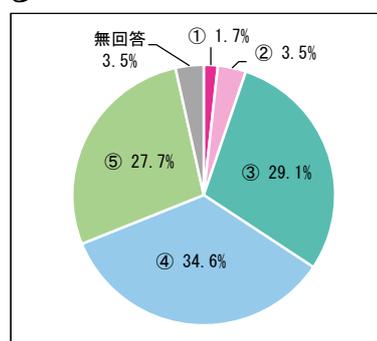
選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	13	3.2%
② ある程度実施している	27	6.7%
③ 今後実施したい	98	24.2%
④ 実施する予定はない	132	32.6%
⑤ 該当しない	122	30.1%
無回答	13	3.2%
合計	405	100.0%



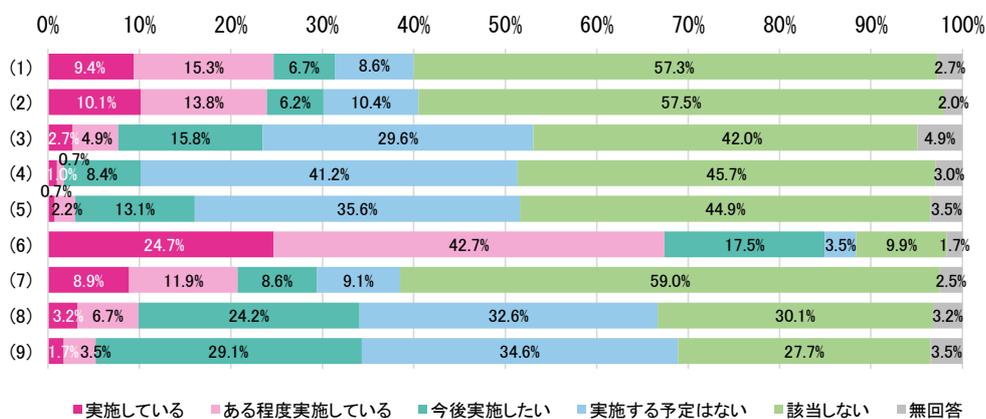
■「④実施する予定はない」が32.6%と最も高く、次いで「⑤該当しない」が30.1%となっています。

(9) 環境に関するイベント、講習会等に参加し知識の向上に努めている

選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	7	1.7%
② ある程度実施している	14	3.5%
③ 今後実施したい	118	29.1%
④ 実施する予定はない	140	34.6%
⑤ 該当しない	112	27.7%
無回答	14	3.5%
合計	405	100.0%

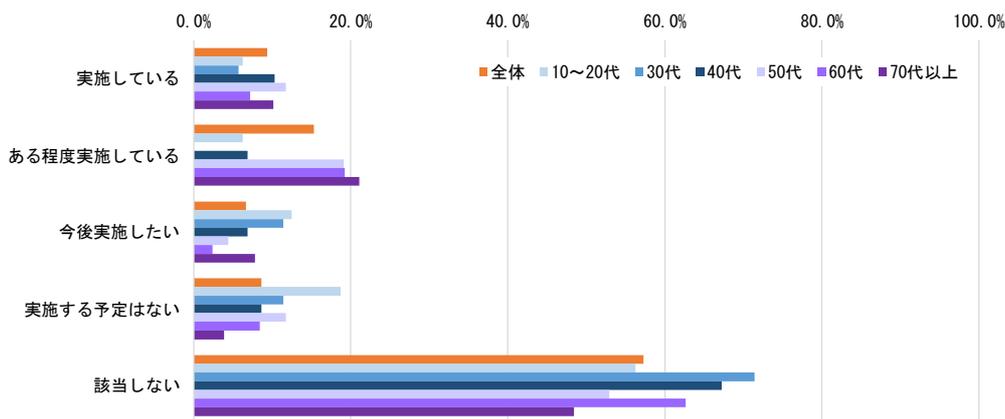


■「④実施する予定はない」が34.6%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が29.1%となっています。

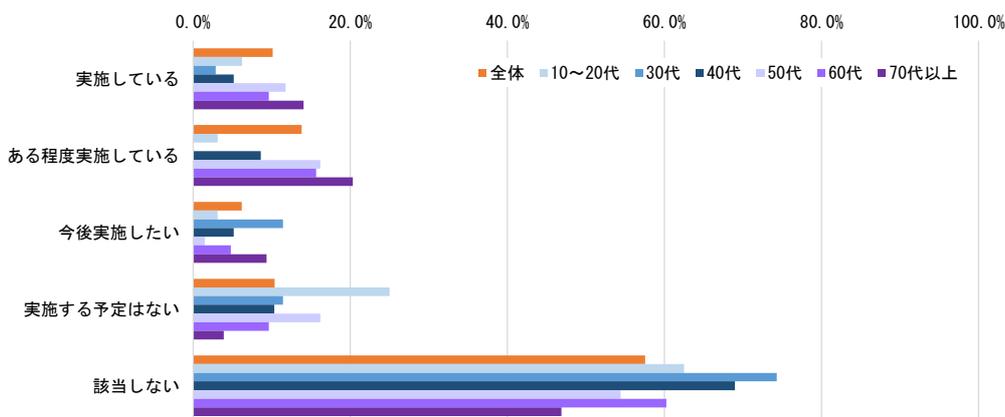


【(参考)クロス集計】

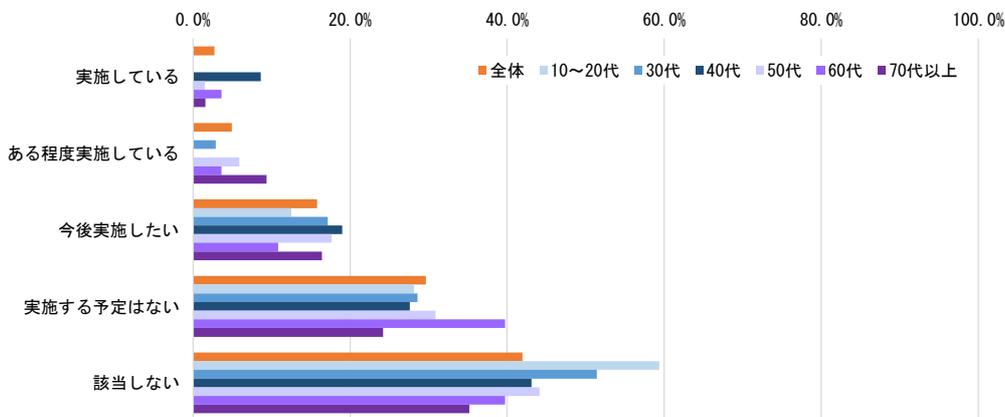
(1)生き物や環境に配慮した農業を行っている



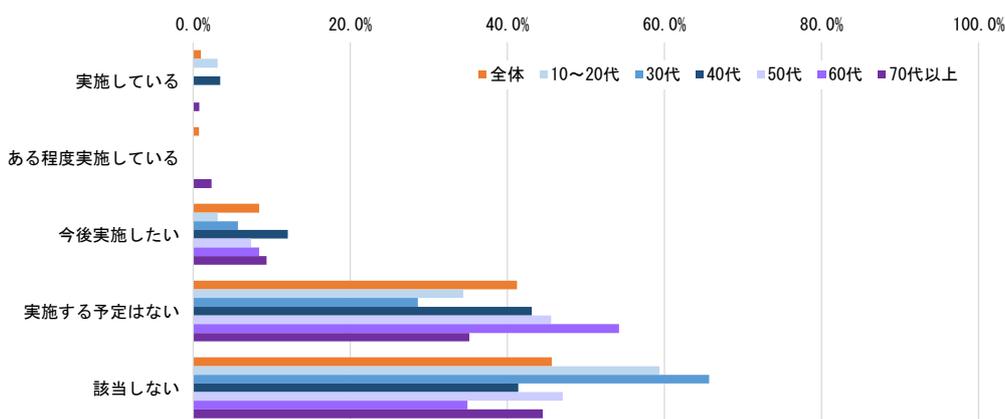
(2)省農薬栽培(農薬使用1回のみ)や無農薬・無化学肥料栽培を行っている



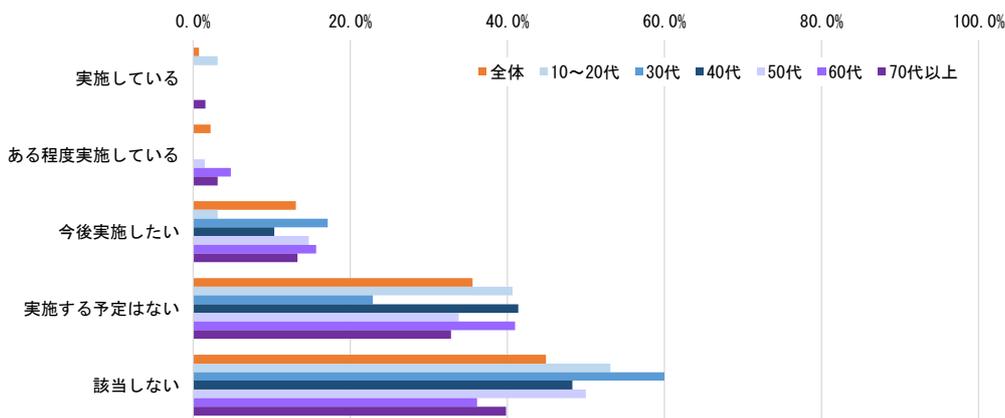
(3)貴重な生物の保全・保護活動やビオトープの整備などに参加・協力している



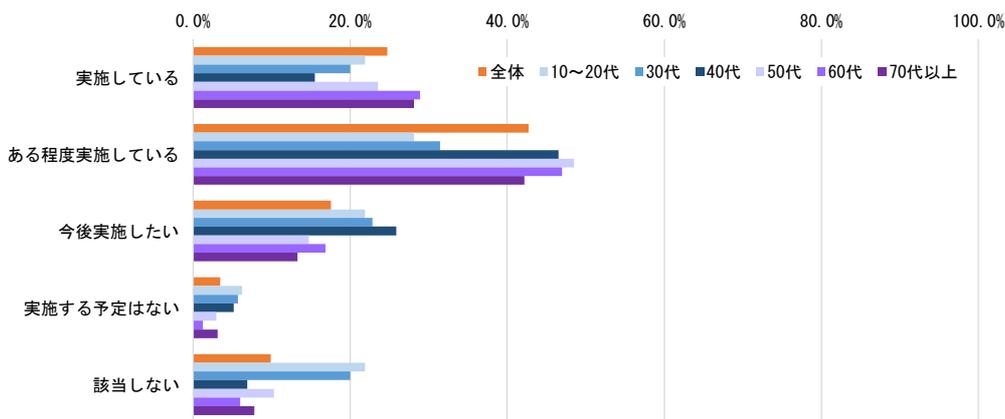
(4)コウノトリが舞う里づくり推進事業公開講座「ごはん塾」に参加している



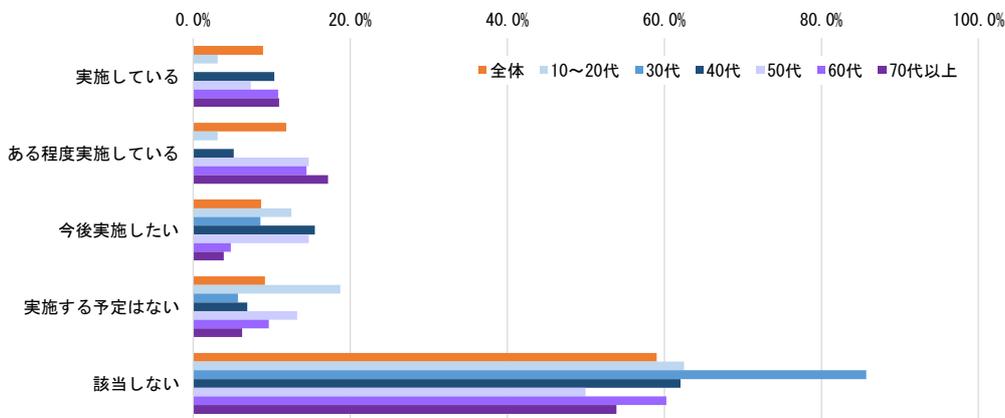
(5) コウノトリ呼び戻す農法米や、農法米を使用して醸造したお酒「かたかた」を購入している



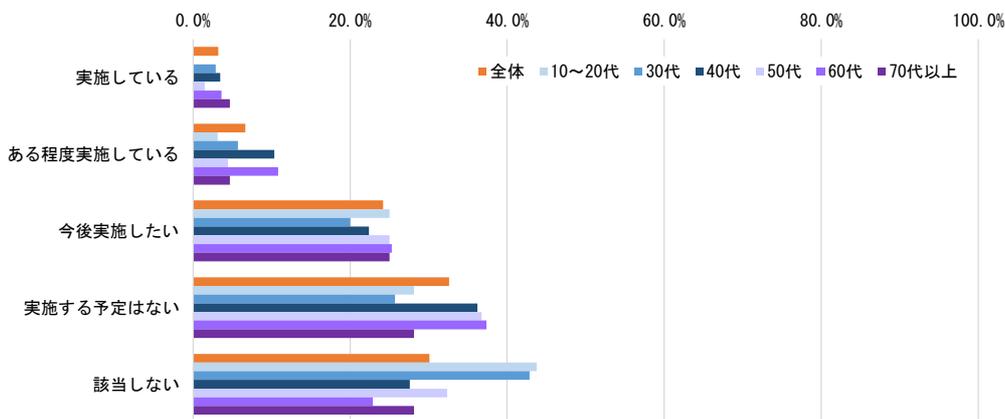
(6) 地元で採れた食材を購入している



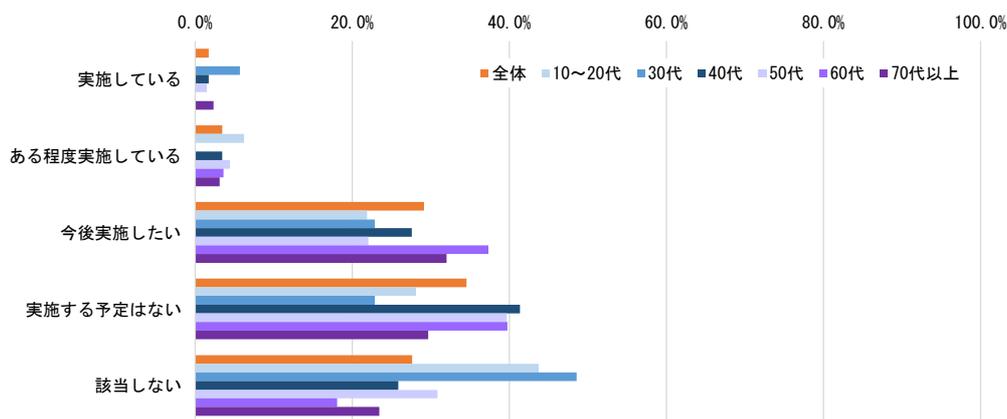
(7) 保有する山や竹林、農地を適切に維持管理している(山の下の草刈りや間伐、稲作など)



(8) 自然観察会への参加など、自然に親しむ機会をできるだけ増やしている



(9)環境に関するイベント、講習会等に参加し知識の向上に努めている



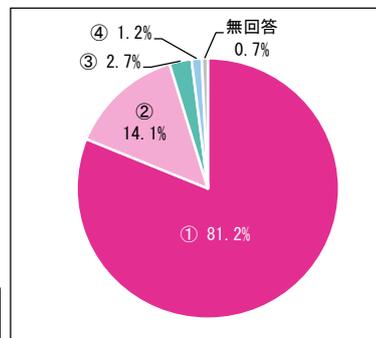
5. ごみの減量化やリサイクルの取組について

1) 次の行動について、どの程度実施していますか。最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 買い物をするときはマイバッグを持参する

選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	329	81.2%
② ある程度実施している	57	14.1%
③ 今後実施したい	11	2.7%
④ 実施する予定はない	5	1.2%
無回答	3	0.7%
合計	405	100.0%

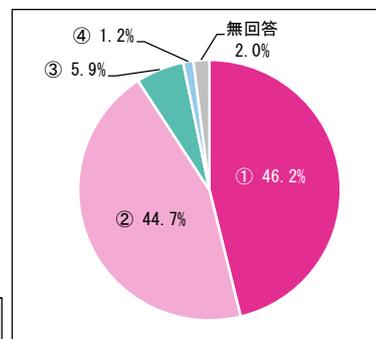
■「①実施している」が81.2%と大半を占めています。



(2) 必要以上にものを買わない

選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	187	46.2%
② ある程度実施している	181	44.7%
③ 今後実施したい	24	5.9%
④ 実施する予定はない	5	1.2%
無回答	8	2.0%
合計	405	100.0%

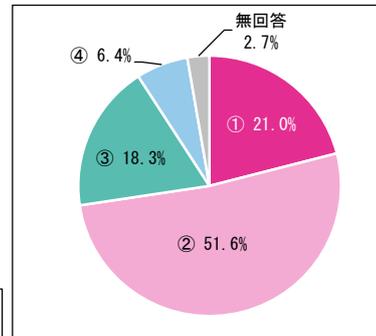
■「①実施している」が46.2%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が44.7%となっています。



(3) 使い捨て商品进行避ける

選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	85	21.0%
② ある程度実施している	209	51.6%
③ 今後実施したい	74	18.3%
④ 実施する予定はない	26	6.4%
無回答	11	2.7%
合計	405	100.0%

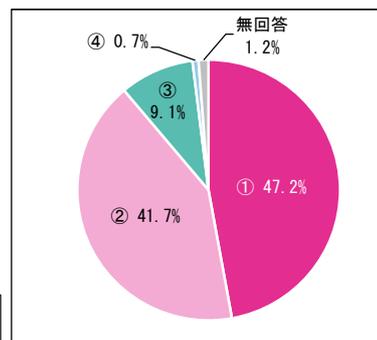
■「②ある程度実施している」が51.6%と約半数を占めています。



(4) 料理の作り過ぎに気を付け、食べ残しを減らしている

選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	191	47.2%
② ある程度実施している	169	41.7%
③ 今後実施したい	37	9.1%
④ 実施する予定はない	3	0.7%
無回答	5	1.2%
合計	405	100.0%

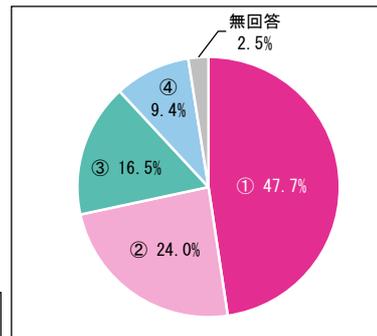
■「①実施している」が47.2%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が41.7%となっています。



(5) マイボトルを持参している

選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	193	47.7%
② ある程度実施している	97	24.0%
③ 今後実施したい	67	16.5%
④ 実施する予定はない	38	9.4%
無回答	10	2.5%
合計	405	100.0%

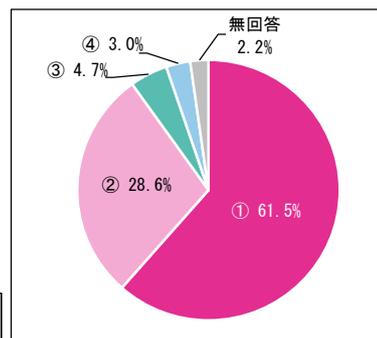
■「①実施している」が47.7%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が24.0%となっています。



(6) 地域の資源回収に協力している

選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	249	61.5%
② ある程度実施している	116	28.6%
③ 今後実施したい	19	4.7%
④ 実施する予定はない	12	3.0%
無回答	9	2.2%
合計	405	100.0%

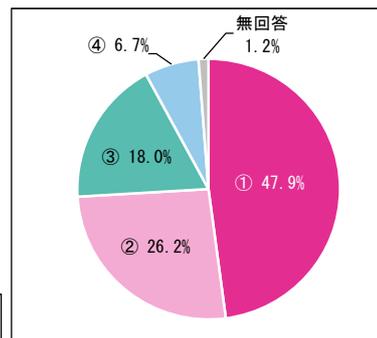
■「①実施している」が61.5%と半数以上を占めています。



(7) 雑がみ(お菓子の箱やチラシなど)の回収に協力している

選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	194	47.9%
② ある程度実施している	106	26.2%
③ 今後実施したい	73	18.0%
④ 実施する予定はない	27	6.7%
無回答	5	1.2%
合計	405	100.0%

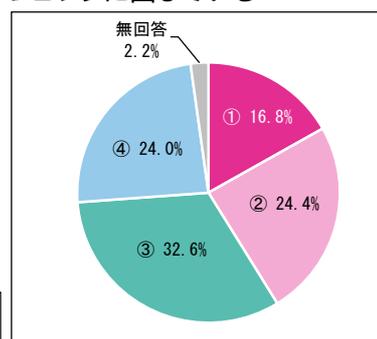
■「①実施している」が47.9%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が26.2%となっています。

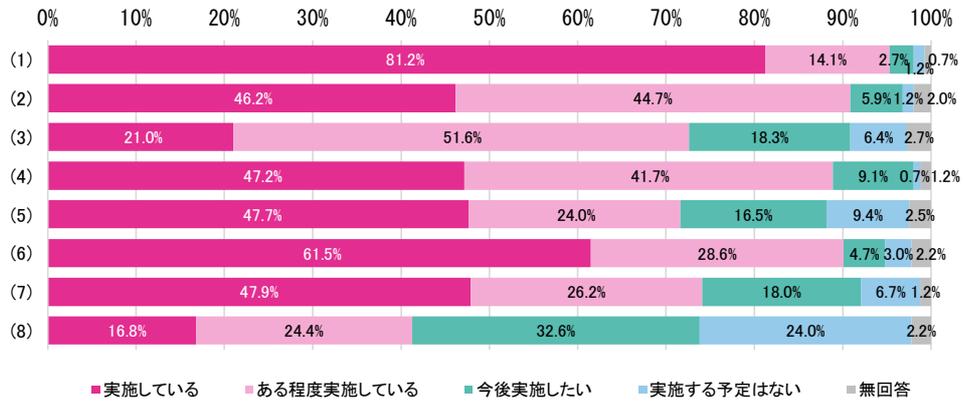


(8) 使わないものはフリーマーケット(フリマアプリ含む)やリサイクルショップに出している

選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	68	16.8%
② ある程度実施している	99	24.4%
③ 今後実施したい	132	32.6%
④ 実施する予定はない	97	24.0%
無回答	9	2.2%
合計	405	100.0%

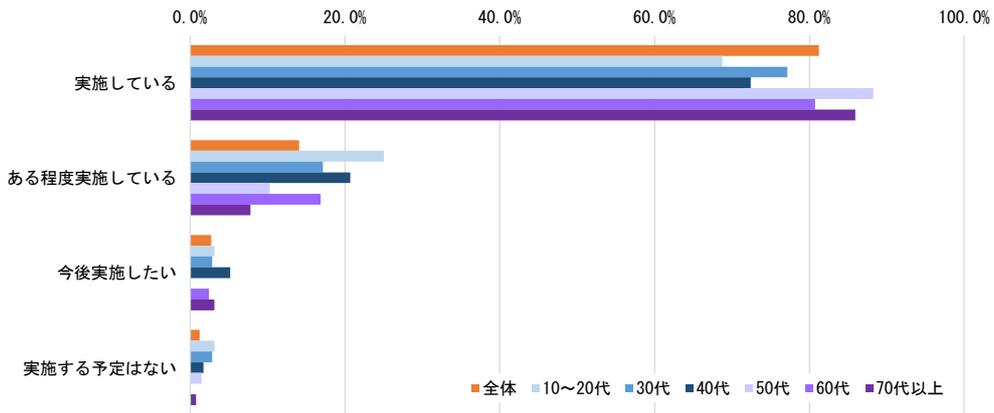
■「③今後実施したい」が32.6%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が24.4%となっています。



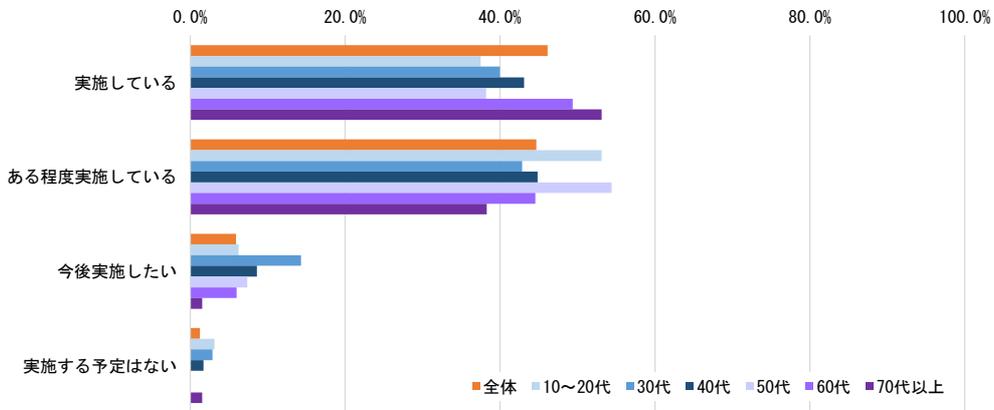


【(参考)クロス集計】

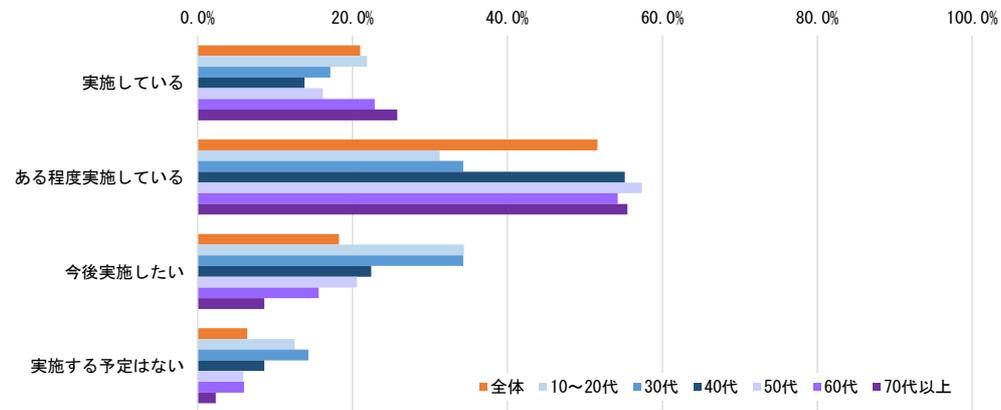
(1) 買い物をするときマイバッグを持参する



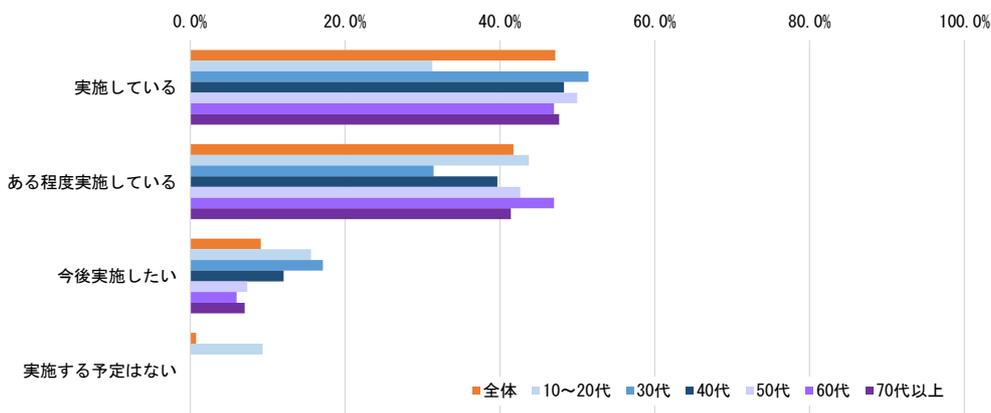
(2) 必要以上にものを買わない



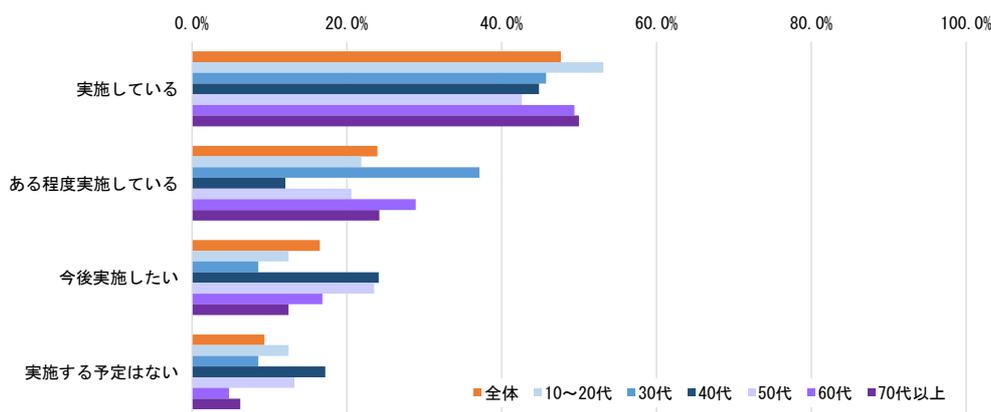
(3) 使い捨て商品を選ばない



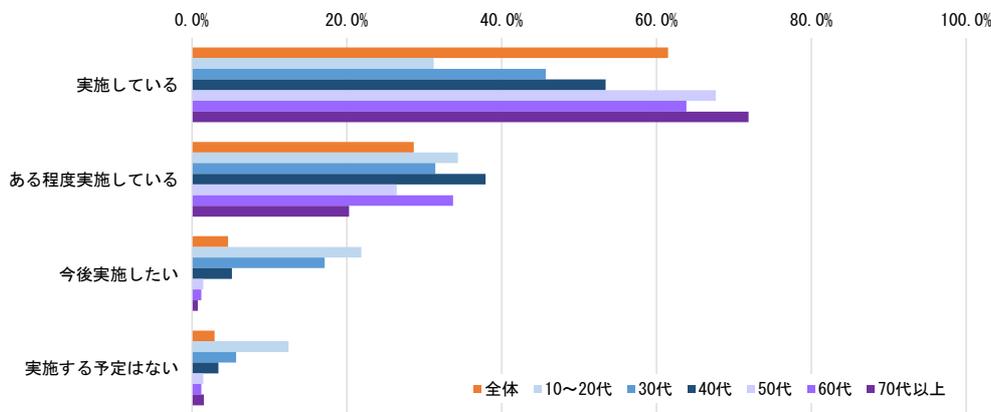
(4)料理の作り過ぎに気を付け、食べ残しを減らしている



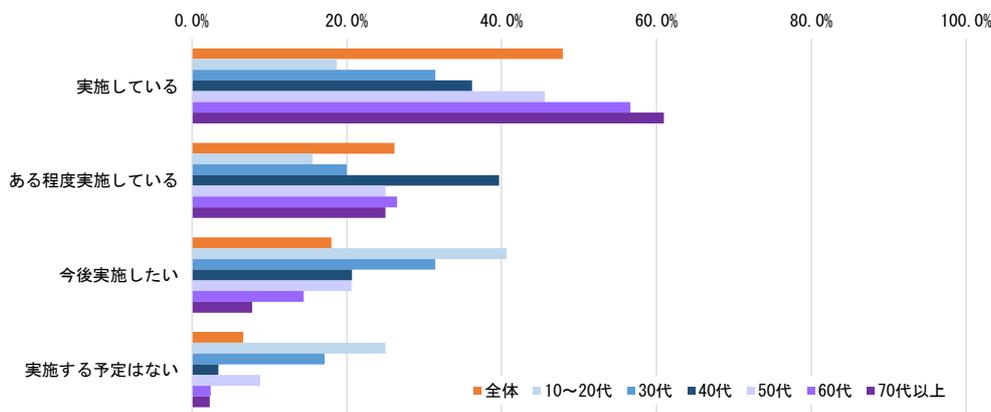
(5)マイボトルを持参している



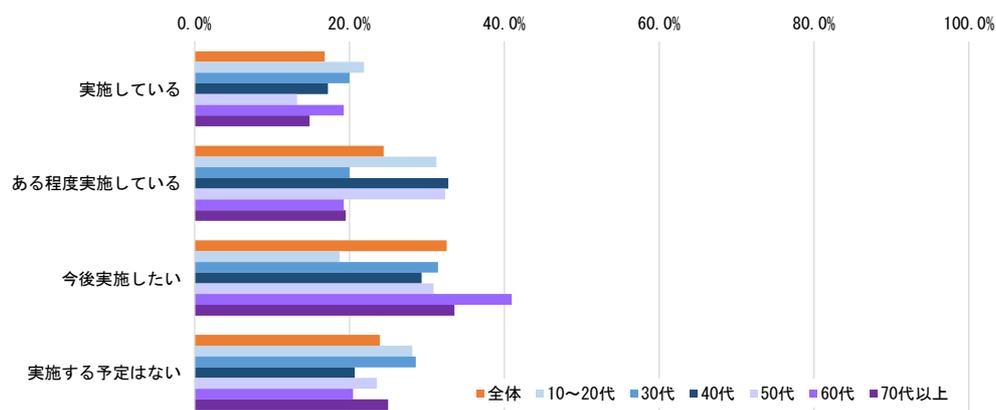
(6)地域の資源回収に協力している



(7)雑がみ(お菓子の箱やチラシなど)の回収に協力している

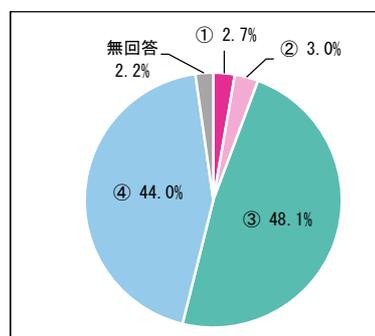


(8) 使わないものはフリーマーケット(フリマアプリ含む)やリサイクルショップに出している



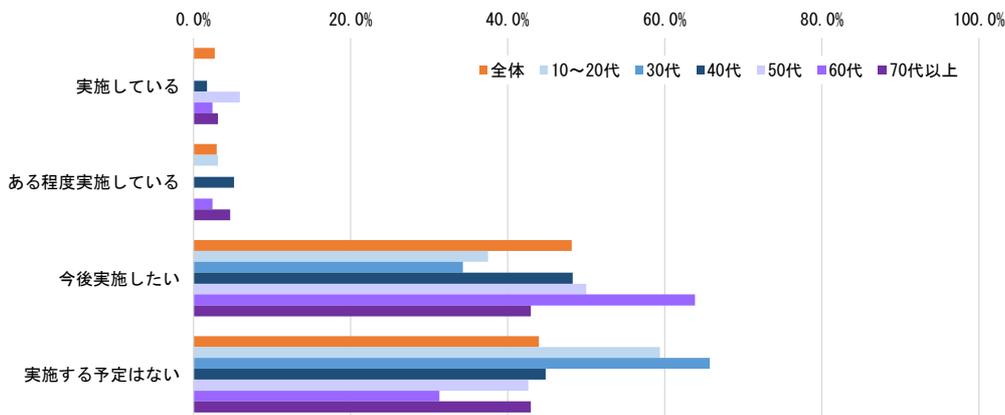
2)市では、「おいしいえちぜん食べきり運動」を展開しており、フードドライブの実施や、食品ロスに関する情報発信などを行っています。この運動について、あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに運動に参加・協力している	11	2.7%
② 参加・協力する予定である	12	3.0%
③ 機会があれば参加・協力したい	195	48.1%
④ この運動を聞いたことがない	178	44.0%
無回答	9	2.2%
合計	405	100.0%



■「③機会があれば参加・協力したい」が 48.1%と最も高く、次いで「④この運動を聞いたことがない」が 44.0%となっています。

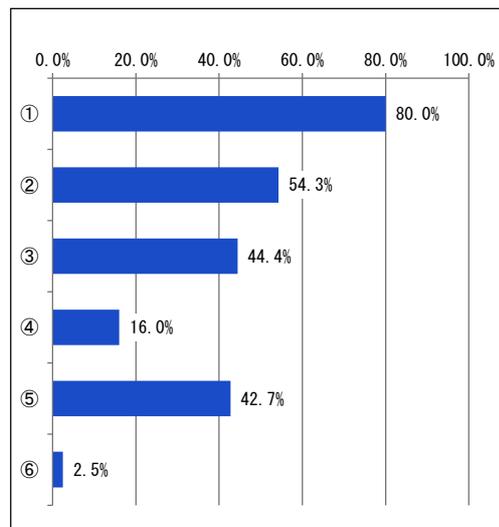
【(参考)クロス集計】



6. 環境教育や学習について

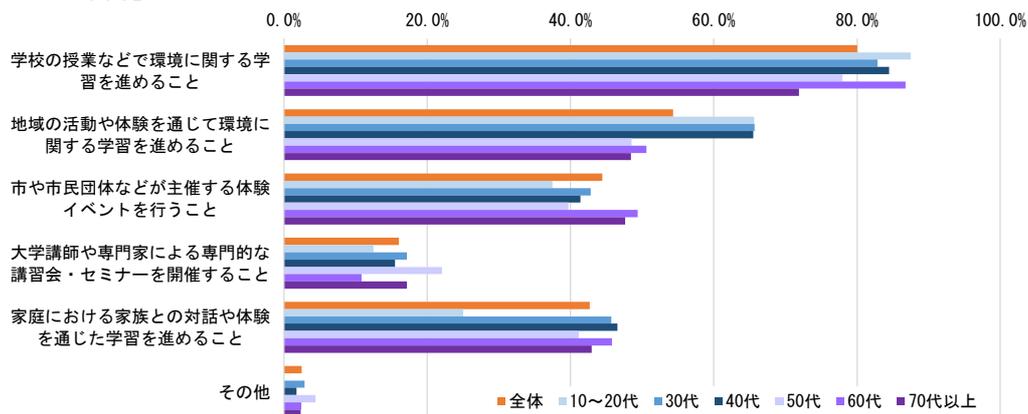
1) 子どもや地域住民を対象とした「環境共育」について、重要だと思う取組を選んでください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 学校の授業などで環境に関する学習を進めること	324	80.0%
② 田植え体験など地域の活動や体験を通じて環境に関する学習を進めること	220	54.3%
③ 自然観察会など市や市民団体などが主催する体験イベントを行うこと	180	44.4%
④ 大学講師や専門家による専門的な講習会・セミナーを開催すること	65	16.0%
⑤ 家庭における家族との対話や体験を通じた学習を進めること	173	42.7%
⑥ その他	10	2.5%
無回答	1457	
合計	2429	-



■「①学校の授業などで環境に関する学習を進めること」が 80.0%と最も高く、次いで「②田植え体験など地域の活動や体験を通じて環境に関する学習を進めること」が 54.3%となっています。

【(参考)クロス集計】



2)市は、以下の環境分野ごとに越前市らしいキャッチフレーズを設けて意識啓発につなげるとともに、実現に向けた取組を進める予定です。それぞれの環境分野でイメージする言葉やキャッチフレーズがあればご記入ください。

【地球環境】

<イメージする言葉>
 カーボンフットプリント、エコ、ノーマイカーデー、温室効果ガスの抑制、温暖化防止、脱炭素、野焼をなくす、異常気象、クリーンニュートラル
 <キャッチフレーズ>
 CO₂DownETIZEN、エコシティ越前、地球という名の船に乗って宇宙を旅する、脱温暖化たけふ、未来につなげる美しい町越前、やさしいエコシティ武生、脱炭のまち越前、思いついた始めよう。貴方のその一つが地球を守る、地球にやさしい越前市、クリーン越前、災害ゼロ越前、未来に繋ぐ環境にやさしい越前市、地球環境を考える町 越前、えちぜんのエ：エコな越前、脱炭素でみんなが安心して住める街、地球と共存する越前、地球となかよし 越前市、風力のまち

【生活環境】

<イメージする言葉>
 空気がきれい、エコドライブ、EV車
 <キャッチフレーズ>
 NO ボイ捨て ETIZEN、安心安全なう、安心安全が実感できるまち、安心安全な街を子どもたちに贈ろう、不法投棄を許さない街越前市！！、安全に暮らせる町、きれいなまち、一人一人が声をかけよう、不法投棄厳禁、不法投棄のない町、安心安全が実感できるまち、安心して住めるまち、静かな町を目指す、クリーンなまち越前、Go to 減るで住みやすい町 越前、えちぜんの子：地域が大事 越前、無害で危険のない安心の町、安心安全越前 CITY、ゴミ回収率 100%のまち

【自然環境】

<言葉>

自然環境を壊さない、外来種の駆除

<キャッチフレーズ>

コウノトリと暮らすまち、コウノトリも好むまち、豊かな自然が豊かな心を育む、コウノトリに選ばれるまち、一度失った生態系は戻らない、未来に残そう、自然！、生き物を大切に、コウノトリの舞う里づくり、豊かな自然のある町、えっちゃんの子どもからまごへ、コウノトリに会える街、コウノトリ武生、コウノトリと生活するまち、人も動物も安全に暮らせるまち、ちょっととつかしい自然のあるまち、地産地消を実践するまち、きれいな空気と緑の豊かな町、コウノトリと共生するまち、ツバメと共生するまち ツバメが来るまち、ホテルのいる町、生ものと自然と共に、みんなが仲間なまち、えちぜんしのぜ：全力で自然を守る 越前、自然を感じ 共に生活するまち、海も山も昔から変わらない町へ

【資源循環】

<言葉>

マイバック・マイハシ・マイストロー、ゴミの減量・分別 食品ロスやプラスチックの削減、省エネ リサイクル

<キャッチフレーズ>

ロスゴミ対策のまち、ゴミの分別にプライドをもつまち、〇〇もゴミも少ない越前市、ごみの少ないまち、ゴミはしっかり分別します越前市、レッツリサイクル、買う前に捨てる前に考えよう！、リサイクルシティ越前、なくそう食品ロス！、ゴミ拾いがいらぬまち、もったいないを実践するまち、ごみの分別は正しく、食べきり。もったいない。リサイクルを進める町、ゴミも資源、ゴミの少ない町、一つ一つ包んであるプラをなくす、考えて行動しよう！、ゴミ分別優秀街、みんなに優しいまち、えちぜんしのん：ん！出来るや！3R 越前、ゴミO 越前 CITY、ゴミが見当たらない町

【環境共育】

<言葉>

地産地消、人材育成

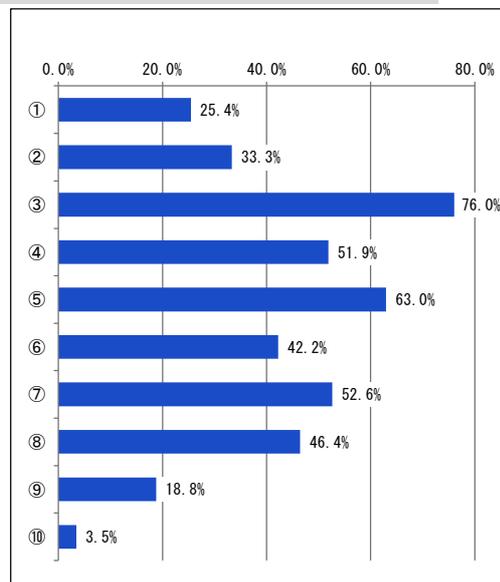
<キャッチフレーズ>

環境教育 1人1人の意識が大事、環境共育共存強化まち、みんなで学ぼう、小学生の貴方を町を守る人、明日のために環境をよくするまち、目指せ環境博士！！、環境共育のまち、育てよう環境ハート、きくりんの令和環境共育りん会、えちぜんしのん：しっかり環境学習 越前

7. 市全体の環境について

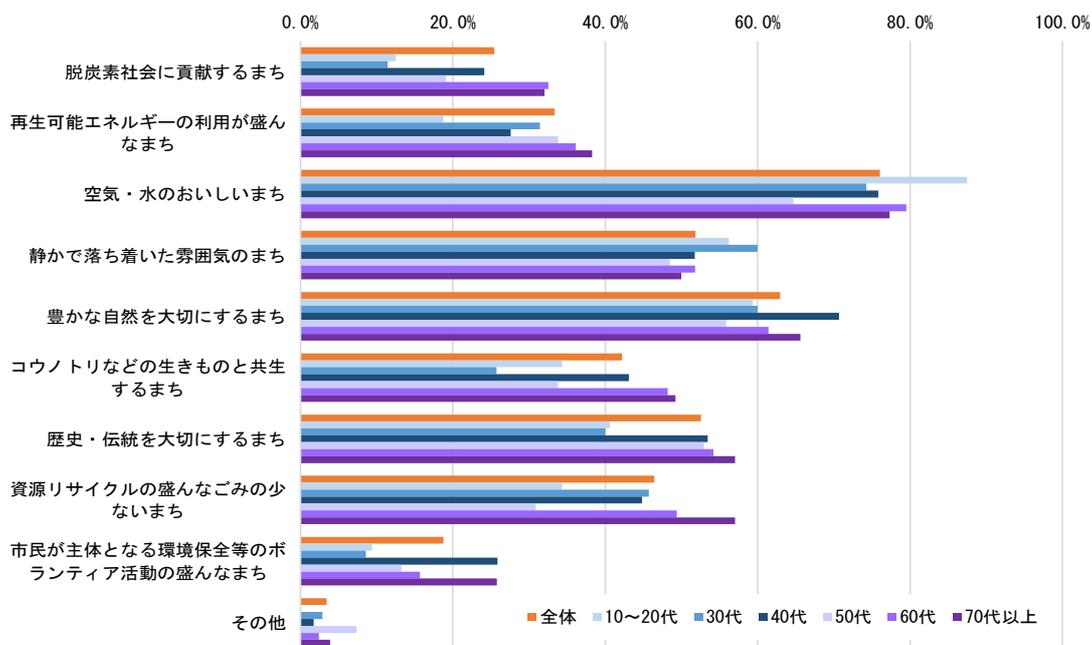
1)あなたが望む越前市の将来イメージに近いものを選んでください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 脱炭素社会に貢献するまち	103	25.4%
② 再生可能エネルギーの利用が盛んなまち	135	33.3%
③ 空気・水のおいしいまち	308	76.0%
④ 静かで落ち着いた雰囲気のあるまち	210	51.9%
⑤ 豊かな自然を大切にするまち	255	63.0%
⑥ コウノトリなどの生きものと共生するまち	171	42.2%
⑦ 歴史・伝統を大切にするまち	213	52.6%
⑧ 資源リサイクルの盛んなごみの少ないまち	188	46.4%
⑨ 市民が主体となる環境保全等のボランティア活動の盛んなまち	76	18.8%
⑩ その他	14	3.5%
無回答	2377	-
合計	4050	-



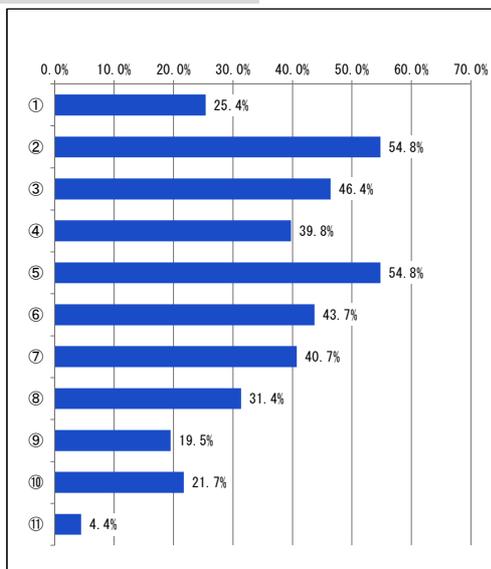
■「③空気・水のおいしいまち」が 76.0%と最も高く、次いで「⑤豊かな自然を大切にするまち」が 63.0%となっています。

【(参考)クロス集計】



3)市に重点的に進めてほしい施策を選んでください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 脱炭素社会の構築	103	25.4%
② 生活環境を守る	222	54.8%
③ 美しい街並み景観の誘導	188	46.4%
④ 歴史・伝統文化の保全	161	39.8%
⑤ 豊かな自然環境の保全	222	54.8%
⑥ 不法投棄の取り締まりの強化	177	43.7%
⑦ ごみの減量化とリサイクルに向けた取組の強化	165	40.7%
⑧ 環境教育・環境学習の推進	127	31.4%
⑨ 環境に関する情報の周知	79	19.5%
⑩ 環境保全活動に取り組む人材の育成	88	21.7%
⑪ その他	18	4.4%
無回答	2905	-
合計	4455	-



■「②生活環境を守る」と「⑤豊かな自然環境の保全」が 54.8%と最も高く、次いで「③美しい街並み景観の誘導」が 46.4%となっています。

8. その他

市は、脱炭素社会の実現に向けて、本市の二酸化炭素排出量を 2050 年までに実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を行う予定です。脱炭素社会の実現や二酸化炭素排出削減について、ご意見・アイデアなどご自由にお書きください。

※環境に関連する意見について、原文通りにまとめています。

<全体に関すること>

- ・カーボン、ゼロの達成、可能性は如何？
- ・ゼロカーボンシティ、このようなカタカナ語ではいちいち二酸化炭素排出量を 2050 年までに実質ゼロにするという説明を使って活動を進めてほしい。宣言するのは結構だが「読書のまち宣言」のように、これまでと特に変わらない(市民に伝わらない)ことになることが心配である。題目は抽象的でも、「重点的な施策」の具体的な進め方を実現に協力できそうなレベルまで落として、中身のある具体策を提示してほしい。「一人一人が気をつける」「しっかりやる」「〇〇%減らす」などは具体性がないので、その先が知りたい。
- ・ゼロカーボンシティは絶対無理(ゼロ)だと思えます。
- ・実現が難しい、高すぎる目標のように感じる。・短期、中期、長期といった計画的な目標設定とアクションプランを明示するとわかりやすい。・ネガティブな事例になるが、太陽光パネルの普及は将来的に大量の太陽光パネル廃棄物というリスクを抱えていると聞いたことがある。ゼロカーボンの取り組みが新たな環境負荷を生み出すことのないよう、広い視野が必要。

<再生可能エネルギーに関すること>

- ・ソーラーパネルや蓄電池の家庭設置の補助制度開設。
- ・ソーラーパネルを導入する市民等への助成があると嬉しい。電気自動車もしくは燃料電池車を購入する市民への助成。
- ・再生エネルギーはまやかしです。どう見ても収支(カーボン収支)が取れません。今のところは原子力エネルギーを活用して再生エネルギー(太陽光、風力…)を生み出す設備をつくってやらねばなりません。市民を欺くわけにはいかないと思います。
- ・水力、風力等による発電所の整備
- ・脱炭素の代わりに電気消費が凄まじくなると思うので再生可能エネルギーを使って電気を供給できるシステムを並行して行う。
- ・再生可能エネルギーについては施設や設備を増やせばいいというものでもないと思う。その施設を作るにあっても環境や自然に配慮した優しい市であってほしい。
- ・家庭用自家発電システムの普及。

<公共交通機関に関すること>

- ・近場でも車を使います。バスの利用を増やしたい。
- ・公共交通機関の充実。電車・バスの本数を増やす。
- ・各家庭に数台の自家用車を保有しているが、バスなどを細かなルート・頻繁な運行状況とし、自家用車保有台数減を目指すべし。
- ・公共交通機関による移動がもっと手軽に気軽にできるようになるといいと思います。

<自動車に関すること>

- ・市のバスやタクシー等から電気自動車の導入を進めていき、企業の営業車などへ補助を出すこともよいのではないかと考える。
- ・車が欠かせない町なので電気自動車の推進又は助成で持てるようになるといいです。
- ・水素自動車、電気自動車用の設備の充実
- ・水素スタンドを早く取り入れる。
- ・自動車の電量化、蓄電池化
- ・電気自動車を導入したいと思っても、集合住宅ゆえ、充電する場所が限られるので、気軽に充電出来る場所をたくさん作って欲しいです
- ・近距離通勤の自転車利用のすすめ。
- ・脱炭素社会を目指し「ゼロカーボンシティ宣言」を行う事に賛成します。どの様な宣言をするのか楽しみです。自分としては車はハイブリットにしていますし、今後出来たら水素自動車が普及してくれたらいいな！と思っています。その辺等は車は使わず自転車を利用して CO₂を出さない努力をしています。昔から強く思うのですが、CO₂排出削減とか言っておきながら越前市の道は車社会中心で自転車に厳しい町と思います。道がガタガタでとてもじゃないが車道端は無理です。ガタガタな上に穴が開いていたり危ないです。サイクリングロードは木の根でポコポコ土砂会社の石が溢れタイヤパンク。中途半端で途切れている。道が狭く車がわざと近づいて通り過ぎたり、本当に本当に危険です。自転車は車を使わない。とても簡単な個人の手段の 1 つです。どうかもう少し、本当に車を使わなくても OK な町造りをお願いします。
- ・公共の車などを電気自動車に変える。
- ・自動車を電気自動車に。旧市内には電気自動車。ガソリン車は救急車、消防車、緊急車(日本で初の試み)

<ごみに関すること>

- ・温暖化防止、プラスチック使用を減少。
- ・同じ町内に仕事で出た木くず等を早朝自宅敷地で燃やすところがあるようで、煙あたりにが広がることがあります。以前よりは減りましたが、こういった意識を変えていく働きかけも必要だと思います。意識を変えていくのは難しいと思いますが、未来の為に必要だと思います。
- ・においの出ない生ごみ処理機の助成。
- ・プラスチック削減((マイ紙袋(再生紙)量り売り))日本全体で
- ・プラスチック製品、食品容器の削減・有料化、対象商品納入後ポイント還元など。
- ・二酸化炭素の削減については今自分にできる事として、家から出るゴミの量を減らす事と資源ゴミ回収への協力を努めています。
- ・今年 1 月から新ゴミ処理施設が稼働した事により、ゴミの出し方が一部変わり、大変良くなったと思います。このように目に見える形での市の取り組みや施策が他の事ではほとんど知りません。市の公報などには記載されているのか知れませんが、すみずみまで毎回目を通しません。もっと環境政策に特化した公報の発行等を検討されてはどうか。

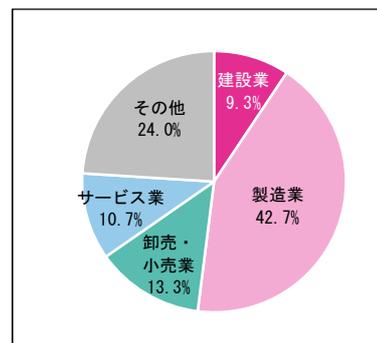
- ・越前市は、最近ごみの分別が変わりましたが、以前のように汚れたプラゴミは洗って、プラとして捨てる方が、エコになるのではないかと思います。(知識不足でしたらすみません)
- ・ごみの量を減らすことに協力したい。畑の肥料に利用したい。スーパーでも規格品以外の品を、割安で販売してほしい。刺身など少人数パックを作ってほしい。
- <生活環境に関すること>
 - ・家庭一工場に出る物質説明。
 - ・きれいなまちになってほしい。212号線の草取りお疲れ様です。
 - ・希望することであるが、土手の草を燃やすところがないのでは、灰の1つまみのない事では、と思います。
 - ・1.多様に使用されていますナイロンをあまり使用しないようにする。2.その他紙の使用を多くする。3.会社等で作っているナイロンを少しでもやめてほしい。(近江化工など)
- <自然に関すること>
 - ・自然環境を守る為、組織活動の強化。
 - ・自然を豊かにする。木や花等をいっぱい植える。
 - ・自然豊かな山林をもっと見直すべきです。
 - ・これから先、田舎は木や草に浸食され、田畑は人手もなく荒れてくるのではと思います。もっと大規模かつ計画的に行政が関わってくる必要があるのではと思います。
 - ・(植林の取組)都市開発を見える化してほしい。
 - ・小手先でなく、本格的な造林、都市型森林公園などで、市民が植樹をし、家族が管理する様な、集える森を造成。二酸化炭素吸収による、カーボンニュートラル実現など、持続可能な取り組みとすべき。
- <事業者への対策に関すること>
 - ・地元企業の最新技術を使った脱炭素取り組みを行う
 - ・企業が率先して取り組み、その取り組みを必要以上に引き上げて、しっかり企業メリットにもなる形にしていけるというのではないかなと思いました。人間意識だけで物事を変えていくのは難しいとおもうので、そこに行政は予算という形で協力していくのが良いかなと思います。
- <意識啓発に関すること>
 - ・「脱炭素社会の実現」や「二酸化炭素排出ゼロ」などといったキャッチフレーズを並べただけでは、実感できません。具体的な事例や統計で、市民の理解が進むように周知する必要があります。
 - ・例えば、LED照明に換えることで二酸化炭素がマイナス×××で、電気代がマイナス×××など、具体的な数値が示されているとよい。街灯や公共施設の照明を全てLEDに換えて、標準化し意識を高める。
 - ・なにをおどしたら どれだけ脱炭素出来るか 数値で表して関心を持ってもらうといいのでは。
 - ・地球環境の危機が足元に迫って来ていますか？。近年の気温上昇で辛いものの、自分も含めて、今日明日の生活が即立ち行かなくなる訳ではないので理解はしつつも、解決に向けての行動は先延ばしという日々が一般的かと思われます。生活に根差した視点での危機感を共有するという市民感覚の下地が醸成されていくと日々の会話でも話題となり、ライフスタイルにも影響してくるかとも思われます。平凡ですが、「このままいくと10年後、こうなる越前市民の不便、不安な生活」といった具体例(ex.エアコンストップ〇時間、ノーカーデー〇日間)を伴ったネガティブキャンペーンも時には必要かと。嫌でも意識を高めざるを得ない設定も必要かもしれません。
 - ・ゼロカーボンシティを目指すために官民企業が一体とならないと実現が難しい内容である(学校でも)。企業は勿論、市民の協力を得ていかないといけない。その為にも、先はPR力で宣言を市のイメージとして広める必要があります。「ゼロカーボンシティ」を行うことを幅広くPRされて協力を得て下さい。
 - ・”脱炭素の為にこんな事してますよ”とか”こんな例があります”みたいな感じで家庭に伝わると真似出来る事はやってみようかな…と思います。実際、脱炭素って何すればいいの？とわからない人も多はず。私は子供が学校で習っていることを家で話し、知っている状態なので、もっと身近に知る機会があればいいのに…と思いました。
 - ・市民の誰に聞いても内容を答えられるほど、もっと広く周知してほしい。
 - ・世界的に食糧、資源、環境など考えなければいけない時期にきていると思う。自分たち一人一人が出来る身のまわりの部分から意識して取り組む必要があると思う。
- <その他>
 - ・危険を伴うが、原子力発電が最も有効だと思う。1度や2度の失敗で止めてはいけない。続けなければ進歩はない。その先の核融合などにつなげないといけない。もんじゅなども廃炉とせず、もっと地道に続けるべきだと思う。未知の世界には失敗は付きもの。
 - ・現在のバッテリー技術では、脱炭素は不可能。特に福井県のような寒冷地では、無理に進めると命の危険がある。まずは、技術の発展が先だと思う。
 - ・まだまだ脱炭素社会の現実に向けて、知識が乏しい為勉強していきたい。できる所から、エコ活動に取り組んでいきたいと思っています。
 - ・石油に頼らない世界になってほしいものです。
 - ・地球温暖化の原因が二酸化炭素排出量にあるのではない。そもそも長い歴史の中で今は温暖化とはなっていないというような話を知人から聞いた事があります。その点で見ると取組方がどうなのかと思います。私達の生きていく上で地球や自然環境を大切にしていく事は絶対に必要と思いますが、あまりどちらがどうとも言えないです。参考にならなくて申し訳ありません。
 - ・脱炭素社会へは今の私たちの生活から考えると不便になったりして、中々一歩が踏み出せないと思う。
 - ・地球温暖化は永い地球の変化で有る。気温のサイクルの一部と考えるので、二酸化炭素が真の原因であると思わない。その様な事を自分なりに理解出来るまでは働きかけは出来ない。地球のサイクルは止められない。
 - ・南越前～鯖江市。越前市周辺の自治体と一体となり、一定数の人口で日野川の流れを基本に水環境、CO₂対策等一元的に取組んでほしい。
 - ・二酸化炭素が地球温暖化の原因だと証明した科学者は誰もいないはずだが、何故こんなに騒ぐのか理解できない。
 - ・環境に焦点を置くのはいいが、雪害対策を強化してほしい。町の中は細い路地もあり、融雪装置も設置されていないところが多いのが現実。安心安全な街作りをやってから環境などの対策を進めてほしい。
 - ・望む事、電柱が地下に戻る事。外灯が素晴らしいと思う事は電柱が地上にない事と緑を大事にすることです。自然や動植物を自慢にできる国にしてほしい。

IV 調査結果(事業者)

1. 貴事業所のことについて

1) 貴事業所の業種を教えてください。(1つに○)

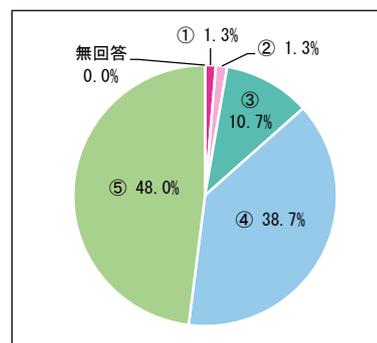
選択肢	回答者数	割合(%)
① 農林水産業	2	2.7%
② 建設業	7	9.3%
③ 製造業	32	42.7%
④ 不動産業	2	2.7%
⑤ 卸売・小売業	10	13.3%
⑥ 飲食・宿泊業	2	2.7%
⑦ 金融・保険業	2	2.7%
⑧ 医療・福祉業	1	1.3%
⑨ 教育・学習支援業	0	0.0%
⑩ サービス業	8	10.7%
⑪ 運輸業	3	4.0%
⑫ 情報・通信業	1	1.3%
⑬ 電気・ガス・熱供給・水道業	1	1.3%
⑭ その他	4	5.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「③製造業」が42.7%と最も高く、次いで「⑤卸売・小売業」が13.3%となっています。

2) 貴事業所は創業何年になりますか。(1つに○)

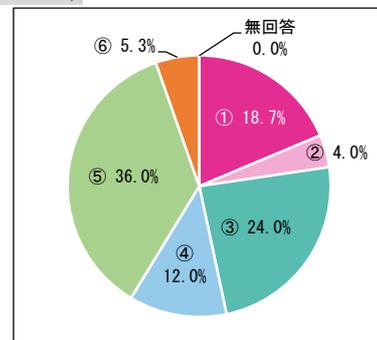
選択肢	回答者数	割合(%)
① 1年未満	1	1.3%
② 1年以上10年未満	1	1.3%
③ 10年以上30年未満	8	10.7%
④ 30年以上50年未満	29	38.7%
⑤ 50年以上	36	48.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「⑤50年以上」が48.0%と最も高く、次いで「④30年以上50年未満」が38.7%となっています。

3) 貴事業所の年間売上、又は年間出荷額はどれにあたりますか。(1つに○)

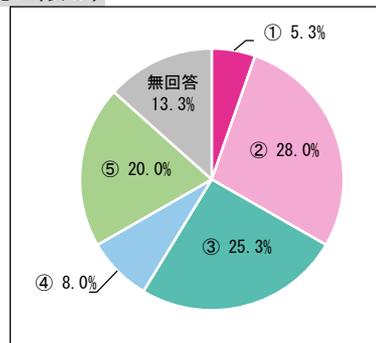
選択肢	回答者数	割合(%)
① 5,000万円未満	14	18.7%
② 5,000万円以上1億円未満	3	4.0%
③ 1億円以上5億円未満	18	24.0%
④ 5億円以上10億円未満	9	12.0%
⑤ 10億円以上	27	36.0%
⑥ 非公開	4	5.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「⑤10億円以上」が36.0%と最も高く、次いで「③1億円以上5億円未満」が24.0%となっています。

4) 貴事業所の延べ床面積(事業所部分)をご記入ください。(越前市内に限る)

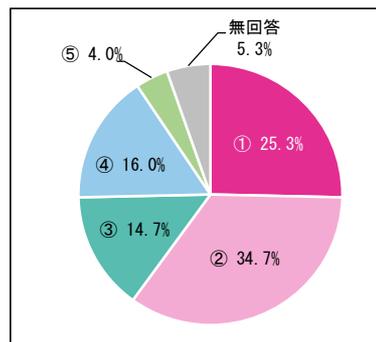
選択肢	回答者数	割合(%)
① 100㎡未満	4	5.3%
② 100㎡以上1,000㎡未満	21	28.0%
③ 1,000㎡以上5,000㎡未満	19	25.3%
④ 5,000㎡以上10,000㎡未満	6	8.0%
⑤ 10,000㎡以上	15	20.0%
無回答	10	13.3%
合計	75	100.0%



■「②100㎡以上1,000㎡未満」が28.0%と最も高く、次いで「③1,000㎡以上5,000㎡未満」が25.3%となっています。

5) 貴事業所の従業員数をご記入ください。(越前市内に限る)

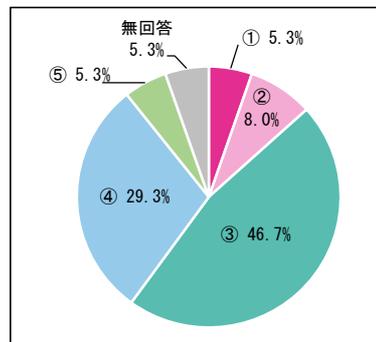
選択肢	回答者数	割合(%)
① 10人未満	19	25.3%
② 10人以上50人未満	26	34.7%
③ 50人以上100人未満	11	14.7%
④ 100人以上300人未満	12	16.0%
⑤ 300人以上	3	4.0%
無回答	4	5.3%
合計	75	100.0%



■「②10人以上50人未満」が34.7%と最も高く、次いで「①10人未満」が25.3%となっています。

6) 貴事業所の業務用自動車の保有台数をご記入ください。(越前市内に限る)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 所有していない	4	5.3%
② 1台	6	8.0%
③ 2台以上10台未満	35	46.7%
④ 10台以上50台未満	22	29.3%
⑤ 50台以上	4	5.3%
無回答	4	5.3%
合計	75	100.0%



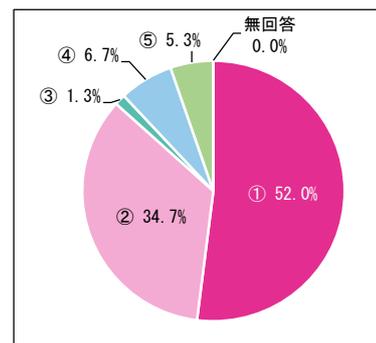
■「③2台以上10台未満」が46.7%と最も高く、次いで「④10台以上50台未満」が29.3%となっています。

2. 地球温暖化対策について

1) 次の行動について、最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 「クールビズ」や「ウォームビズ」の奨励

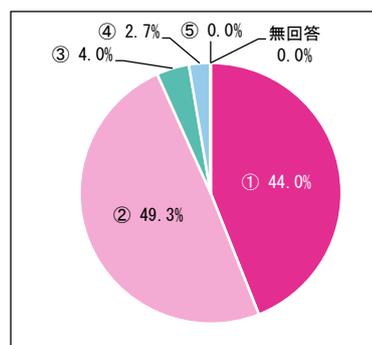
選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	39	52.0%
② ある程度実施している	26	34.7%
③ 今後実施したい	1	1.3%
④ 実施する予定はない	5	6.7%
⑤ 事業に関係がない	4	5.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「①実施している」が52.0%と約半数を占めています。

(2) 蛍光灯の間引きや不要な照明の消灯などの電源管理

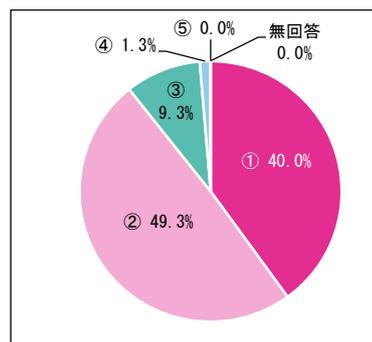
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	33	44.0%
② ある程度実施している	37	49.3%
③ 今後実施したい	3	4.0%
④ 実施する予定はない	2	2.7%
⑤ 事業に関係がない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「②ある程度実施している」が49.3%と最も高く、次いで「①実施している」が44.0%となっています。

(3) 漏水の点検や水の出しっぱなしの防止など節水の実践

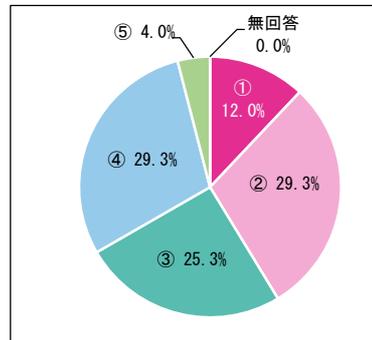
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	30	40.0%
② ある程度実施している	37	49.3%
③ 今後実施したい	7	9.3%
④ 実施する予定はない	1	1.3%
⑤ 事業に関係がない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「②ある程度実施している」が49.3%と最も高く、次いで「①実施している」が40.0%となっています。

(4) グリーンカーテンなど事業所敷地内の緑化推進

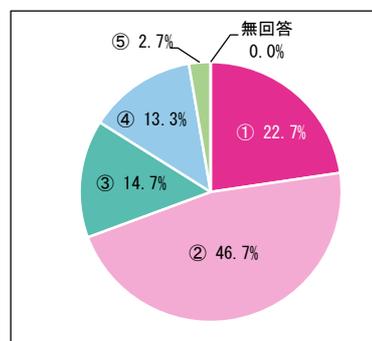
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	9	12.0%
② ある程度実施している	22	29.3%
③ 今後実施したい	19	25.3%
④ 実施する予定はない	22	29.3%
⑤ 事業に関係がない	3	4.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「②ある程度実施している」と「④実施する予定はない」が 29.3%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が 25.3%となっています。

(5) 業務用車両のエコドライブの実践

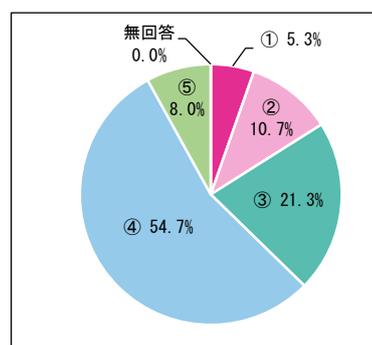
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	17	22.7%
② ある程度実施している	35	46.7%
③ 今後実施したい	11	14.7%
④ 実施する予定はない	10	13.3%
⑤ 事業に関係がない	2	2.7%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



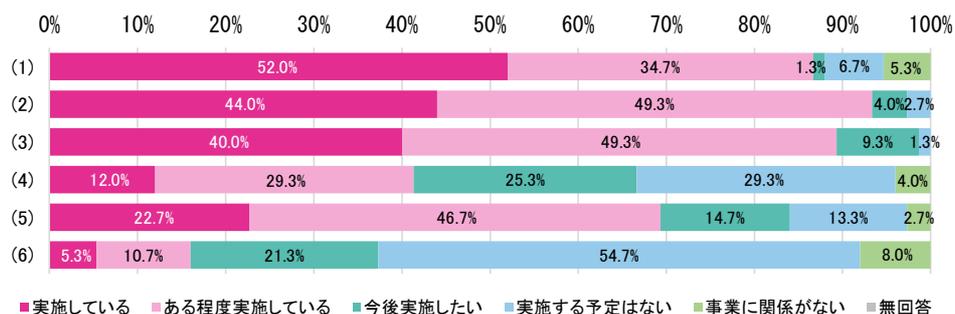
■「②ある程度実施している」が46.7%と最も高く、次いで「①実施している」が22.7%となっています。

(6)従業員に対するマイカー以外の通勤手段の奨励

選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	4	5.3%
② ある程度実施している	8	10.7%
③ 今後実施したい	16	21.3%
④ 実施する予定はない	41	54.7%
⑤ 事業に関係がない	6	8.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



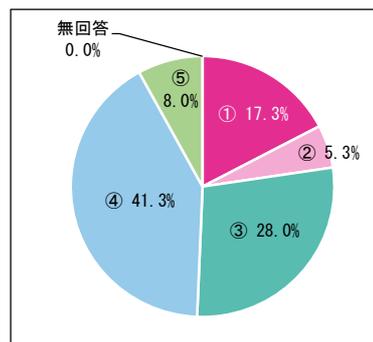
■「④実施する予定はない」が54.7%と約半数を占めています。



2)環境に配慮した設備の導入について、最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1)太陽光発電システム(ソーラーパネル)

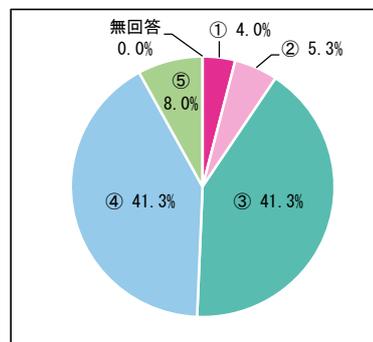
選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	13	17.3%
② 今後導入する予定である	4	5.3%
③ 予定はないが導入してみたい	21	28.0%
④ 導入するつもりはない	31	41.3%
⑤ 該当しない	6	8.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「④導入するつもりはない」が41.3%と最も高く、次いで「③予定はないが導入してみたい」が28.0%となっています。

(2)蓄電池

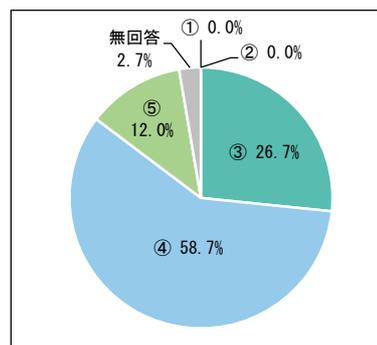
選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	3	4.0%
② 今後導入する予定である	4	5.3%
③ 予定はないが導入してみたい	31	41.3%
④ 導入するつもりはない	31	41.3%
⑤ 該当しない	6	8.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「③予定はないが導入してみたい」と「④導入するつもりはない」が41.3%と最も高く、次いで「⑤該当しない」が8.0%となっています。

(3) コージェネレーションシステム

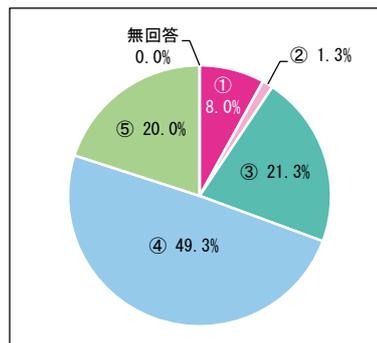
選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	0	0.0%
② 今後導入する予定である	0	0.0%
③ 予定はないが導入してみたい	20	26.7%
④ 導入するつもりはない	44	58.7%
⑤ 該当しない	9	12.0%
無回答	2	2.7%
合計	75	100.0%



■「④導入するつもりはない」が 58.7%と約半数を占めています。

(4) 高性能ボイラーなどの高効率機器

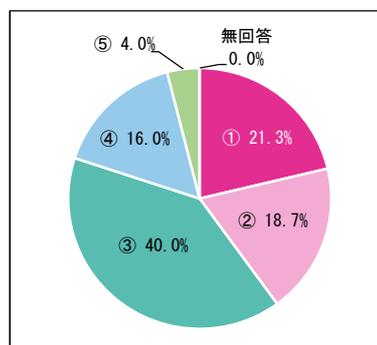
選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	6	8.0%
② 今後導入する予定である	1	1.3%
③ 予定はないが導入してみたい	16	21.3%
④ 導入するつもりはない	37	49.3%
⑤ 該当しない	15	20.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「④導入するつもりはない」が 49.3%と最も高く、次いで「③予定はないが導入してみたい」が 21.3%となっています。

(5) 空調・OA機器などの省エネ型業務用機器

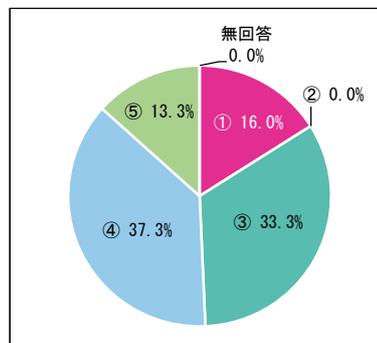
選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	16	21.3%
② 今後導入する予定である	14	18.7%
③ 予定はないが導入してみたい	30	40.0%
④ 導入するつもりはない	12	16.0%
⑤ 該当しない	3	4.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「③予定はないが導入してみたい」が 40.0%と最も高く、次いで「①すでに導入している」が 21.3%となっています。

(6) 省エネナビ

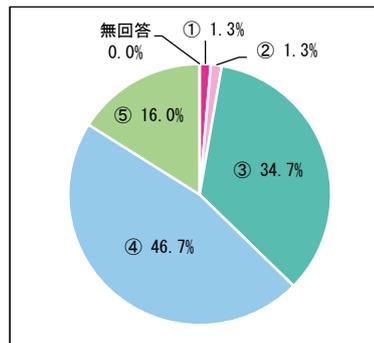
選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに導入している	12	16.0%
② 今後導入する予定である	0	0.0%
③ 予定はないが導入してみたい	25	33.3%
④ 導入するつもりはない	28	37.3%
⑤ 該当しない	10	13.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「④導入するつもりはない」が 37.3%と最も高く、次いで「③予定はないが導入してみたい」が 33.3%となっています。

(7)BEMS(ベムス)

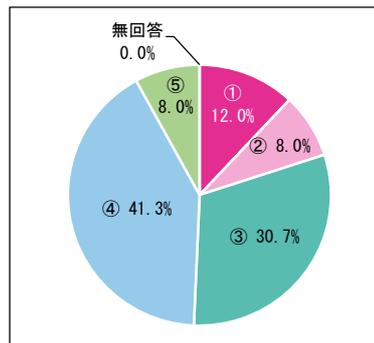
選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	1	1.3%
② 今後導入する予定である	1	1.3%
③ 予定はないが導入してみたい	26	34.7%
④ 導入するつもりはない	35	46.7%
⑤ 該当しない	12	16.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「④導入するつもりはない」が 46.7%と最も高く、次いで「③予定はないが導入してみたい」が 34.7%となっています。

(8)複層ガラスサッシ・二重窓

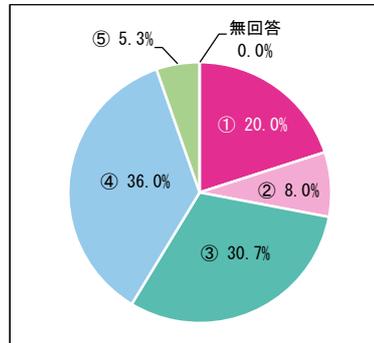
選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	9	12.0%
② 今後導入する予定である	6	8.0%
③ 予定はないが導入してみたい	23	30.7%
④ 導入するつもりはない	31	41.3%
⑤ 該当しない	6	8.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「④導入するつもりはない」が 41.3%と最も高く、次いで「③予定はないが導入してみたい」が 30.7%となっています。

(9)外壁や屋根の断熱

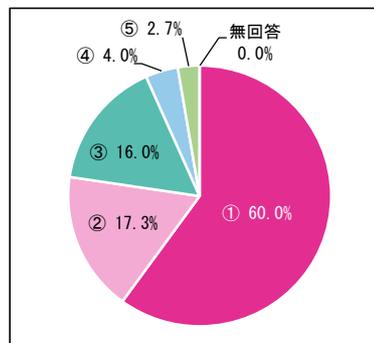
選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	15	20.0%
② 今後導入する予定である	6	8.0%
③ 予定はないが導入してみたい	23	30.7%
④ 導入するつもりはない	27	36.0%
⑤ 該当しない	4	5.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「④導入するつもりはない」が 36.0%と最も高く、次いで「③予定はないが導入してみたい」が 30.7%となっています。

(10)LED 照明

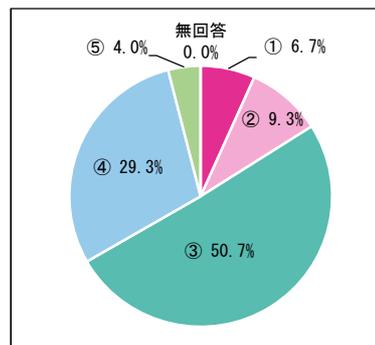
選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	45	60.0%
② 今後導入する予定である	13	17.3%
③ 予定はないが導入してみたい	12	16.0%
④ 導入するつもりはない	3	4.0%
⑤ 該当しない	2	2.7%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



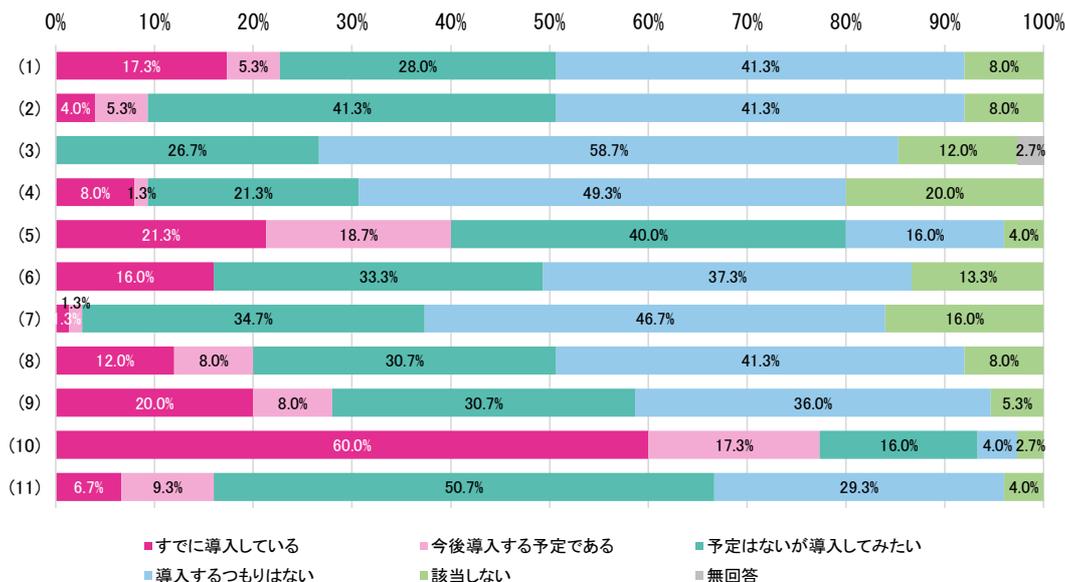
■「①すでに導入している」が 60.0%と半数以上を占めています。

(11)電気自動車・燃料電池自動車

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに導入している	5	6.7%
② 今後導入する予定である	7	9.3%
③ 予定はないが導入してみたい	38	50.7%
④ 導入するつもりはない	22	29.3%
⑤ 該当しない	3	4.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%

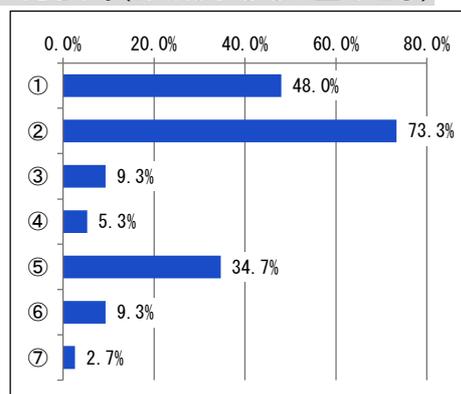


■「③予定はないが導入してみたい」が 50.7%と約半数を占めています。



3)地球温暖化対策を実施する上で、障害となるものを選んでください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 情報や知識が足りない	36	48.0%
② 資金に余裕がない	55	73.3%
③ 従業員の理解が得られない	7	9.3%
④ 顧客の理解が得られない	4	5.3%
⑤ 大きな効果が見込めない	26	34.7%
⑥ 賃貸物件で導入が難しい	7	9.3%
⑦ その他	2	2.7%
無回答	388	517.3%
合計	525	-

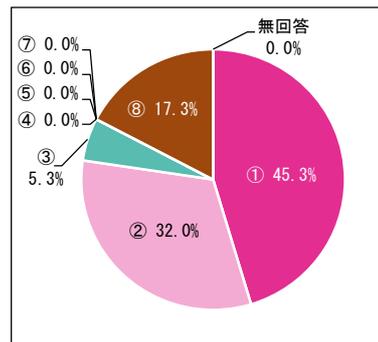


■「②資金に余裕がない」が 73.3%と最も高く、次いで「①情報や知識が足りない」が 48.0%となっています。

4) 貴事業所では、地球温暖化を意識し省エネルギーに取り組むことで、今後5年間で電気、ガスなどの使用量をどの程度削減できると思いますか。(それぞれ1つに○)

【電気】

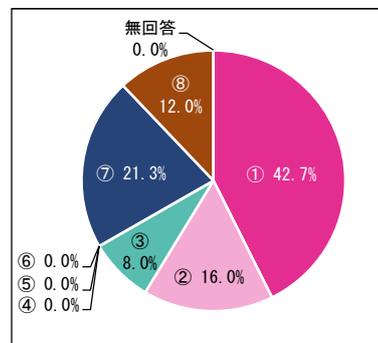
選択肢	回答者数	割合(%)
① 1割未満	34	45.3%
② 1~2割	24	32.0%
③ 3~4割	4	5.3%
④ 5~6割	0	0.0%
⑤ 7~8割	0	0.0%
⑥ 9~10割	0	0.0%
⑦ 使用していない	0	0.0%
⑧ 分からない	13	17.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「①1割未満」が45.3%と最も高く、次いで「②1~2割」が32.0%となっています。

【ガス】

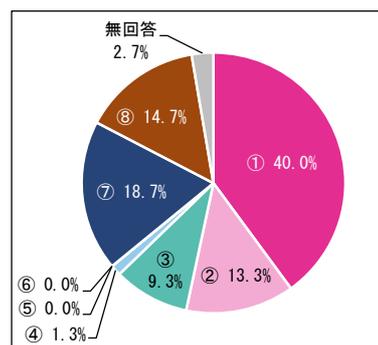
選択肢	回答者数	割合(%)
① 1割未満	32	42.7%
② 1~2割	12	16.0%
③ 3~4割	6	8.0%
④ 5~6割	0	0.0%
⑤ 7~8割	0	0.0%
⑥ 9~10割	0	0.0%
⑦ 使用していない	16	21.3%
⑧ 分からない	9	12.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「①1割未満」が42.7%と最も高く、次いで「⑦使用していない」が21.3%となっています。

【灯油】

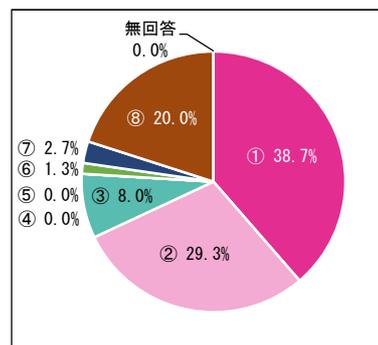
選択肢	回答者数	割合(%)
① 1割未満	30	40.0%
② 1~2割	10	13.3%
③ 3~4割	7	9.3%
④ 5~6割	1	1.3%
⑤ 7~8割	0	0.0%
⑥ 9~10割	0	0.0%
⑦ 使用していない	14	18.7%
⑧ 分からない	11	14.7%
無回答	2	2.7%
合計	75	100.0%



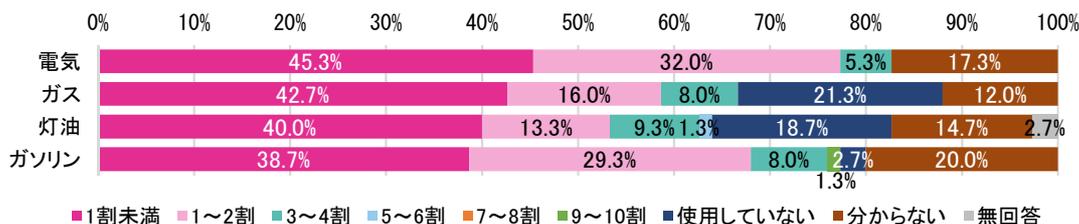
■「①1割未満」が40.0%と最も高く、次いで「⑦使用していない」が18.7%となっています。

【ガソリン】

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 1割未満	29	38.7%
② 1～2割	22	29.3%
③ 3～4割	6	8.0%
④ 5～6割	0	0.0%
⑤ 7～8割	0	0.0%
⑥ 9～10割	1	1.3%
⑦ 使用していない	2	2.7%
⑧ 分からない	15	20.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%

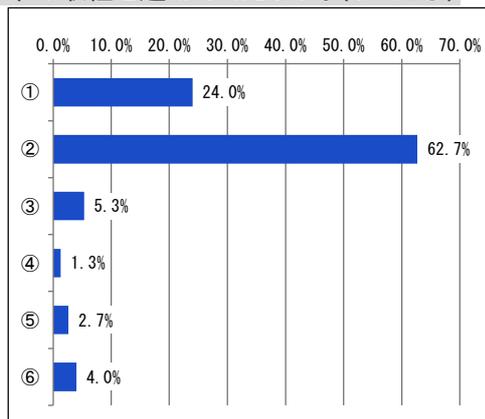


■「①1割未満」が38.7%と最も高く、次いで「②1～2割」が29.3%となっています。



5)省エネルギー・脱炭素化を進める上で、最も重要だと思う市の取組を選んでください。(1つに○)

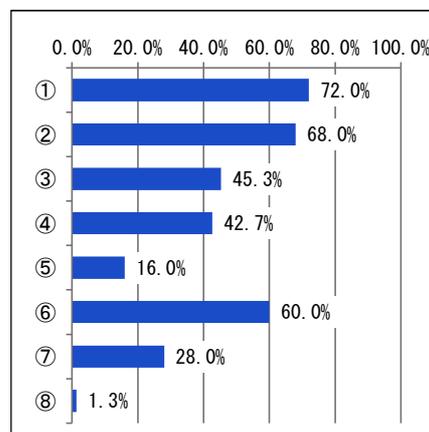
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 取組事例や導入効果などの情報提供	18	24.0%
② 補助金や融資などの経済的支援	47	62.7%
③ 導入に関する相談窓口の設置	4	5.3%
④ 研修や講習会などの開催	1	1.3%
⑤ イベントなどでエネルギーについて学ぶ機会やPRの充実	2	2.7%
⑥ その他	3	4.0%
無回答	375	-
合計	450	-



■「②補助金や融資などの経済的支援」が62.7%と最も高く、次いで「①取組事例や導入効果などの情報提供」が24.0%となっています。

6)令和2年7月に熊本県を中心に発生した令和2年7月豪雨など、近年、気候変動の影響によって集中豪雨や猛暑など自然災害の頻度が増えています。これらの災害についてのどの程度備えていますか。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① ハザードマップの確認	54	72.0%
② 緊急連絡体制の整備	51	68.0%
③ 定期的な防災訓練の実施	34	45.3%
④ 防災セットの準備	32	42.7%
⑤ WBGT値（暑さ指数）の把握	12	16.0%
⑥ 熱中症予防・対策の周知	45	60.0%
⑦ BCB対策や体制の整備	21	28.0%
⑧ その他	1	1.3%
無回答	350	-
合計	600	-

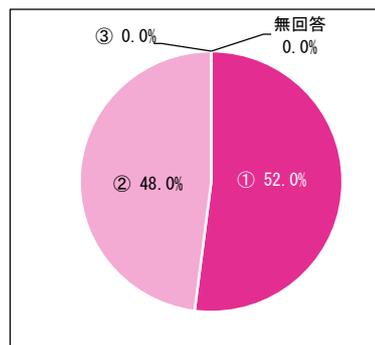


■「①ハザードマップの確認」が72.0%と最も高く、次いで「②緊急連絡体制の整備」が68.0%となっています。

3. 自然環境や生物多様性の保全について

1)市は、生きものとの共生を目指し、「コウノトリが舞う里づくり」を進めています。この取組について、どの程度知っていますか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 言葉も内容も知っている	39	52.0%
② 言葉は知っている	36	48.0%
③ 聞いたことがない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%

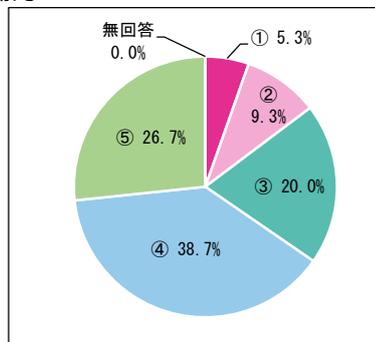


■「①言葉も内容も知っている」が52.0%と約半数を占めています。

2)次の行動について、どの程度実施していますか。最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1)貴重な生物の保全・保護活動やビオトープの整備などへの参加・協力

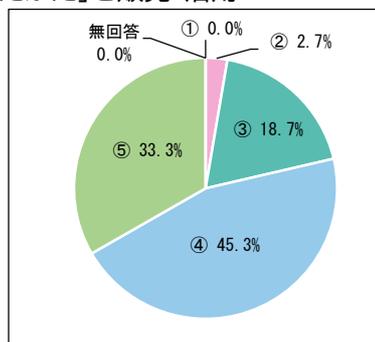
選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	4	5.3%
② ある程度実施している	7	9.3%
③ 今後実施したい	15	20.0%
④ 実施する予定はない	29	38.7%
⑤ 事業に関係がない	20	26.7%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「④実施する予定はない」が38.7%と最も高く、次いで「⑤事業に関係がない」が26.7%となっています。

(2)コウノトリ呼び戻す農法米や、農法米を使用して醸造したお酒「かたかた」を販売・活用

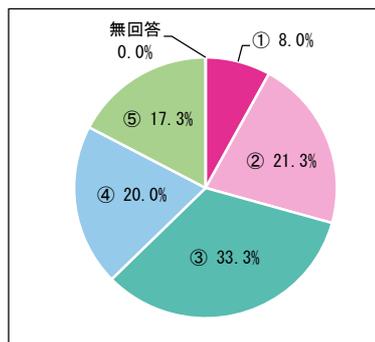
選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	0	0.0%
② ある程度実施している	2	2.7%
③ 今後実施したい	14	18.7%
④ 実施する予定はない	34	45.3%
⑤ 事業に関係がない	25	33.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「④実施する予定はない」が45.3%と最も高く、次いで「⑤事業に関係がない」33.3%となっています。

(3)事業活動を行う時はグリーン購入に努める

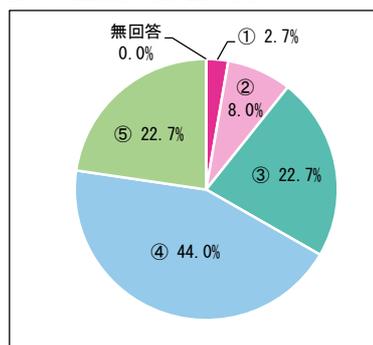
選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	6	8.0%
② ある程度実施している	16	21.3%
③ 今後実施したい	25	33.3%
④ 実施する予定はない	15	20.0%
⑤ 事業に関係がない	13	17.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「③今後実施したい」が33.3%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が21.3%となっています。

(4) 敷地や保有する土地について、ビオトープの整備など生き物に配慮した整備や管理を行う

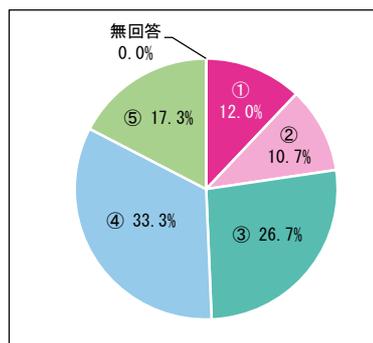
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	2	2.7%
② ある程度実施している	6	8.0%
③ 今後実施したい	17	22.7%
④ 実施する予定はない	33	44.0%
⑤ 事業に関係がない	17	22.7%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「④実施する予定はない」が 44.0%と最も高く、次いで「③今後実施したい」と「⑤事業に関係がない」が 22.7%となっています。

(5) 植樹などの森林保全活動を行う

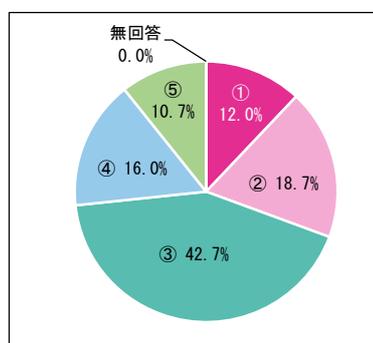
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	9	12.0%
② ある程度実施している	8	10.7%
③ 今後実施したい	20	26.7%
④ 実施する予定はない	25	33.3%
⑤ 事業に関係がない	13	17.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「④実施する予定はない」が 33.3%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が 26.7%となっています。

(6) 水路や河川など水辺の美化や保全活動を行う

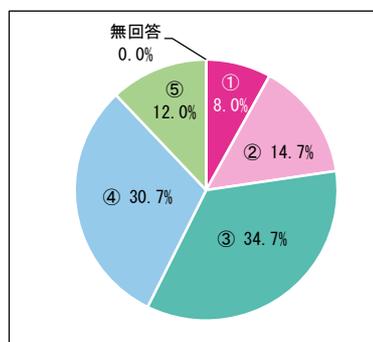
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	9	12.0%
② ある程度実施している	14	18.7%
③ 今後実施したい	32	42.7%
④ 実施する予定はない	12	16.0%
⑤ 事業に関係がない	8	10.7%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「③今後実施したい」が 42.7%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が 18.7%となっています。

(7) 環境教育の実施や研修会などへ参加する

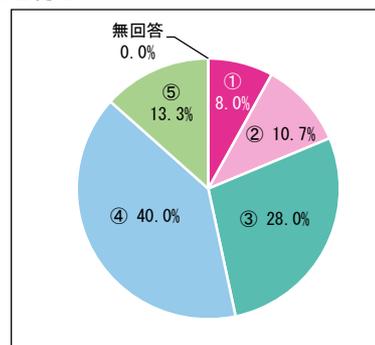
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	6	8.0%
② ある程度実施している	11	14.7%
③ 今後実施したい	26	34.7%
④ 実施する予定はない	23	30.7%
⑤ 事業に関係がない	9	12.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



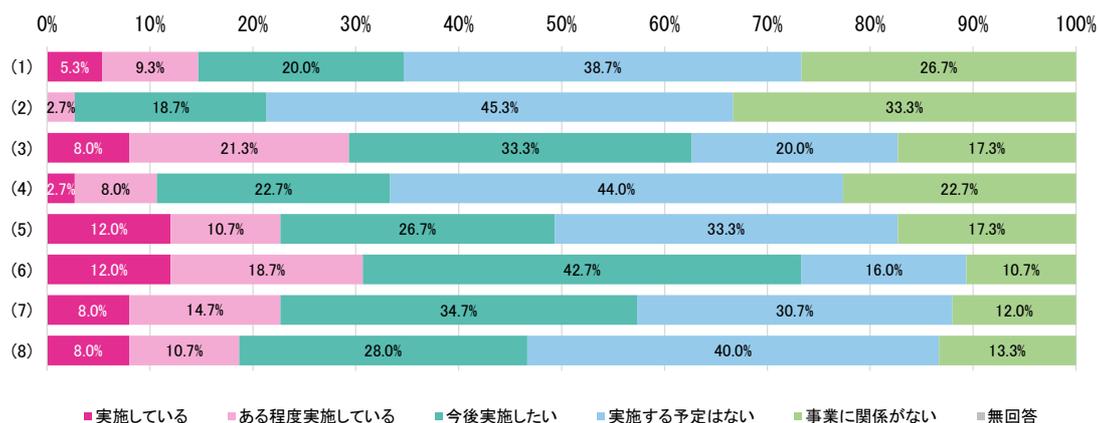
■「③今後実施したい」が 34.7%と最も高く、次いで「④実施する予定はない」が 30.7%となっています。

(8)市民活動団体などへ敷地の提供や金銭的支援など積極的な支援を行う

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	6	8.0%
② ある程度実施している	8	10.7%
③ 今後実施したい	21	28.0%
④ 実施する予定はない	30	40.0%
⑤ 事業に関係がない	10	13.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%

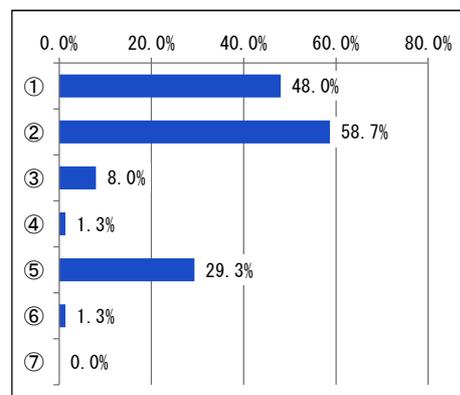


■「④実施する予定はない」が 40.0%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が 28.0%となっています。



3)自然環境や生物多様性の保全に関する取組を実施する上で、障害となるものを選んでください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 情報や知識が足りない	36	48.0%
② 資金に余裕がない	44	58.7%
③ 従業員の理解が得られない	6	8.0%
④ 顧客の理解が得られない	1	1.3%
⑤ 大きな効果が見込めない	22	29.3%
⑥ 賃貸物件で導入が難しい	1	1.3%
⑦ その他	0	0.0%
無回答	340	-
合計	450	-



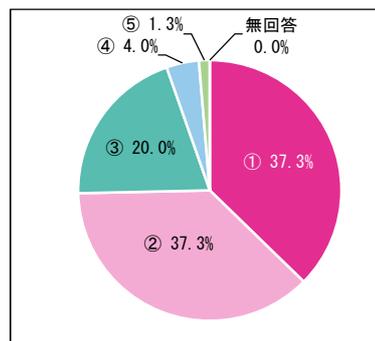
■「②資金に余裕がない」が 58.7%と最も高く、次いで「①情報や知識が足りない」が 48.0%となっています。

4. ごみの減量化やリサイクルの取組について

1) 次の行動について、どの程度実施していますか。最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 紙の使用量削減

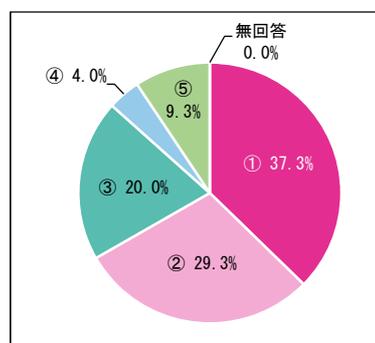
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	28	37.3%
② ある程度実施している	28	37.3%
③ 今後実施したい	15	20.0%
④ 実施する予定はない	3	4.0%
⑤ 事業に関係がない	1	1.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「①実施している」と「②ある程度実施している」が 37.3%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が 20.0%となっています。

(2) 製造や流通過程における廃棄物の減量、リサイクルを行っている

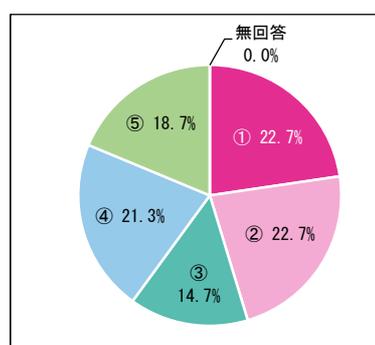
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	28	37.3%
② ある程度実施している	22	29.3%
③ 今後実施したい	15	20.0%
④ 実施する予定はない	3	4.0%
⑤ 事業に関係がない	7	9.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「①実施している」が 37.3%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が 29.3%となっています。

(3) 自社製品の回収、リサイクルを行っている

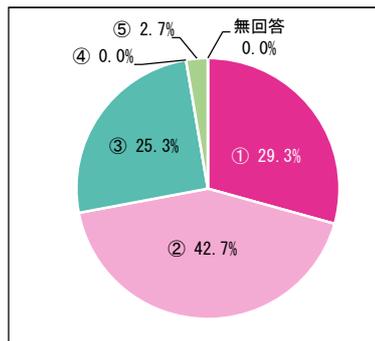
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	17	22.7%
② ある程度実施している	17	22.7%
③ 今後実施したい	11	14.7%
④ 実施する予定はない	16	21.3%
⑤ 事業に関係がない	14	18.7%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「①実施している」と「②ある程度実施している」が 22.7%と最も高く、次いで「④実施する予定はない」が 21.3%となっています。

(4) 商品や事務用品の計画的発注、在庫管理の徹底

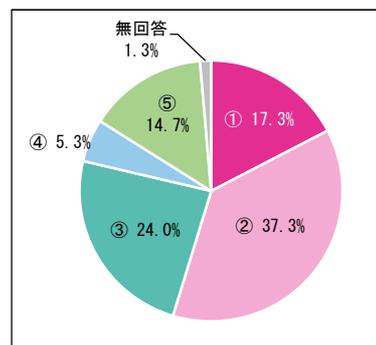
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	22	29.3%
② ある程度実施している	32	42.7%
③ 今後実施したい	19	25.3%
④ 実施する予定はない	0	0.0%
⑤ 事業に関係がない	2	2.7%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「②ある程度実施している」が 42.7%と最も高く、次いで「①実施している」が 29.3%となっています。

(5) 過剰包装を自粛する

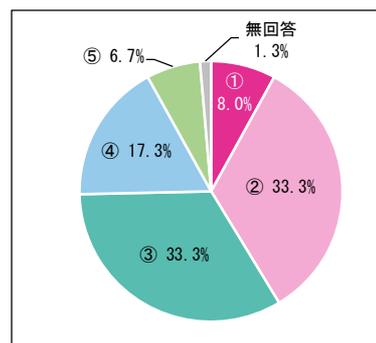
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	13	17.3%
② ある程度実施している	28	37.3%
③ 今後実施したい	18	24.0%
④ 実施する予定はない	4	5.3%
⑤ 事業に関係がない	11	14.7%
無回答	1	1.3%
合計	75	100.0%



■「②ある程度実施している」が 37.3%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が 24.0%となっています。

(6) 節水や雨水利用など水を効率よく使っている

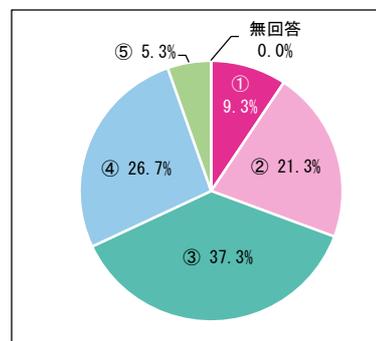
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	6	8.0%
② ある程度実施している	25	33.3%
③ 今後実施したい	25	33.3%
④ 実施する予定はない	13	17.3%
⑤ 事業に関係がない	5	6.7%
無回答	1	1.3%
合計	75	100.0%



■「②ある程度実施している」と「③今後実施したい」が 33.3%と最も高く、次いで「④実施する予定はない」が 17.3%となっています。

(7) 研修会の開催など社内で周知啓発を行っている

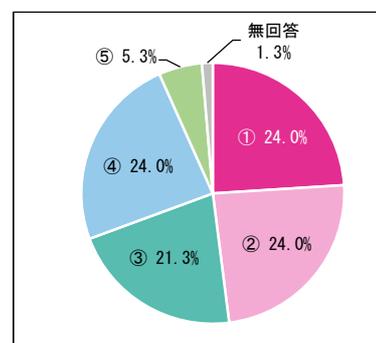
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	7	9.3%
② ある程度実施している	16	21.3%
③ 今後実施したい	28	37.3%
④ 実施する予定はない	20	26.7%
⑤ 事業に関係がない	4	5.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%



■「③今後実施したい」が 37.3%と最も高く、次いで「④実施する予定はない」が 26.7%となっています。

(8) ごみ処理やリサイクルの担当者を配置している

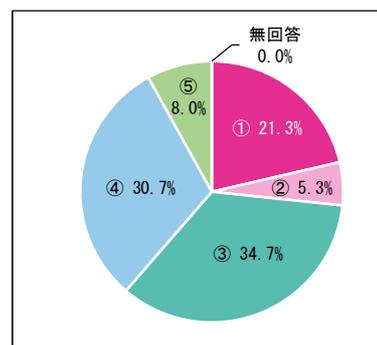
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	18	24.0%
② ある程度実施している	18	24.0%
③ 今後実施したい	16	21.3%
④ 実施する予定はない	18	24.0%
⑤ 事業に関係がない	4	5.3%
無回答	1	1.3%
合計	75	100.0%



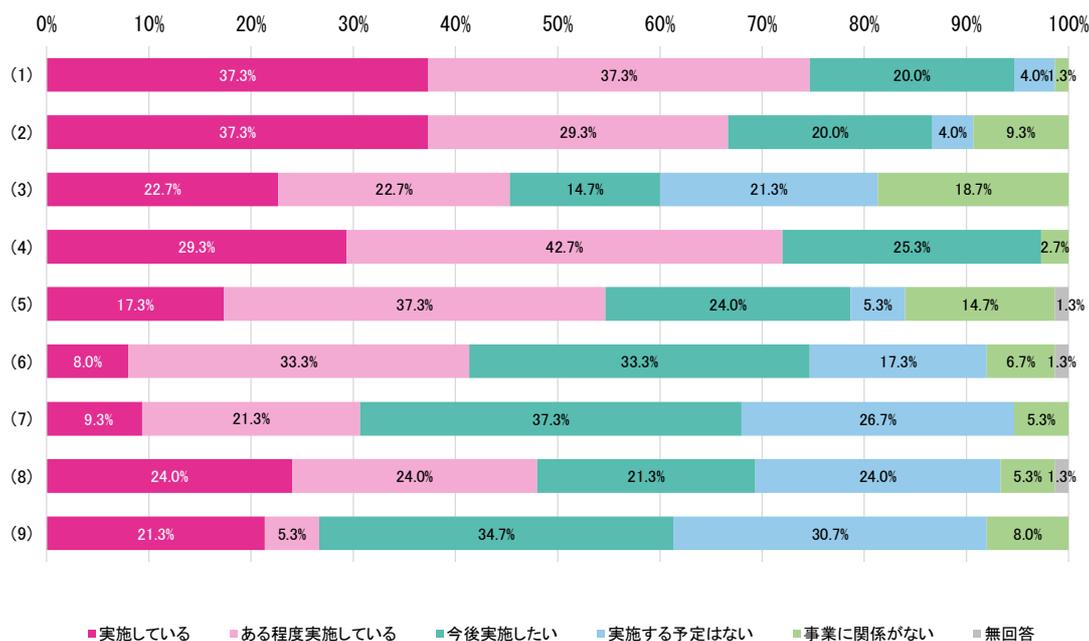
■「①実施している」、「②ある程度実施している」、「④実施する予定はない」が 24.0%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が 21.3%となっています。

(9)環境マネジメントシステムの導入・運用

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	16	21.3%
② ある程度実施している	4	5.3%
③ 今後実施したい	26	34.7%
④ 実施する予定はない	23	30.7%
⑤ 事業に関係がない	6	8.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%

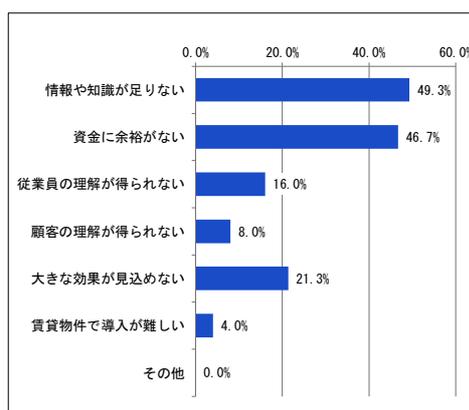


■「③今後実施したい」が 34.7%と最も高く、次いで「④実施する予定はない」が 30.7%となっています。



2)ごみ減量化やリサイクルに関する取組を実施する上で、障害となるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 情報や知識が足りない	37	49.3%
② 資金に余裕がない	35	46.7%
③ 従業員の理解が得られない	12	16.0%
④ 顧客の理解が得られない	6	8.0%
⑤ 大きな効果が見込めない	16	21.3%
⑥ 賃貸物件で導入が難しい	3	4.0%
⑦ その他	0	0.0%
無回答	341	
合計	450	-



■「①情報や知識が足りない」が 49.3%と最も高く、次いで「②資金に余裕がない」が 46.7%となっています。

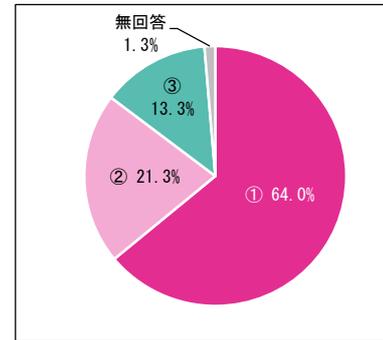
5. 越前市全体の環境について

1) 次の環境に関する言葉について、どの程度知っていますか。あてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに〇)

(1) SDGs(エスディーゼーズ)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 内容まで知っている	48	64.0%
② 言葉だけ知っている	16	21.3%
③ 聞いたことがない	10	13.3%
無回答	1	1.3%
合計	75	100.0%

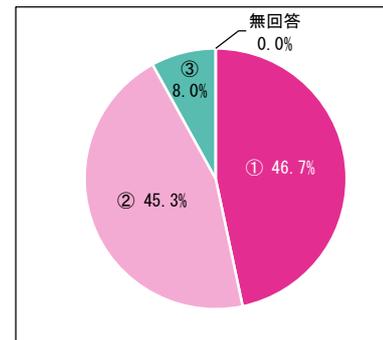
■「①内容まで知っている」が 64.0%と半数以上を占めています。



(2) カーボンニュートラル・脱炭素

選択肢	回答者数	割合(%)
① 内容まで知っている	35	46.7%
② 言葉だけ知っている	34	45.3%
③ 聞いたことがない	6	8.0%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%

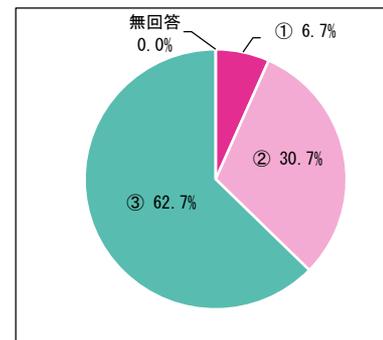
■「①内容まで知っている」が 46.7%と最も高く、次いで「②言葉だけ知っている」が 45.3%となっています。



(3) ZEB(ゼブ)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 内容まで知っている	5	6.7%
② 言葉だけ知っている	23	30.7%
③ 聞いたことがない	47	62.7%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%

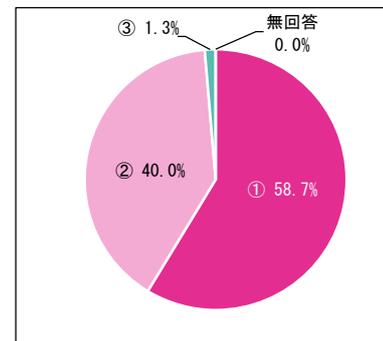
■「③聞いたことがない」が 62.7%と半数以上を占めています。



(4) 海洋プラスチック汚染

選択肢	回答者数	割合(%)
① 内容まで知っている	44	58.7%
② 言葉だけ知っている	30	40.0%
③ 聞いたことがない	1	1.3%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%

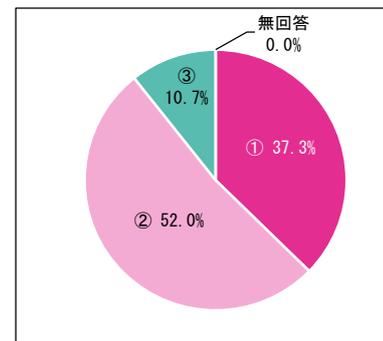
■「①内容まで知っている」が 58.7%と約半数を占めています。



(5) 生物多様性

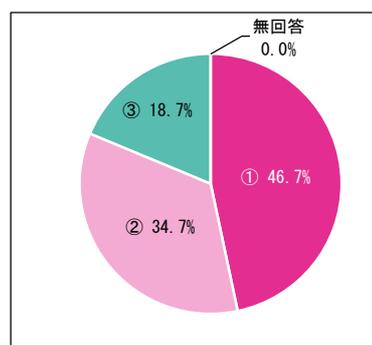
選択肢	回答者数	割合(%)
① 内容まで知っている	28	37.3%
② 言葉だけ知っている	39	52.0%
③ 聞いたことがない	8	10.7%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%

■「②言葉だけ知っている」が 52.0%と約半数を占めています。

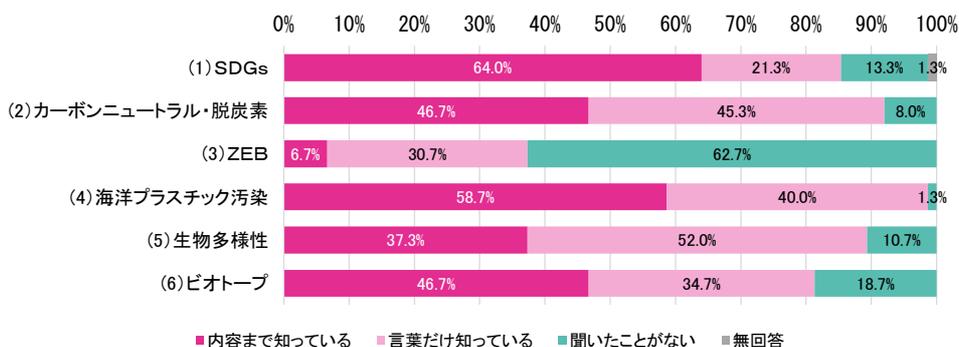


(6)ピオトープ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	35	46.7%
② 言葉だけ知っている	26	34.7%
③ 聞いたことがない	14	18.7%
無回答	0	0.0%
合計	75	100.0%

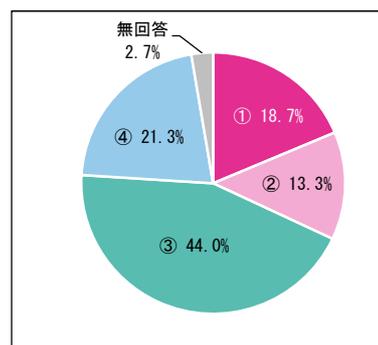


■「①内容まで知っている」が 46.7%と最も高く、次いで「②言葉だけ知っている」が 34.7%となっています。



2)環境保全には市民、事業者、市の連携した取組や活動が必要です。貴事業所では、他の団体等との連携した環境保全活動を行っていますか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに活動している	14	18.7%
② 今後、活動したい	10	13.3%
③ 機会があれば活動したい	33	44.0%
④ 活動する予定がない	16	21.3%
無回答	2	2.7%
合計	75	100.0%

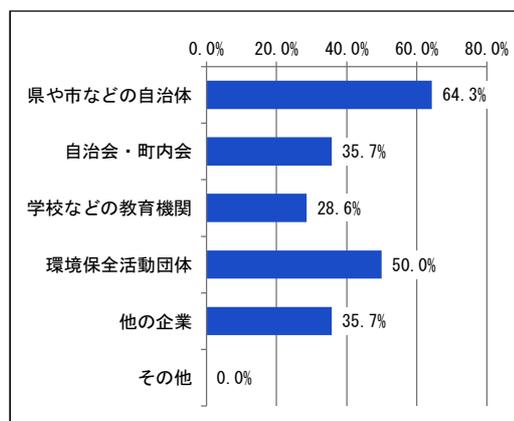


■「③機会があれば活動したい」が 44.0%と最も高く、次いで「④活動する予定がない」が 21.3%となっています。

3)2)で「1. すでに活動している」を選んだ方にお聞きます。連携している団体とその活動内容について、次の中から選んでください。(あてはまるもの全てに○)

【連携している団体】

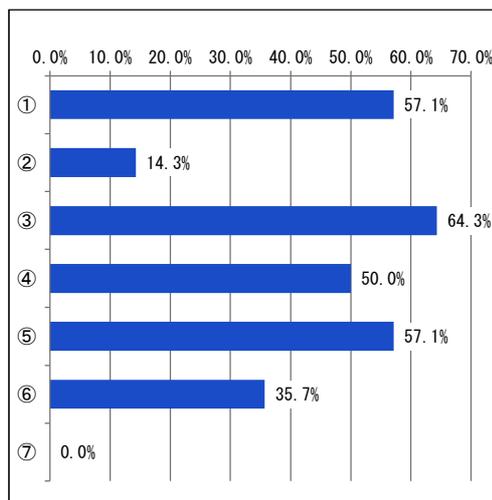
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 県や市などの自治体	9	64.3%
② 自治会・町内会	5	35.7%
③ 学校などの教育機関	4	28.6%
④ 環境保全活動団体	7	50.0%
⑤ 他の企業	5	35.7%
⑥ その他	0	0.0%
無回答	414	-
合計	444	-



■「①県や市などの自治体」が 64.3%と最も高く、次いで「④環境保全活動団体」が 50.0%となっています。

【活動内容】

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 森林（竹林を含む）保全活動	8	57.1%
② 生物保全活動	2	14.3%
③ 廃棄物やリサイクル活動	9	64.3%
④ 地球温暖化対策やエネルギーに関する活動	7	50.0%
⑤ 清掃美化活動	8	57.1%
⑥ 緑化活動（花壇やプランターの花植えなど）	5	35.7%
⑦ その他	0	0.0%
無回答	479	-
合計	518	-



■「③廃棄物やリサイクル活動」が 64.3%と最も高く、次いで「①森林(竹林を含む)保全活動」と「⑤清掃美化活動」が 57.1%となっています。

4)市は、以下の環境分野ごとに越前市らしいキャッチフレーズを設けて意識啓発につなげるとともに、実現に向けた取組を進める予定です。それぞれの環境分野でイメージする言葉やキャッチフレーズがあればご記入ください。

地球環境

<言葉>
オゾン、温暖化対策、温暖化防止、脱炭素、グリーンシティ、エコロジー
<キャッチフレーズ>
みんなで取組むエコ活動、ストップ温暖化、ノーマイカーデー エコ電車 通勤は公共交通機関を利用して、脱炭素シティ越前、エコな街づくり、エコ越前、地球環境に優しいまち武生

生活環境

<言葉>
ポイ捨て、安全、安全・安心、不法投棄防止
<キャッチフレーズ>
みんなで作る町、共助できるまち、綺麗な町、一人くらい捨てても・・・その気持ちが環境破壊への入り口、クリーンなえちぜん、街中にゴミがないまち

自然環境

<言葉>
水資源、自然豊か、自然との共生、ホタル清水
<キャッチフレーズ>
環境にやさしい町、自然が体験できるまち、自然との共生、自然にやさしいまち、自然を愛するまち、コウコトリと逢える街、コウノトリと暮らせるまち武生

資源循環

<言葉>
再生利用、3R、美しい心と町、リユース・リサイクル、リサイクル
<キャッチフレーズ>
資源豊かな町、大きな損失 小さな協力、ごみゼロを目指すまち、みんなで使おう！マイバック、リサイクルでエコなまち、食品ロスのないまち、ごみを出さないまち、ゴミリサイクルのまち、ごみが少ない街、循環を意識したまち武生

環境共育

<言葉>
環境イベント、次世代、環境文化
<キャッチフレーズ>
人を育てる町、他人任せでは何も変わらない、一人一人が環境共有するまち、環境共育成、未来のあるべき責任、町を育てる人人を育てる町 共に成長を続ける越前市、環境共有のまち、SDGsの街、環境教育をはじめよう武生

6. その他

市は、脱炭素社会の実現に向けて、本市の二酸化炭素排出量を 2050 年までに実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を行う予定です。脱炭素社会の実現や二酸化炭素排出削減について、ご意見・アイデアなどご自由にお書きください。

※環境に関連する意見について、原文通りにまとめています。

<自動車に関すること>

- ・電気自動車のドッグの整備、推進
- ・マイカー通勤から電車、バス、自転車などのエコ通勤への転換を進めていただきたい。

<意識啓発に関すること>

- ・市内の企業間でゼロカーボンなどを協議するネットワークがほしい。
- ・今後、新しく導入するものはなるべく二酸化炭素排出量の少ないものに、変えていこうと思っています。
- ・市民一人一人がゼロカーボンシティ実現のために参加できる具体的なテーマを分かりやすく説明する。
- ・焚き火とかバーベキューとかオシャレな薪ストーブとかは、今後も愛好者は減らないと思うので、ゼロカーボンの定義を周知して、具体策を示す必要があると思います。
- ・道筋と具体的な方法を示して頂ければ協力することができるかもしれません。
- ・このままの酸化炭素排出量を増えると自然災害や環境破壊に繋がることを意識できる教育を実施するなど。

<その他>

- ・街を植物でグリーンに変える
- ・資金がなければ、何も出来ない。
- ・企業・対象に目標掲げてもらい達成レベルに準じてインセンティブ与える。

V 調査結果(高校生)

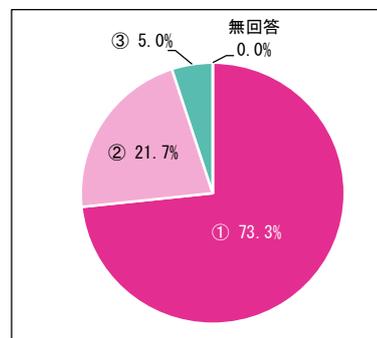
1. あなたの環境に対するお考えや意識について

1) 次の環境に関する言葉について、どの程度知っていますか。あてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) SDGs(エスディーゼーズ)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	44	73.3%
② 言葉だけ知っている	13	21.7%
③ 聞いたことがない	3	5.0%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

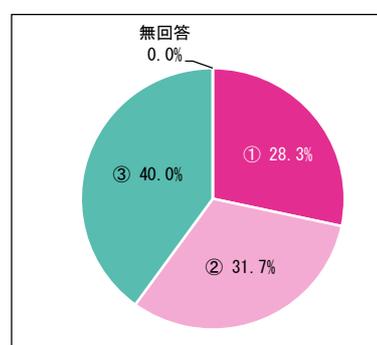
■「①内容まで知っている」が 73.3%と半数以上を占めています。



(2) カーボンニュートラル・脱炭素

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	17	28.3%
② 言葉だけ知っている	19	31.7%
③ 聞いたことがない	24	40.0%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

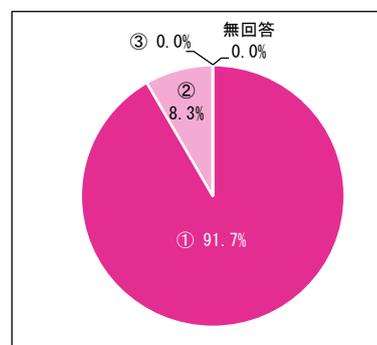
■「③聞いたことがない」が 40.0%と最も高く、次いで「②言葉だけ知っている」が 31.7%となっています。



(3) 再生可能エネルギー

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	55	91.7%
② 言葉だけ知っている	5	8.3%
③ 聞いたことがない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

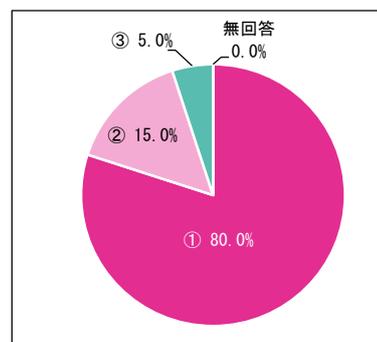
■「①内容まで知っている」が 91.7%と大半を占めています。



(4) 食品ロス

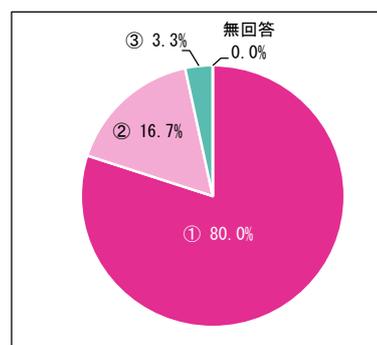
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	48	80.0%
② 言葉だけ知っている	9	15.0%
③ 聞いたことがない	3	5.0%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

■「①内容まで知っている」が 80.0%と大半を占めています。



(5) 海洋プラスチック汚染

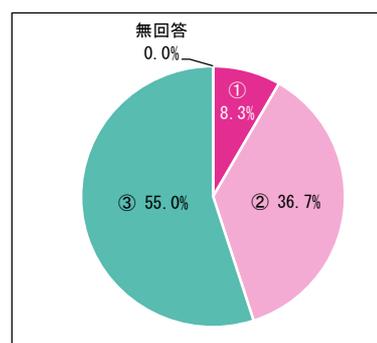
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	48	80.0%
② 言葉だけ知っている	10	16.7%
③ 聞いたことがない	2	3.3%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%



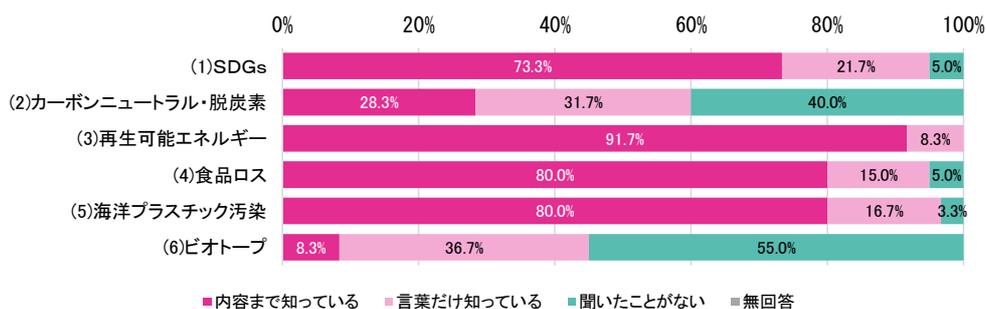
■「①内容まで知っている」が 80.0%と大半を占めています。

(6) ビオトープ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 内容まで知っている	5	8.3%
② 言葉だけ知っている	22	36.7%
③ 聞いたことがない	33	55.0%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%



■「③聞いたことがない」が 55.0%と約半数を占めています。

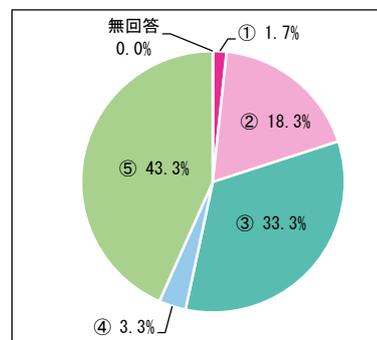


2)市は、市環境基本計画に基づき環境保全に関する取組を進めてきましたが、この5年間で市の環境や取組はどのようになったと思いますか。例として記載した内容を参考に、最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

【地球環境】

①地球温暖化を防止する取組

選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	1	1.7%
② 少し良くなった	11	18.3%
③ あまり変わらない	20	33.3%
④ 以前より悪くなった	2	3.3%
⑤ わからない	26	43.3%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

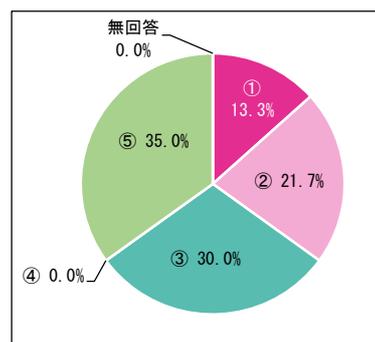


■「⑤わからない」が 43.3%と最も高く、次いで「③あまり変わらない」が 33.3%となっています。

【生活環境】

②公害の発生防止に関する取組

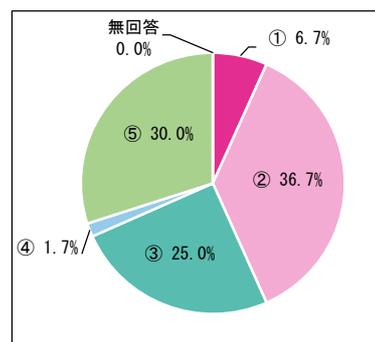
選択肢	回答者数	割合(%)
① とても良くなった	8	13.3%
② 少し良くなった	13	21.7%
③ あまり変わらない	18	30.0%
④ 以前より悪くなった	0	0.0%
⑤ わからない	21	35.0%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%



■「⑤わからない」が 35.0%と最も高く、次いで「③あまり変わらない」が 30.0%となっています。

③美化に関する取組

選択肢	回答者数	割合(%)
① とても良くなった	4	6.7%
② 少し良くなった	22	36.7%
③ あまり変わらない	15	25.0%
④ 以前より悪くなった	1	1.7%
⑤ わからない	18	30.0%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

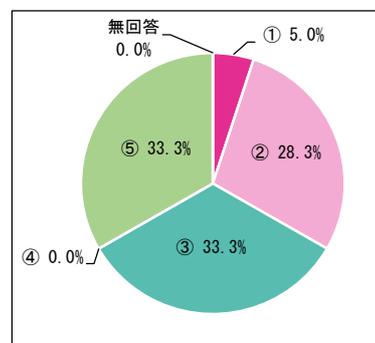


■「②少し良くなった」が 36.7%と最も高く、次いで「⑤わからない」が 30.0%となっています。

【自然環境】

④山や農地などの保全に関する取組

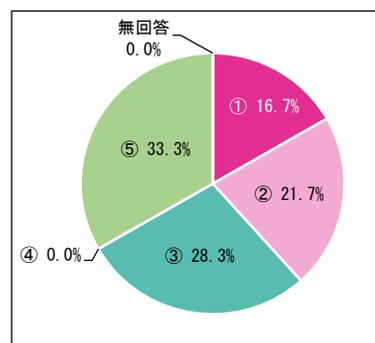
選択肢	回答者数	割合(%)
① とても良くなった	3	5.0%
② 少し良くなった	17	28.3%
③ あまり変わらない	20	33.3%
④ 以前より悪くなった	0	0.0%
⑤ わからない	20	33.3%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%



■「③あまり変わらない」と「⑤わからない」が 33.3%と最も高く、次いで「②少し良くなった」が 28.3%となっています。

⑤環境に配慮した農業に関する取組

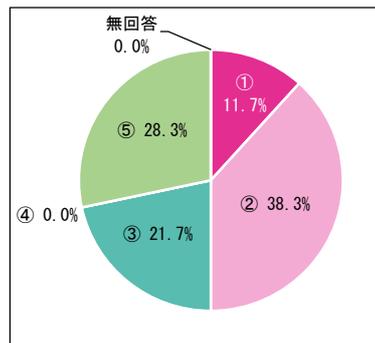
選択肢	回答者数	割合(%)
① とても良くなった	10	16.7%
② 少し良くなった	13	21.7%
③ あまり変わらない	17	28.3%
④ 以前より悪くなった	0	0.0%
⑤ わからない	20	33.3%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%



■「⑤わからない」が 33.3%と最も高く、次いで「③あまり変わらない」が 28.3%となっています。

⑥学びあいと交流

選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	7	11.7%
② 少し良くなった	23	38.3%
③ あまり変わらない	13	21.7%
④ 以前より悪くなった	0	0.0%
⑤ わからない	17	28.3%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

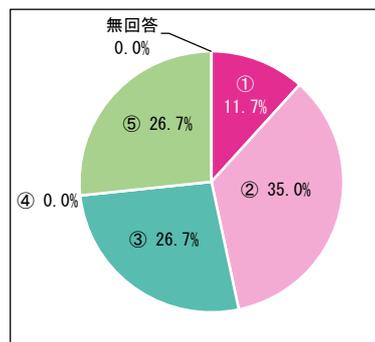


■「②少し良くなった」が 38.3%と最も高く、次いで「⑤わからない」が 28.3%となっています。

【資源循環】

⑦ごみに関する取組

選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	7	11.7%
② 少し良くなった	21	35.0%
③ あまり変わらない	16	26.7%
④ 以前より悪くなった	0	0.0%
⑤ わからない	16	26.7%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

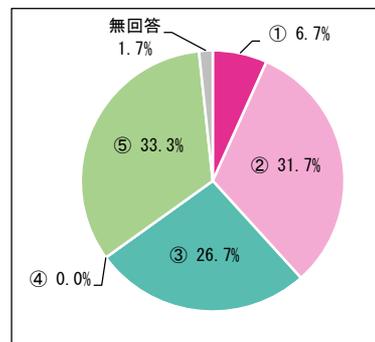


■「②少し良くなった」が 35.0%と最も高く、次いで「③あまり変わらない」と「⑤わからない」が 26.7%となっています。

【環境共育】

⑧環境活動の育成・支援

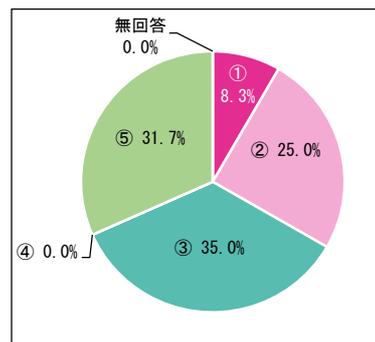
選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	4	6.7%
② 少し良くなった	19	31.7%
③ あまり変わらない	16	26.7%
④ 以前より悪くなった	0	0.0%
⑤ わからない	20	33.3%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%



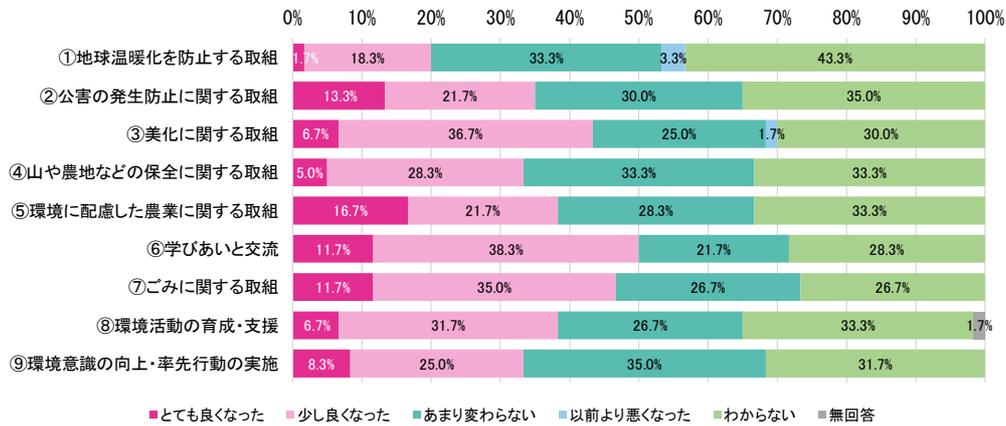
■「⑤わからない」が 33.3%と最も高く、次いで「②少し良くなった」が 31.7%となっています。

⑨環境意識の向上・率先行動の実施

選択肢	回答者数	割合 (%)
① とても良くなった	5	8.3%
② 少し良くなった	15	25.0%
③ あまり変わらない	21	35.0%
④ 以前より悪くなった	0	0.0%
⑤ わからない	19	31.7%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%



■「③あまり変わらない」が 35.0%と最も高く、次いで「⑤わからない」が 31.7%となっています。



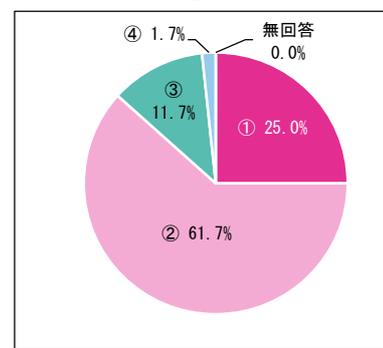
2. 地球温暖化対策について

1) 次の行動について、最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 不必要な照明はこまめに消す、使用していない電気製品の主電源を切るなど節電を心がけている

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	15	25.0%
② ある程度実施している	37	61.7%
③ 今後実施したい	7	11.7%
④ 実施する予定はない	1	1.7%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

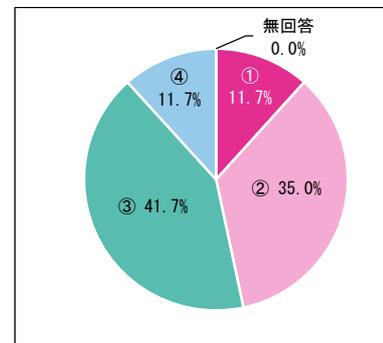
■「②ある程度実施している」が 61.7%と半数以上を占めています。



(2) 冷暖房は環境省が推奨する室温の目安(夏期 28℃、冬期 20℃)で使用している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	7	11.7%
② ある程度実施している	21	35.0%
③ 今後実施したい	25	41.7%
④ 実施する予定はない	7	11.7%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

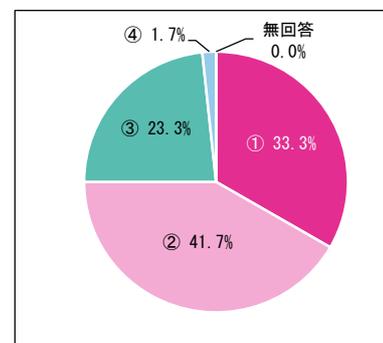
■「③今後実施したい」が 41.7%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が 35.0%となっています。



(3) 冷蔵庫に物を詰めすぎたり、むやみに開けたりしない

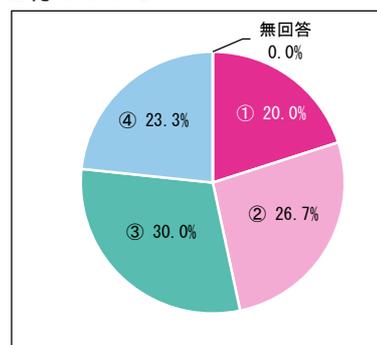
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	20	33.3%
② ある程度実施している	25	41.7%
③ 今後実施したい	14	23.3%
④ 実施する予定はない	1	1.7%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

■「②ある程度実施している」が 41.7%と最も高く、次いで「①実施している」が 33.3%となっています。



(4) ガーデニングやグリーンカーテン等により、家の敷地周りの緑化を行っている

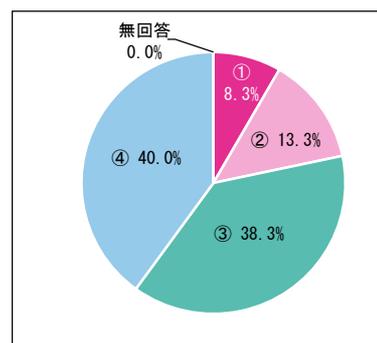
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	12	20.0%
② ある程度実施している	16	26.7%
③ 今後実施したい	18	30.0%
④ 実施する予定はない	14	23.3%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%



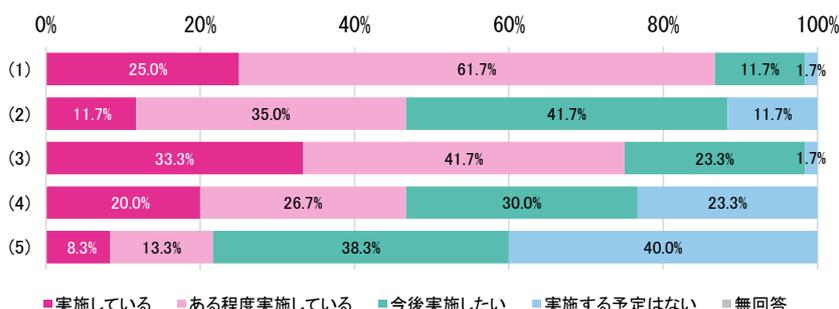
■「③今後実施したい」が 30.0%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が 26.7%となっています。

(5) 自家用車よりバスや電車を利用している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	5	8.3%
② ある程度実施している	8	13.3%
③ 今後実施したい	23	38.3%
④ 実施する予定はない	24	40.0%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

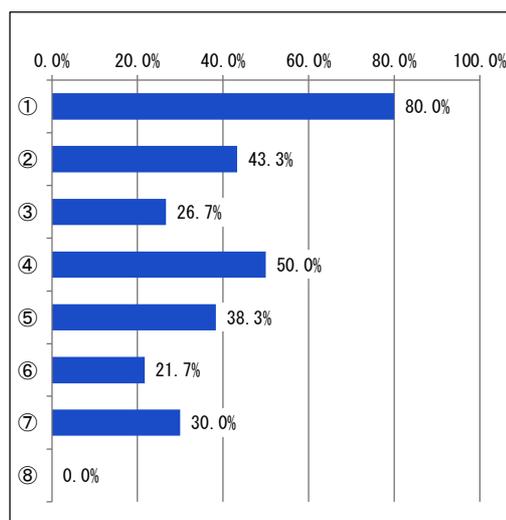


■「④実施する予定はない」が 40.0%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が 38.3%となっています。



5) 省エネルギー・脱炭素化を進める上で、重要だと思う市の取組はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

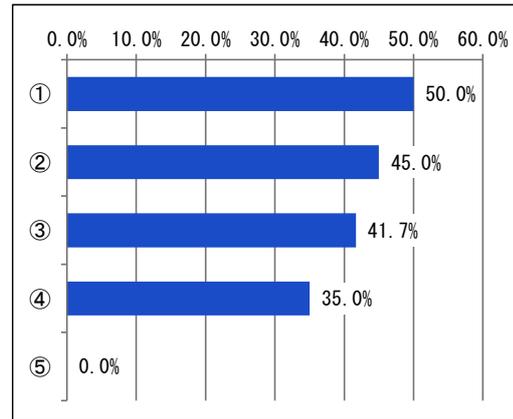
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 公共施設への積極的な省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入	48	80.0%
② 工場や事業所への省エネルギー・脱炭素化に向けた取組の強化	26	43.3%
③ 生活スタイルを省エネルギー化に向ける取組の強化	16	26.7%
④ 省エネルギー設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成の充実	30	50.0%
⑤ 省エネルギー家電製品や設備、エコ行動などに関する情報の発信	23	38.3%
⑥ 地球温暖化に関する講座やPRの充実	13	21.7%
⑦ イベントなどで地球温暖化やエネルギーについて学ぶ機会の充実	18	30.0%
⑧ その他	0	0.0%
無回答	306	-
合計	480	-



■「①公共施設への積極的な省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入」が 80.0%と最も高く、次いで「④省エネルギー設備や再生可能エネルギー導入に向けた補助・助成の充実」が 50.0%となっています。

6)令和2年7月に熊本県を中心に発生した令和2年7月豪雨など、近年、気候変動の影響によって集中豪雨や猛暑など自然災害の頻度が増えています。これらの災害についてどの程度備えていますか。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① ハザードマップの確認	30	50.0%
② 避難経路や緊急連絡先の確認	27	45.0%
③ 防災セットの準備	25	41.7%
④ こまめな水分補給・日差し対策	21	35.0%
⑤ その他	0	0.0%
無回答	196	-
合計	299	-

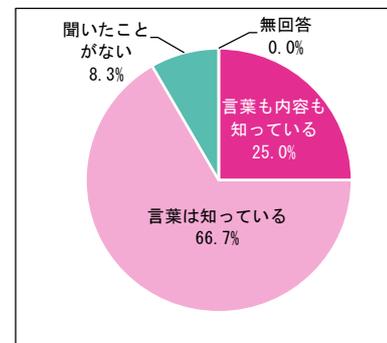


■「①ハザードマップの確認」が50.0%と最も高く、次いで「②避難経路や緊急連絡先の確認」が45.0%となっています。

3. 自然環境や生物多様性の保全について

1)市は、生きものとの共生を目指し、「コウノトリが舞う里づくり」を進めています。この取組について、どの程度知っていますか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 言葉も内容も知っている	15	25.0%
② 言葉は知っている	40	66.7%
③ 聞いたことがない	5	8.3%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

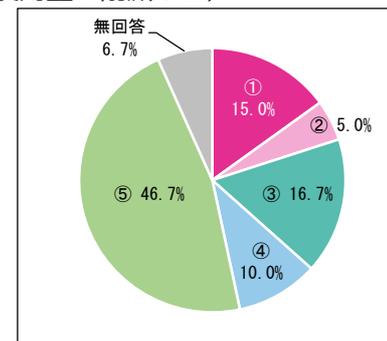


■「②言葉は知っている」が66.7%と半数以上を占めています。

2)次の行動について、どの程度実施していますか。最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 生き物や環境に配慮した農業を行っている(農薬や化学肥料の使用量の削減など)

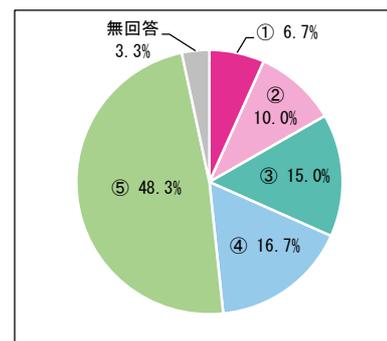
選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	9	15.0%
② ある程度実施している	3	5.0%
③ 今後実施したい	10	16.7%
④ 実施する予定はない	6	10.0%
⑤ 該当しない	28	46.7%
無回答	4	6.7%
合計	60	100.0%



■「⑤該当しない」が46.7%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が16.7%となっています。

(2) 省農薬栽培(農薬使用1回のみ)や無農薬・無化学肥料栽培を行っている

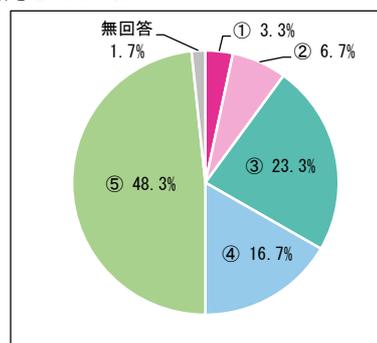
選択肢	回答者数	割合(%)
① 実施している	4	6.7%
② ある程度実施している	6	10.0%
③ 今後実施したい	9	15.0%
④ 実施する予定はない	10	16.7%
⑤ 該当しない	29	48.3%
無回答	2	3.3%
合計	60	100.0%



■「⑤該当しない」が48.3%と最も高く、次いで「④実施する予定はない」が16.7%となっています。

(3) 貴重な生物の保全・保護活動やビオトープの整備などに参加・協力している

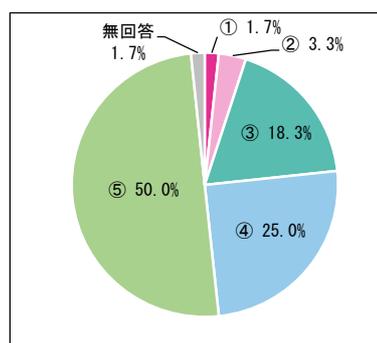
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	2	3.3%
② ある程度実施している	4	6.7%
③ 今後実施したい	14	23.3%
④ 実施する予定はない	10	16.7%
⑤ 該当しない	29	48.3%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%



■「⑤該当しない」が 48.3%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が 23.3%となっています。

(4) コウノトリが舞う里づくり推進事業公開講座「ごはん塾」に参加している

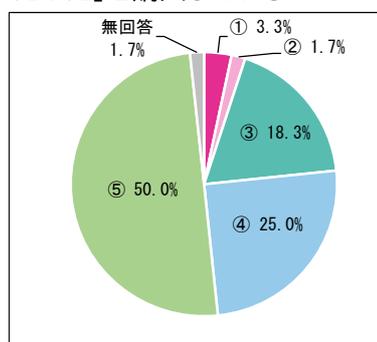
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	1	1.7%
② ある程度実施している	2	3.3%
③ 今後実施したい	11	18.3%
④ 実施する予定はない	15	25.0%
⑤ 該当しない	30	50.0%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%



■「⑤該当しない」が 50.0%と半数を占めています。

(5) コウノトリ呼び戻す農法米や、農法米を使用して醸造したお酒「かたかた」を購入している

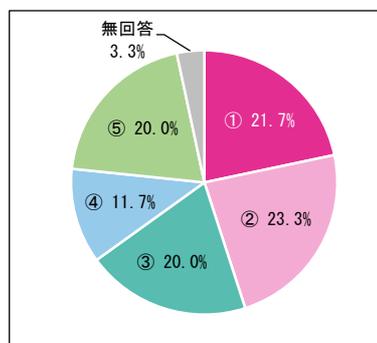
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	2	3.3%
② ある程度実施している	1	1.7%
③ 今後実施したい	11	18.3%
④ 実施する予定はない	15	25.0%
⑤ 該当しない	30	50.0%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%



■「⑤該当しない」が 50.0%と半数を占めています。

(6) 地元で採れた食材を購入している

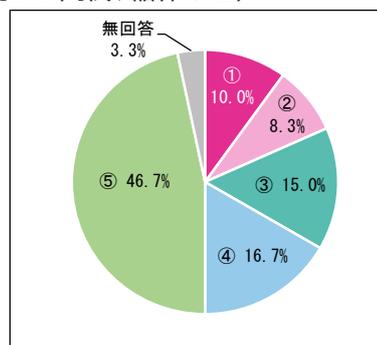
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	13	21.7%
② ある程度実施している	14	23.3%
③ 今後実施したい	12	20.0%
④ 実施する予定はない	7	11.7%
⑤ 該当しない	12	20.0%
無回答	2	3.3%
合計	60	100.0%



■「②ある程度実施している」が 23.3%と最も高く、次いで「①実施している」が 21.7%となっています。

(7) 保有する山や竹林、農地を適切に維持管理している(山の下草刈りや間伐、稲作など)

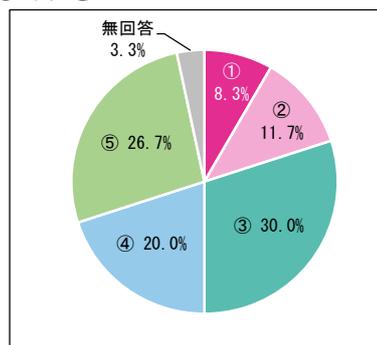
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	6	10.0%
② ある程度実施している	5	8.3%
③ 今後実施したい	9	15.0%
④ 実施する予定はない	10	16.7%
⑤ 該当しない	28	46.7%
無回答	2	3.3%
合計	60	100.0%



■「⑤該当しない」が 46.7%と最も高く、次いで「④実施する予定はない」が 16.7%となっています。

(8) 自然観察会への参加など、自然に親しむ機会をできるだけ増やしている

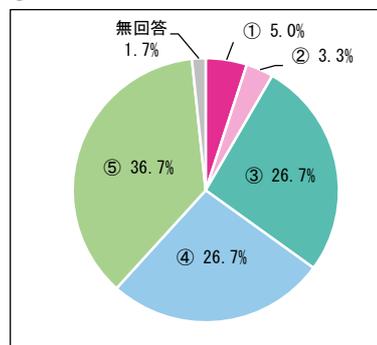
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	5	8.3%
② ある程度実施している	7	11.7%
③ 今後実施したい	18	30.0%
④ 実施する予定はない	12	20.0%
⑤ 該当しない	16	26.7%
無回答	2	3.3%
合計	60	100.0%



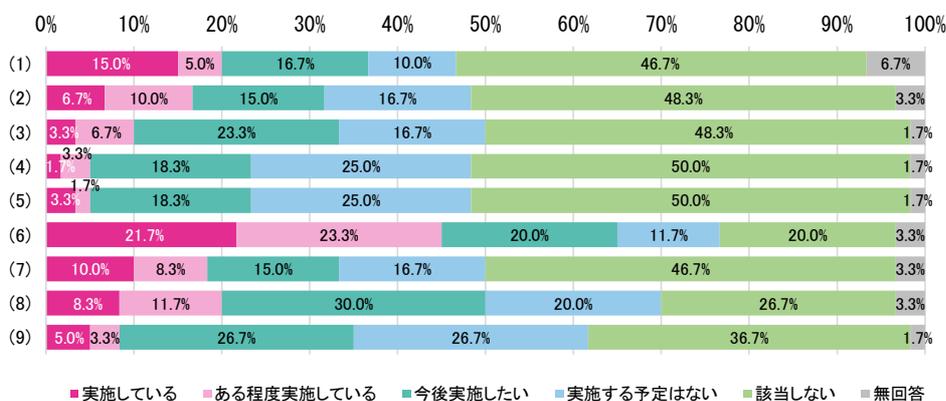
■「③今後実施したい」が 30.0%と最も高く、次いで「⑤該当しない」が 26.7%となっています。

(9) 環境に関するイベント、講習会等に参加し知識の向上に努めている

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	3	5.0%
② ある程度実施している	2	3.3%
③ 今後実施したい	16	26.7%
④ 実施する予定はない	16	26.7%
⑤ 該当しない	22	36.7%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%



■「⑤該当しない」が 36.7%と最も高く、次いで「③今後実施したい」と「④実施する予定はない」が 26.7%となっています。



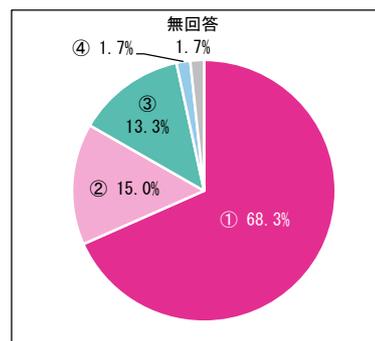
4. ごみの減量化やリサイクルの取組について

1) 次の行動について、どの程度実施していますか。最もあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 買い物をするときはマイバッグを持参する

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	41	68.3%
② ある程度実施している	9	15.0%
③ 今後実施したい	8	13.3%
④ 実施する予定はない	1	1.7%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

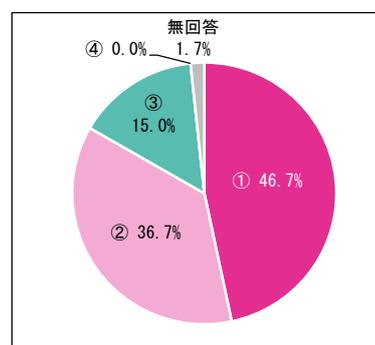
■「①実施している」が68.3%と半数以上を占めています。



(2) 必要以上にものを買わない

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	28	46.7%
② ある程度実施している	22	36.7%
③ 今後実施したい	9	15.0%
④ 実施する予定はない	0	0.0%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

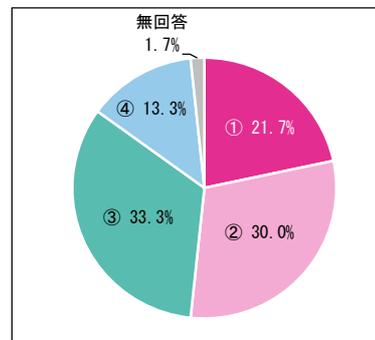
■「①実施している」が46.7%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が36.7%となっています。



(3) 使い捨て商品避ける

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	13	21.7%
② ある程度実施している	18	30.0%
③ 今後実施したい	20	33.3%
④ 実施する予定はない	8	13.3%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

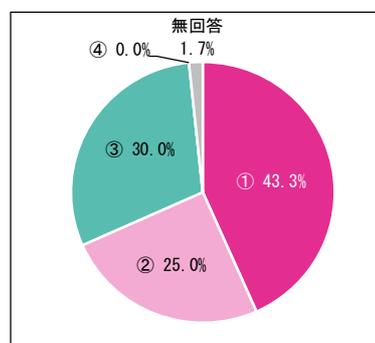
■「③今後実施したい」が33.3%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が30.0%となっています。



(4) 料理の作り過ぎに気を付け、食べ残しを減らしている

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	26	43.3%
② ある程度実施している	15	25.0%
③ 今後実施したい	18	30.0%
④ 実施する予定はない	0	0.0%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

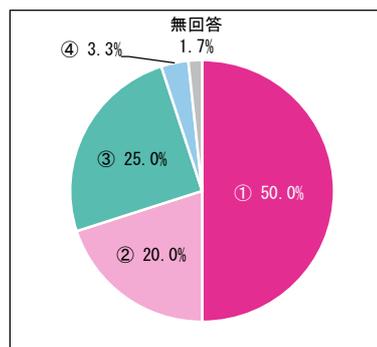
■「①実施している」が43.3%と最も高く、次いで「③今後実施したい」が30.0%となっています。



(5) マイボトルを持参している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	30	50.0%
② ある程度実施している	12	20.0%
③ 今後実施したい	15	25.0%
④ 実施する予定はない	2	3.3%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

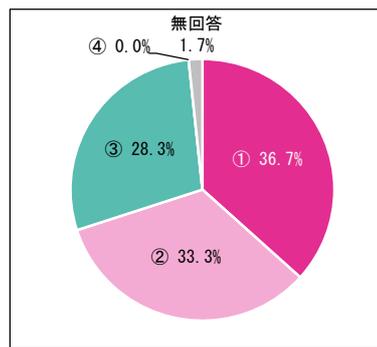
■「①実施している」が 50.0%と半数を占めています。



(6) 地域の資源回収に協力している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	22	36.7%
② ある程度実施している	20	33.3%
③ 今後実施したい	17	28.3%
④ 実施する予定はない	0	0.0%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

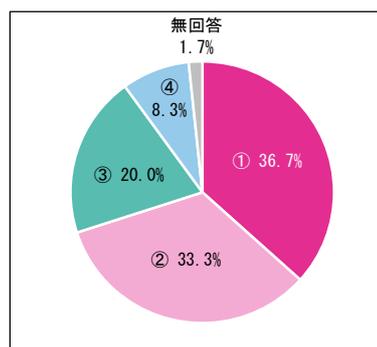
■「①実施している」が 36.7%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が 33.3%となっています。



(7) 雑がみ(お菓子の箱やチラシなど)の回収に協力している

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	22	36.7%
② ある程度実施している	20	33.3%
③ 今後実施したい	12	20.0%
④ 実施する予定はない	5	8.3%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

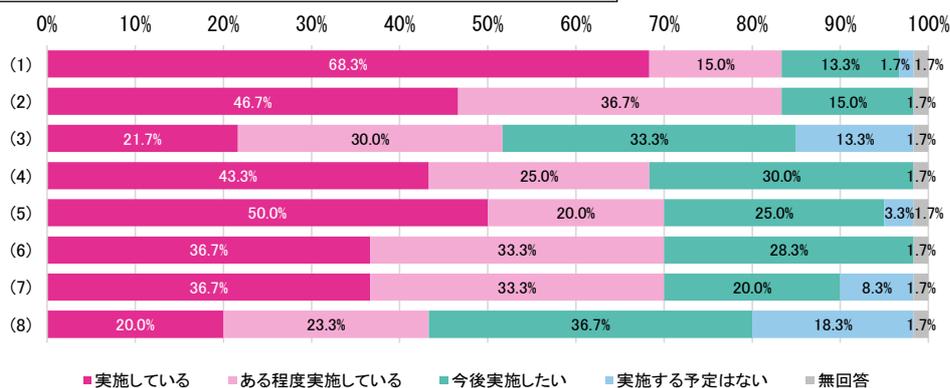
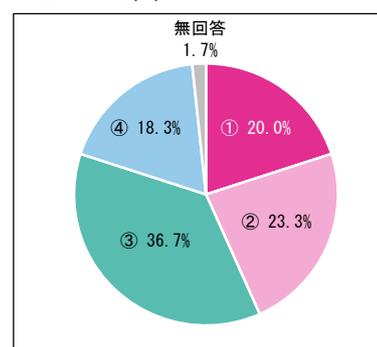
■「①実施している」が 36.7%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が 33.3%となっています。



(8) 使わないものはフリーマーケット(フリマアプリ含む)やリサイクルショップに出している

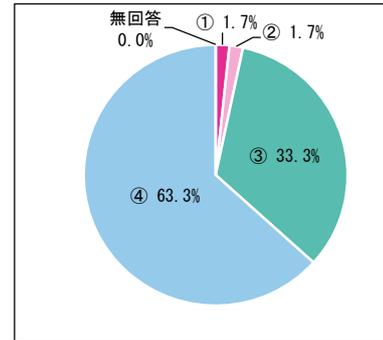
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 実施している	12	20.0%
② ある程度実施している	14	23.3%
③ 今後実施したい	22	36.7%
④ 実施する予定はない	11	18.3%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

■「③今後実施したい」が 36.7%と最も高く、次いで「②ある程度実施している」が 23.3%となっています。



2)市では、「おいしいえちぜん食べきり運動」を展開しており、フードドライブの実施や、食品ロスに関する情報発信などを行っています。この運動について、あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに運動に参加・協力している	1	1.7%
② 参加・協力する予定である	1	1.7%
③ 機会があれば参加・協力したい	20	33.3%
④ この運動を聞いたことがない	38	63.3%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

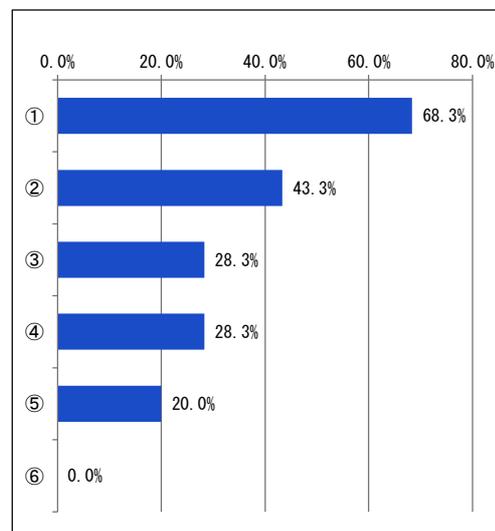


■「④この運動を聞いたことがない」が 63.3%と半数以上を占めています。

5. 環境教育や学習について

1)子どもや地域住民を対象とした「環境共育」について、重要だと思う取組を選んでください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 学校の授業などで環境に関する学習を進めること	41	68.3%
② 田植え体験など地域の活動や体験を通じて環境に関する学習を進めること	26	43.3%
③ 自然観察会など市や市民団体が主催する体験イベントを行うこと	17	28.3%
④ 大学講師や専門家による専門的な講習会・セミナーを開催すること	17	28.3%
⑤ 家庭における家族との対話や体験を通じた学習を進めること	12	20.0%
⑥ その他	0	0.0%
無回答	247	-
合計	360	-

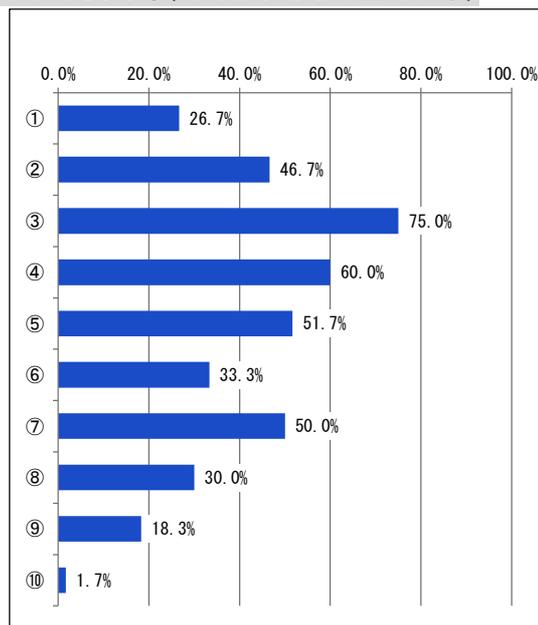


■「①学校の授業などで環境に関する学習を進めること」が 68.3%と最も高く、次いで「②田植え体験など地域の活動や体験を通じて環境に関する学習を進めること」が 43.3%となっています。

6. 市全体の環境について

1)あなたが望む越前市の将来イメージに近いものを選んでください。(あてはまるもの全てに○)

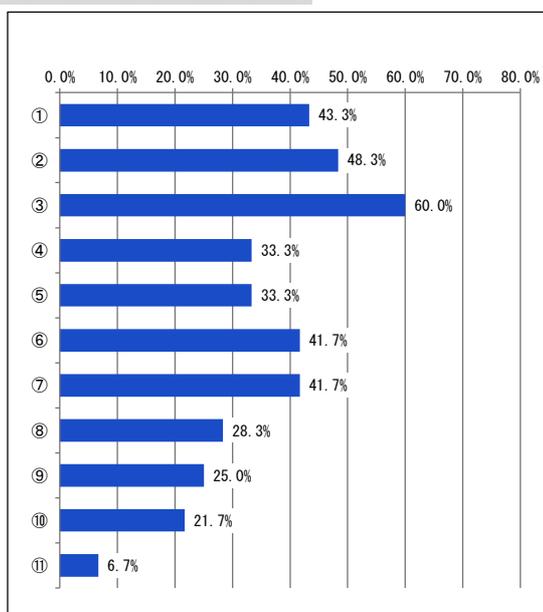
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 脱炭素社会に貢献するまち	16	26.7%
② 再生可能エネルギーの利用が盛んなまち	28	46.7%
③ 空気・水のおいしいまち	45	75.0%
④ 静かで落ち着いた雰囲気のあるまち	36	60.0%
⑤ 豊かな自然を大切にするまち	31	51.7%
⑥ コウノトリなどの生きものと共生するまち	20	33.3%
⑦ 歴史・伝統を大切にするまち	30	50.0%
⑧ 資源リサイクルの盛んなごみの少ないまち	18	30.0%
⑨ 市民が主体となる環境保全等のボランティア活動の盛んなまち	11	18.3%
⑩ その他	1	1.7%
無回答	364	-
合計	600	-



■「③空気・水のおいしいまち」が 75.0%と最も高く、次いで「④静かで落ち着いた雰囲気のあるまち」が 60.0%となっています。

2)市に重点的に進めてほしい施策を選んでください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 脱炭素社会の構築	26	43.3%
② 生活環境を守る	29	48.3%
③ 美しい街並み景観の誘導	36	60.0%
④ 歴史・伝統文化の保全	20	33.3%
⑤ 豊かな自然環境の保全	20	33.3%
⑥ 不法投棄の取り締まりの強化	25	41.7%
⑦ ごみの減量化とリサイクルに向けた取組の強化	25	41.7%
⑧ 環境教育・環境学習の推進	17	28.3%
⑨ 環境に関する情報の周知	15	25.0%
⑩ 環境保全活動に取り組む人材の育成	13	21.7%
⑪ その他	4	6.7%
無回答	430	-
合計	660	-



■「③美しい街並み景観の誘導」が 60.0%と最も高く、次いで「②生活環境を守る」が 48.3%となっています。

アンケートから見えた現状・課題と計画への反映について

■地球環境に関すること

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
市民p5 事業者p51	・「カーボンニュートラル・脱炭素」や「ZEB」といった近年頻繁に使われるようになった用語について言葉は知っているものの、内容まで理解している人は少ない状況である。	⇒地球温暖化に関連する用語の理解につながる用語説明を計画の中に盛り込む。	資料編 用語説明に記載
市民p7	・「カーボンニュートラル・脱炭素」については10～30代の若い世代で認知度が低い。	⇒従来の発信方法(HPや広報紙)に加えて、若い世代でも目につきやすいSNSやアプリを活用した情報発信に関する取組みを記載。	計画書 p45
市民p12 事業者p39	・「公共交通機関の利用」に関連する行動では、他の行動と比べて「実施する予定はない」の割合が半数以上を占めており、公共交通機関の利用を促すとともに自動車の利用を前提とした対策が必要。	⇒公共交通機関の利用に関する取組みや、電気自動車・燃料電池自動車の導入補助に関する取組みを記載	計画書 p16
市民p15 事業者p42	・導入予定はないものの低公害車(電気自動車・燃料電池自動車)への関心が高い状況にある。	⇒電気自動車・燃料電池自動車の導入補助に関する取組みを記載。	計画書 p16
市民p18 p20 事業者p42 p44	・再生可能エネルギー・省エネルギーの導入や対策を進める上で、設備の導入費用や情報不足が問題となっているとともに、重要な市の取組みとしても挙げられていることから、経済的支援や再生可能エネルギー・省エネルギーに関する情報提供が必要。	⇒再生可能エネルギーや電気自動車・燃料電池自動車の導入補助に関する取組みを記載。 ⇒再生可能エネルギー・省エネルギーに関する情報の発信に関する取組みを記載。	計画書 p15 p16
市民p19 事業者p44	・どのエネルギーも「1割未満」「1～2割」の削減が高い割合を占めており、大幅なエネルギー使用量の削減が難しい状況であることから、使用しているエネルギーの転換や環境に配慮した電気の購入を促す対策が必要。	⇒再生可能エネルギー電気の購入を促す取組みを記載。	計画書 p15
市民p31	・地球環境でイメージする言葉として「エコ」「地球」「脱炭素」などが多く挙げられている。	⇒環境像や基本方針のタイトルに盛り込む。	計画書 p5 p7
市民p34	・どういった取組みをすればどれだけCO ₂ 排出削減につながるか数値で示してはどうか。	⇒家庭や事業所でできる取組みとそれを実践した場合のCO ₂ 削減量、節約費を記載。	計画書 p19 p20
市民p34	・ゼロカーボンシティを行うことを幅広くPRしていくことが大事。	⇒ゼロカーボンシティ宣言とその取組みについて周知していく取組みを記載。	計画書 p17

■生活環境に関すること

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
市民p31	・生活環境でイメージする言葉として「安心安全」「不法投棄」などが多く挙げられている。	⇒基本方針のタイトルに盛り込む。	計画書 p7
市民p33	・市に重点的に進めてほしい施策について、「生活環境を守る」と「豊かな自然環境の保全」が高い割合を占めている。	⇒生活環境を守る(大気や水質などの保全に関する)取組みを記載。	計画書 p26

■自然環境に関すること

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
市民p8	・「ビオトープ」について、高校生や10～30代の若い世代で認知度が低い。	⇒従来の発信方法(HPや広報紙)に加えて、若い世代でも目につきやすいSNSやアプリを活用した情報発信に関する取組みを記載。	計画書 p44
高校生p56			
市民p22	・「くごはん塾」への参加と「コウノトリ呼び戻す農法米や、農法米を使用して醸造したお酒「かたかた」の購入」は、他の行動と比べて「実施している」の割合が低いため、ごはん塾への参加やコウノトリ呼び戻す農法米の購入が、コウノトリが舞う里づくりにつながることを発信していくことが必要。	⇒自然環境の保全(コウノトリが舞う里づくりなど)に関する取組みを記載。	計画書 p32 p33
事業者p45			
市民p32	・自然環境でイメージする言葉として「コウノトリ」「豊かな自然」「共生」などが多く挙げられている。	⇒基本方針のタイトルに盛り込む。	計画書 p7
市民p33	・市に重点的に進めてほしい施策について、「生活環境を守る」と「豊かな自然環境の保全」が高い割合を占めており、自然環境の保全につながる取組みを継続して行うことが必要。	⇒自然環境の保全に関する取組みを記載。	計画書 p32 p33

■資源循環に関すること

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
市民p27	・「使わないものはフリーマーケット(フリマアプリ含む)やリサイクルショップに出している」は、他の行動と比べて「実施している」の割合が低い。	⇒リサイクルや資源回収に関する取組みを記載。	計画書 p38
市民p29	・「雑がみの回収に協力している」については10～30代の若い世代で「実施している」の割合が低いことから、若者を対象とした対策が必要。	⇒従来の発信方法(HPや広報紙)に加えて、若い世代でも目につきやすいSNSやアプリを活用した情報発信に関する取組みを記載。	計画書 p44
市民p30	・市が行っているおいしいえちぜん食ベきり運動について、「すでに運動に参加・協力している」の回答が少なく、取組みが浸透していないことから、より普及啓発を進めることが必要。		
市民p32	・ごみの減量化やリサイクルでイメージする言葉として「分別」「食品ロス」「ごみ」などが多く挙げられている。	⇒基本方針のタイトルに盛り込む。	計画書 p7

■環境共育に関すること

アンケートから見えた現状・課題		計画への反映	
市民 p31	・環境共育で重要だと思う取組みとして大半の市民が「学校の授業などで環境に関する学習を進めること」を挙げており、学校での環境学習を継続して行うことが必要。	⇒学校での環境学習・環境教育に関する取組みを記載。	計画書 p44
市民 p52	・環境保全活動の連携状況について「機会があれば活動したい」が高い割合を占めており、環境保全活動団体や自治体、地域との連携機会を増やすことが必要。	⇒環境保全に取り組む主体(市民や行政など)との連携に関する取組みを記載。	計画書 p45